

# 松山市埋蔵文化財調査年報 30

平成 29 年度

2018

松 山 市 教 育 委 員 会  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋 蔵 文 化 財 センター

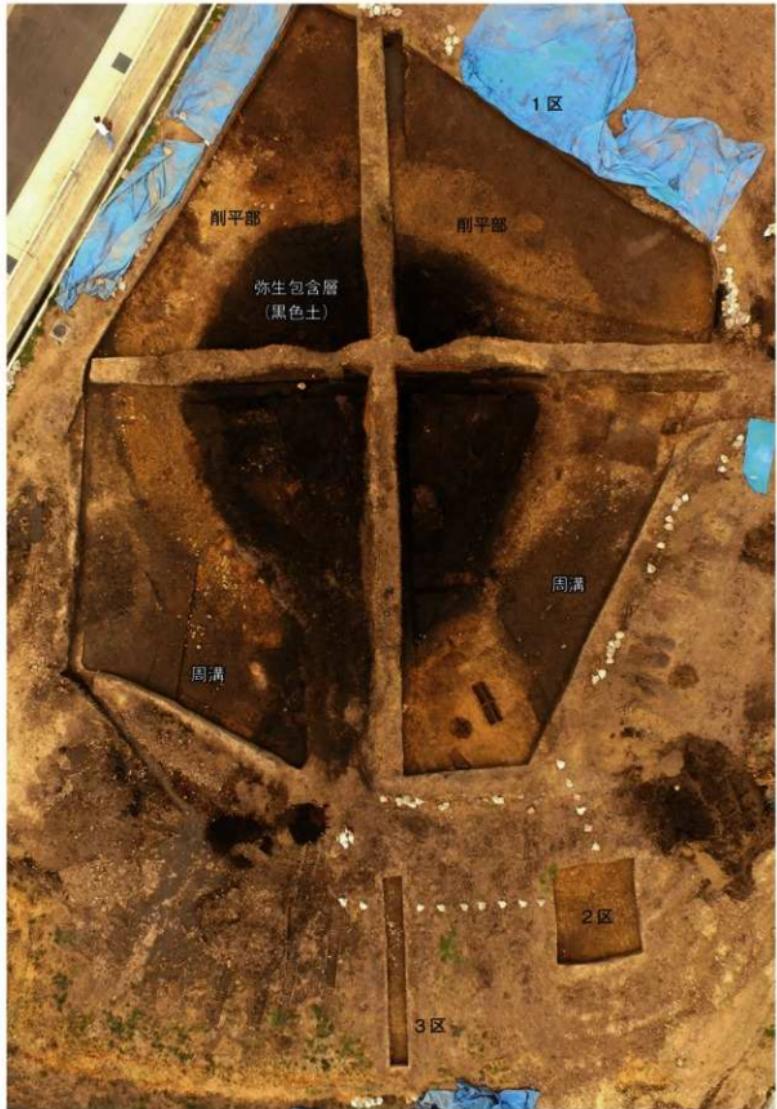
# 松山市埋蔵文化財調査年報 30

平成 29 年度

2018

松 山 市 教 育 委 員 会  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋 蔵 文 化 財 センター





卷頭図版 鶴塚古墳全景（上空より）



## 序　　言

松山市内には周知の埋蔵文化財包蔵地が約400か所存在し、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団は試掘調査や発掘調査をはじめとした調査研究事業、また考古館での普及啓発事業によって、埋蔵文化財の保護と活用に努めています。本書は平成29年度の事業概要報告です。

平成29年度には市内で15件の発掘調査を実施しました。その中で特筆すべき成果として、平井町鶴塚古墳の調査があります。後世に削平を受けて墳丘は大きく損なわれていたものの、周溝を含む全長約42mを測る6世紀前半の前方後円墳であることが確認されました。昨年度に調査した祝谷9号墳に続く前方後円墳の発見で、新たな松山の歴史が明らかになりました。

普及啓発事業では、展示環境やこれまでの展示実績が評価され、11月に考古館の特別展示室が文化庁から「公開承認施設」の認定を受けました。重要文化財（考古資料）の借用・展示のための事務手続きを大幅に簡素化できるようになることから、今後松山だけでなく、国内の貴重な資料を市民の皆様にご覧いただく機会をより多く提供していきます。

埋蔵文化財の保護、発掘調査及び普及啓発について、日頃より皆様からいただいている理解とご協力に厚くお礼申し上げますとともに、本書を埋蔵文化財の保護と調査研究にお役立ていただければ幸いです。

平成30年12月

松山市教育委員会  
教育長 藤田 仁

## 例　　言

1. 本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。

2. 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要をまとめた。

3. 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は相原浩二が行った。

4. 本書に掲載した写真は、担当調査員が撮影した。

5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。

6. 遺構は、以下の略号で記した。

S B : 積穴建物跡　　掘立 : 掘立柱建物跡　　S R : 自然流路　　S D : 溝　　S G : 池  
S E : 井戸　　S K : 土坑　　S A : 構、柱列　　S P : 柱穴　　S X : 性格不明遺構　T : トレチ

7. 刊行組織は、以下のとおりである。(平成30年6月1日現在)

松山市教育委員会	教育長	藤田仁
事務局	局長	家串正治
	次長	高田稔
	次長	高木伸治
	次長	大本光浩
文化財課	課長	沖広善久
	主任幹	越智茂樹
公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団	理事長	本田元広
事務局	局長	片山雅央
	次長	高木祝二
文化振興部	部長	小田克己
埋蔵文化財センター	所長	村上卓也
考古古館	館長	梅木謙一

8.ご指導・ご協力を賜りました方々は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

青木政幸(公益財団法人辰馬考古資料館)／石川敬子(株式会社 DNP アートコミュニケーションズ)  
／宇多川滋正(文化庁)／岡安雅彦(安城市青少年の家)／忽那敬三(明治大学博物館)／熊頬加(東京国立博物館)／品川欣也(東京国立博物館)／下條信行(愛媛大学)／瀬谷今日子(和歌山県立紀伊風土記の丘)／田崎博之(愛媛大学)／富田尚夫(愛媛県歴史文化博物館)／中野良一(愛媛県埋蔵文化財センター)／野上真由美(安城市歴史博物館)／野山涼香(東京国立博物館)／荻野谷正宏(和歌山県立紀伊風土記の丘)／原田昌幸(文化庁)／古谷毅(京都国立博物館)／前園実知雄(愛媛県埋蔵文化財センター)／松下孝幸(特定非営利活動法人人類学研究機構)／松見裕二(高知市立一支国博物館)／村上恭通(愛媛大学)／山本光俊(和歌山県立紀伊風土記の丘)／吉田広(愛媛大学)

9.ご指導・ご協力を賜りました機関は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

株式会社葵文化／安城市歴史博物館／高知市立一支国博物館／公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター／愛媛県歴史文化博物館／公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所／公益財団法人元興寺文化財研究所／京都国立博物館／株式会社古環境研究所／特定非営利活動法人人類学研究機構／公益財団法人辰馬考古資料館／株式会社 DNP アートコミュニケーションズ／東京国立博物館／株式会社トリアド工房／パリノ・サーヴェイ株式会社／株式会社パレオ・ラボ／株式会社文化財ユニオン／文化庁／明治大学博物館／和歌山県立紀伊風土記の丘

10.本書の仕様は以下のとおりである。

製版 モノクロ写真・写真図版－175 線

印刷 オフセット印刷

用紙 本文：三菱製紙ニューVマット

製本 無線綴じ

## 本文目次

I 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	2
別府遺跡 2 次調査	3
別府遺跡 3 次調査	5
久万山本遺跡	10
松山城三之丸跡 20 次調査	12
祝谷大地ヶ田遺跡 8 次調査	16
文京遺跡 69 次調査	20
道後今市遺跡 16・17 次調査	21
道後湯月町遺跡 2 次調査	25
柳味高木遺跡 19 次調査	26
中村松田遺跡 7 次調査	28
釜ノ口遺跡 12 次調査	30
北井門遺跡 8 次調査	32
久米窪田森元遺跡 5 次調査	34
鶴塚古墳	36
II 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	42
III 平成 29 年度 出土物整理・保存処理事業	
1. 出土物整理	54
2. 保存処理	57
3. 鶴が岬遺跡出土の古墳人骨	59
IV 平成 29 年度 普及啓発事業	
1. 展示活動	70
2. 教育普及活動	71
3. 収集・保管・育成活動	72
4. 出版活動	73
5. 資料の貸出・調査	73
6. 考古館月別入館者数調	73

## V 関係法規

1. 松山市立埋蔵文化財センター条例	90
2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則	92

## 挿図・写真目次

卷頭カラー図版 鶴塚古墳全景（上空より）	
I 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
別府遺跡 2 次調査	3
図 1 調査地位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 遺構完掘状況（南東より）
図 2 遺構配置図	写真 2 水田 3 足跡完掘状況（東より）
別府遺跡 3 次調査	5
図 1 調査地位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 正尺池全景（俯瞰）
図 2 調査区略図	写真 2 調査区全景（北より）
図 3 遺構配置図	写真 3 柱穴検出状況（北より）
	写真 4 遺物出土状況（北東より）
	写真 5 出土遺物（土師器皿）
	写真 6 出土遺物（瓦器碗）
	写真 7 出土遺物（白磁碗）
久万山本遺跡	10
図 1 調査地位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 1・2 区完掘状況（北より）
図 2 遺構配置図	写真 2 SB201 完掘状況（北西より）
松山城三之丸跡 20 次調査	12
図 1 調査地位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 調査区全景（北東より）
図 2 遺構の配置と築城期の陶器碗	写真 2 東西溝（東より）
図 3 「松山城屏風絵」と「龟郭城秘図」に おける「杉馬場」北端の表現	写真 3 暗渠と植栽跡（東より）
	写真 4 調査区全景（北より）
祝谷大地ヶ田遺跡 8 次調査	16
図 1 調査地位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 2 号石室床面遺物出土状況（北より）
図 2 遺構配置図	写真 2 遺構完掘状況（西より）
図 3 1 号石室出土遺物実測図	
図 4 2 号石室出土遺物実測図	
文京遺跡 69 次調査	20
図 1 調査地位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 1 区完掘状況（北より）
	写真 2 1 区出土遺物（地山層内）

道後今市遺跡 16・17次調査	21
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 16次1区完掘状況（西より）
図2 遺構配置図	写真2 16次1区完掘状況（東より）
	写真3 16次2区完掘状況（西より）
	写真4 16次2区完掘状況（西より）
	写真5 17次2区完掘状況（南西より）
	写真6 17次2区完掘状況（東より）
	写真7 17次1区完掘状況（北より）
	写真8 17次1区SX4検出状況（北より）
	写真9 17次1区SX5検出状況（東より）
	写真10 17次1区SK6遺物出土状況（東より）
道後湯月町遺跡 2次調査	25
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 石垣列と寶嚴寺門前（西より）
図2 遺構配置図	写真2 調査地完掘状況（北東より）
樽味高木遺跡 19次調査	26
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 遺構完掘状況（北より）
図2 遺構配置図	写真2 SK1完掘状況（北より）
中村松田遺跡 7次調査	28
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 遺構完掘状況（西より）
図2 遺構配置図	写真2 SD2完掘状況（南より）
釜ノ口遺跡 12次調査	30
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 調査区全景（北東より）
図2 遺構配置図	写真2 SD002・003・SR001出土遺物
北井門遺跡 8次調査	32
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 遺構完掘状況（南より）
図2 遺構配置図	写真2 SB01北東隅遺物出土状況（北より）
久米窪田森元遺跡 5次調査	34
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 1区遺構完掘状況（北より）
図2 2区遺構配置図	写真2 2区遺構完掘状況（北より）
鶴塚古墳	36
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 調査地全景（南西より）
図2 測量図	写真2 鶴塚古墳全景（北東より）
図3 周溝内出土遺物実測図	写真3 後円部土層状況（南西より）
図4 包含層出土遺物実測図	写真4 前方部周溝埴輪出土状況（北より）
図5 ナイフ形石器実測図	写真5 周溝出土の「石見型埴輪」
	写真6 後円部弥生土器出土状況（南西より）
	写真7 SD1弥生土器出土状況（東より）
	写真8 前方部土坑SK1～3検出状況（南より）

II 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
図 1 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図（縮尺 1:80,000）	52
III 平成 29 年度 出土物整理・保存処理事業	
3. 鶴が峠遺跡出土の古墳人骨	
図 1 遺跡の位置図	60
図 2 人骨の残存図（アミかけ部分）	68
写真 1 左大腿骨	68
IV 平成 29 年度 普及啓発事業	
写真 1 発掘へんろ展「四国のハニワ」	86
写真 2 発掘へんろ展 講演会	86
写真 3 展示会「掘ったぞな松山 2017」	86
写真 4 いにしへのえひめ「親子考古学講座」	86
写真 5 公開承認施設認定記念特別展開催式	86
写真 6 特別展「こだいのかお 2」	86
写真 7 特別展「こだいのかお 2」講演会	86
写真 8 特別展「古代体験イベント」	86
写真 9 発掘情報展「祝谷大地ヶ田遺跡 6 次調査」	87
写真 10 わかりやすい考古学講座	87
写真 11 はじめての考古学教室	87
写真 12 古代体験教室「染物体験・茜」	87
写真 13 写真 13 古代体験教室「染物体験・キハダ」	87
写真 14 写真 14 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」	87
写真 15 写真 15 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」	87
写真 16 写真 16 古代体験まつり「火おこし体験」	87
写真 17 写真 17 古代体験まつり「ミニ発掘体験」	88
写真 18 写真 18 古代体験まつり「考古館探検ツアー」	88
写真 19 写真 19 ロビーコンサート「箏」	88
写真 20 写真 20 ロビーコンサート「フォルクローレ」	88
写真 21 写真 21 歴史バスツアー「正光寺山古墳」	88
写真 22 写真 22 現地説明会「道後今市遺跡 16・17 次調査」	88
写真 23 写真 23 古代米の育成	88
写真 24 大連古代蓮	88

## 表 目 次

II 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
表 1 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧	43
表 2 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧 (1) ~ (8)	43 ~ 50
表 3 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧	51
III 平成 29 年度 出土物整理・保存処理事業	
1. 出土物整理	
表 1 遺物接合・復元作業一覧 (1) (2)	54・55
表 2 遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧	55
表 3 遺物写真・現像・整理作業一覧	56

<b>2. 保存処理</b>		
表 1	木製品保存処理遺跡名一覧.....	57
表 2	平成 29 年度調査出土金属・木製・動植物遺体一覧.....	58
<b>3. 鶴が峰遺跡出土の古墳人骨</b>		
表 1	資料数.....	61
表 2	出土人骨一覧.....	61
表 3	年齢区分.....	61
表 4	大腿骨計測値（男性、右、mm）.....	67
表 5	大腿骨（男性、mm）.....	67
 IV 平成 29 年度 普及啓発事業		
<b>1. 展示活動</b>		
表 1	展示会一覧.....	73
<b>2. 教育普及活動</b>		
表 2	教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）.....	74
表 3	教育普及活動一覧（古代体験教室）(1) ~ (3) .....	75 ~ 77
表 4	教育普及活動一覧（遺跡見学会）.....	77
表 5	教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）(1) ~ (3) .....	78 ~ 80
表 6	教育普及活動一覧（発掘調査現地説明会）.....	81
表 7	教育普及活動一覧（職場体験）.....	81
表 8	教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）(1) ~ (3) .....	81 ~ 83
表 9	教育普及活動一覧（職員研修・会議）.....	83
<b>4. 出版活動</b>		
表 10	考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ等）.....	83
表 11	出版物一覧.....	83
<b>5. 資料の貸出・調査</b>		
表 12	資料の貸出一覧.....	84
表 13	資料の調査一覧.....	85
<b>6. 考古館月別入館者数調</b>		
表 14	平成 29 年度 考古館月別入館者数調（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）.....	85

I 平成 29 年度  
松山市埋蔵文化財調査概要

## 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

**概 要** 平成 29 年度の埋蔵文化財調査事業は、発掘調査 15 件、試掘調査 129 件、年報・報告書刊行 4 件、出土物整理・保存処理を実施した。

〔発掘調査〕 発掘調査は公共事業 4 件、民間事業 8 件、国庫補助事業 3 件である。なお、現地説明会を 2 か所で行い、延べ 363 人の参加者があった。(81P・表 6)

**公共事業（4 件）**：河野別府に所在する正尺池では別府遺跡 2・3 次調査を実施し、中世の土坑・溝・柱穴などの集落関連遺構や水田址などの生産遺構を確認した。遺物は土師器・須恵器・瓦器・青磁・白磁・常滑焼などが出土し、周辺域の調査例などを含め中世河野氏との関連が考えられる。文京遺跡 69 次調査では、遺構構築後の削平の影響で中世と考えられる柱穴 1 基を確認したのみである。市道拡幅工事に伴って実施した道後湯月町遺跡 2 次調査では、構築時期不詳の石垣を検出した。市道を挟んだ東側には一遍上人で有名な寶嚴寺があり、門前の石段北側のラインに揃うことから寶嚴寺に関連する遺構と考えられる。

**民間事業（8 件）**：市内一円で調査を実施した。道後今市遺跡 16・17 次調査では弥生時代～中世にかけての集落関連遺構を検出した。17 次調査では弥生時代中期後半～後期前半の土器溜まり遺構 2 基を検出したほか、中世の土坑墓 3 基を確認した。柳味高木遺跡 19 次調査では古墳時代後期の土坑や柱穴を確認し、中村松田遺跡 7 次調査では、包含層中より縄釉陶器が出土した。釜ノ口遺跡 12 次調査では弥生時代～古墳時代の溝 3 条のほか自然流路を検出した。北井門遺跡 8 次調査では古墳時代中期の北壁にカマドが付設された竪穴建物 1 棟を検出した。建物跡の北東隅部には 4 個体の土師器高壙が出土しており、建物廃絶時に関係する祭祀の痕跡と考えられる。久米窪田森元遺跡 5 次調査では弥生時代～古墳時代と考えられる掘立柱建物を検出した。鶴塚古墳は墳丘盛土の大半及び主体部は失われていたが、検出した周溝の形より前方後円墳であることを確認した。遺物は周溝内より土師器・須恵器・朝顔形埴輪・円筒埴輪・盾形埴輪のほか、松山市では出土が珍しい石見型埴輪が出土した。このほか、弥生時代の包含層中より備後・安芸方面の注口土器が出土し、後円部南側の地山直上からはナイフ形石器 1 点が出土した。

**国庫補助事業（3 件）**：松山城三之丸跡では史跡整備に伴う確認調査を継続的に実施しており、平成 29 年度は 20 次調査になる。三之丸の西北隅に近い場所で馬場土手や石組溝を調査した。個人住宅建設に伴う祝谷大字ヶ田遺跡 8 次調査では、祝谷 11 号墳を確認し、2 基の横穴式石室を検出したほか、弥生時代前期末～中期前半の土坑を検出した。同じく久万山本遺跡では弥生時代終末の竪穴建物 1 棟を確認した。内部施設には炉が検出され、炉堤と炉を巡る溝が検出された。

〔試掘調査〕 国庫補助事業として、市内一円における試掘調査によって、埋蔵文化財の内容確認を実施している。埋蔵文化財の確認申込受付件数は 237 件で前年度(276 件)に比べ 39 件減少した。このうち 129 件の試掘を行い、36 件について遺跡を確認している。(43～50P)

〔年報・報告書刊行〕 28 年度事業をまとめた「年報 29」と 3 冊の発掘調査報告書を作成した。調査報告書は過去の公共・民間開発に伴う発掘調査事業が 2 冊(2 遺跡)、国庫補助発掘調査事業が 1 冊(2 遺跡)である。

## べつぶ 別府遺跡 2次調査

所在地 松山市河野別府 115 番の一部  
(包蔵地外)

期間 平成 29 年 10 月 2 日～平成 29 年 11 月 30 日

面積 160m<sup>2</sup>

原因 正尺池堤体改修工事

担当 水本完児



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、北条平野南部を西流する高野川と高山川に挟まれた沖積地の標高 15～16 m に立地する。調査地周辺の遺跡には北側から東側にかけて別府遺跡、大相院遺跡、北条常保免遺跡、善応寺大庭北遺跡、河野小学校遺跡などがあり、これらの調査では、縄文時代から中世にいたる集落関連の遺構・遺物が見つかっている。今回の調査で見つかった主な遺構には自然流路 1 条、水田、足跡などがある。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器類、陶磁器、石器などが出土している。

自然流路は調査区全域に及ぶ。東西方向もしくは北東～南西方向に流れた流路と推測される。層厚は 1.36m 以上を測る。湧水が激しく、流路基底面の検出には至らなかった。流路の埋土には砂や礫などが互層となっており、激しい水流があったものと推測される。埋土からは弥生時代から古墳時代までの土器片が数多く出土したほか、石器や木片なども出土している。遺物は弥生土器、須恵器が出土している。出土した須恵器の形態より古墳時代後期には埋没したと考えられる。

水田址は、自然流路が埋没した後に形成されたものである。最も古い段階の水田層は古墳時代～古代の堆積層上に形成され、その後、室町時代頃まで存在していたものと考えられる。水田層上面では、人の足跡も検出している。検出した水田址の大部分は後世の造成などにより削平されており、その状況から判断すると、正尺池の構築時期は江戸時代以降と推測される。

**まとめ** 調査地が所在する河野別府地区には、別府遺跡や河野小学校遺跡があり、古代～中世の掘立柱建物や土坑など集落関連遺構を検出している。今回の調査では、古墳時代後期頃に埋没した自然流路や古代～中世の水田址などを確認した。調査地一帯に広がる古代～中世にかけての集落の生産域の一端が垣間見られたものと思われ、今後、同地区の居住地域と生産域の範囲の解明を進めていきたい。



写真 1 遺構完掘状況（南東より）



写真 2 水田 3 足跡完掘状況（東より）

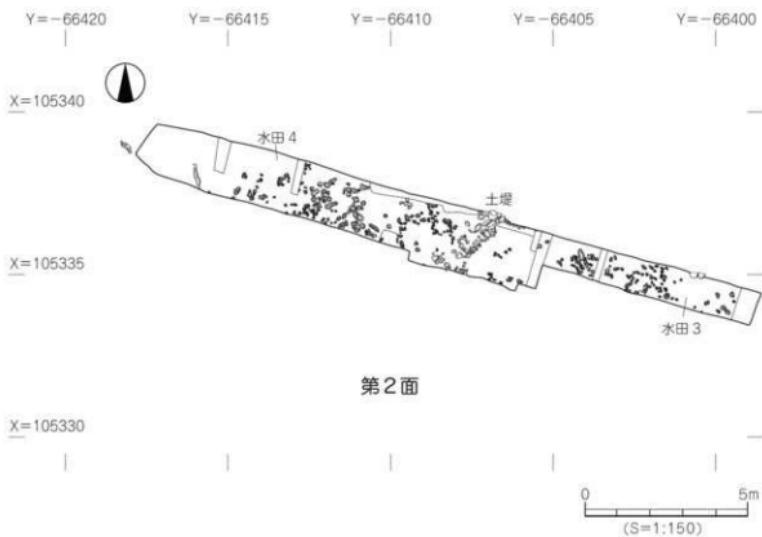
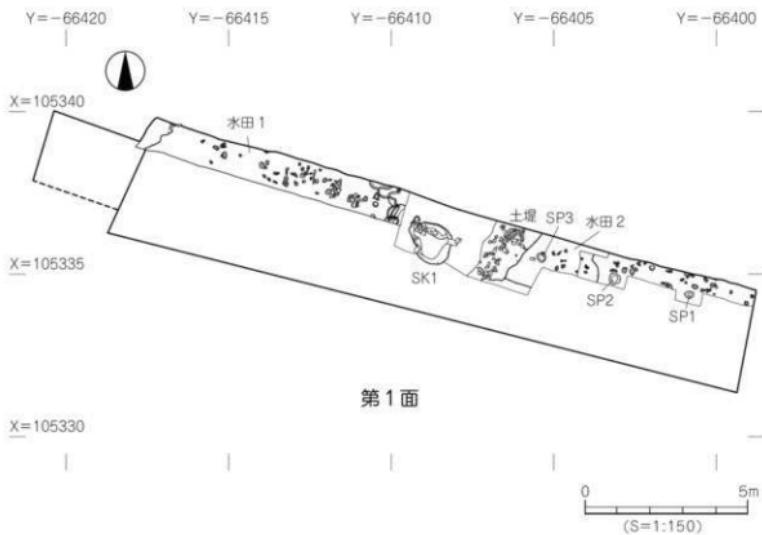


図2 遺構配置図

## べつぶ 別府遺跡3次調査

所在地 松山市河野別府115番の一部  
(包蔵地外)

期間 平成29年12月1日～平成30年3月16日

面積 800m<sup>2</sup>

原因 正尺池堤体改修工事

担当 作田一耕



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は、高麗山西麓の北条平野南部を西流する河野川と高山川に挟まれた沖積地の標高14～16mに立地する。北条平野周辺の山麓尾根上や独立丘陵上には、古墳時代前期から後期にかけての古墳が多く、とくに後期古墳は県内でも有数の密集地帯である。調査地近辺に目を転じると、北にはマス池遺跡、別府遺跡及び別府遺跡2次調査地、西には北条常保免遺跡、大相院遺跡などがあり、古代・中世を中心として縄文時代～古墳時代にかけての遺構や遺物も見つかっている。

今回の調査区は正尺池の堤体裾を堤防に沿うように設定されたことから、東西に細長い弧状形となつた。このうち遺構が良好に残っているのは調査区南西部で、北半分（池の内側に当たる部分）は、正尺池建設時の削平によって、さらに南東部は後世の河川氾濫等の破壊で遺構はほとんど残っていない。

今回の調査では平安時代末から鎌倉時代初め頃の遺構・遺物を検出した。

遺構は小穴が中心で約180基、土坑8基、溝3条である。小穴は建物を構成するものもあると推定できるが、現地調査段階で建物跡と判断できるものはなかった。調査区が狭長であることも一因だが、本遺跡の立地や調査結果からみても、河川氾濫の影響を受けやすい地形であり、集落が展開するのにふさわしい場所であるかどうかとも検討する必要がある。なお、遺構の時期は、遺構内から出土する遺物や埋土の共通性から判断した。

遺物は遺構確認面直上の遺物包含層出土のものが大半であるが、遺構から出土する遺物も一定数ある。これらの遺物の詳細な検討は今後行うが、12世紀前半～終末にかけての貿易陶磁器、瓦器（椀）、常滑焼、東播系須恵器、土師器（壺・皿）などが中心で、概ね12世紀後半期の遺跡と判断した。

**まとめ** 本遺跡が所在する河野別府地区は、中世伊予の豪族である河野氏の本貫地であり、地区内にある善応寺は同氏の菩提寺である。本遺跡北東部にある大相院遺跡出土遺物も含め、周辺の遺跡から青磁・白磁や常滑焼などの貿易陶磁器、中世陶器が多く出土するのは、河野氏との関連を窺わせるに十分である。

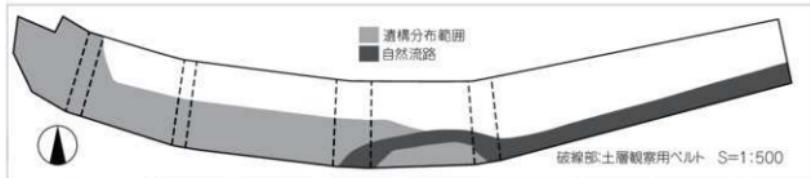


図2 調査区略図

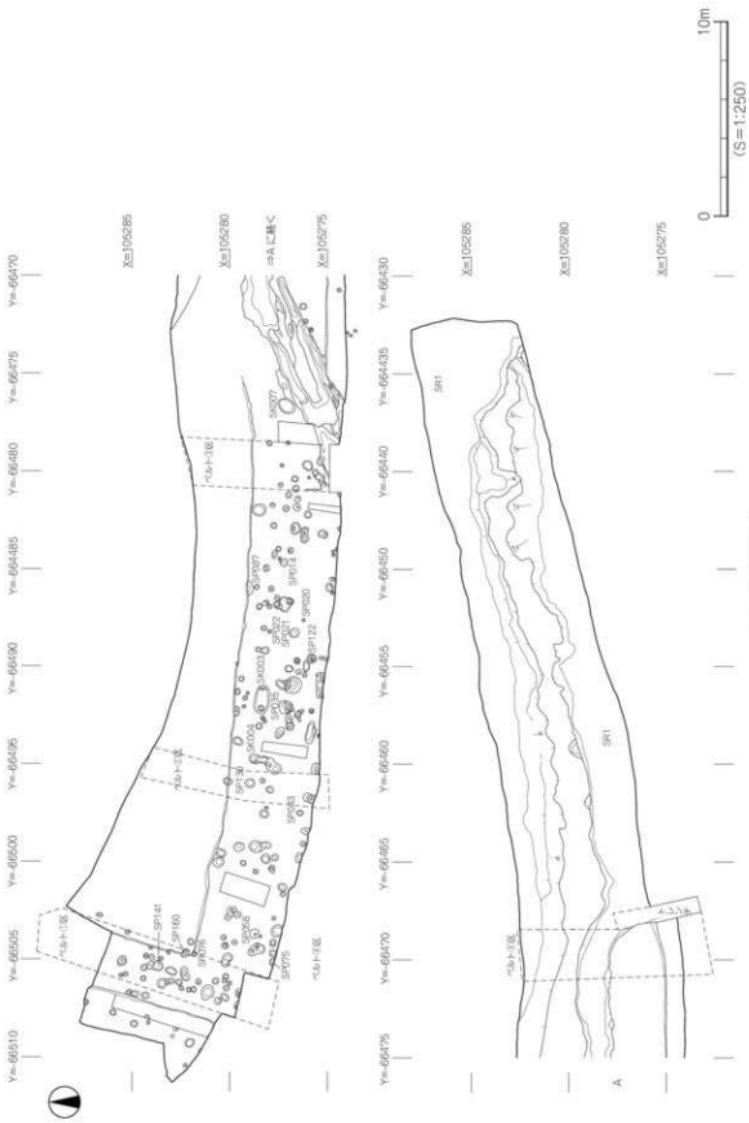


圖 3 遺構配置圖

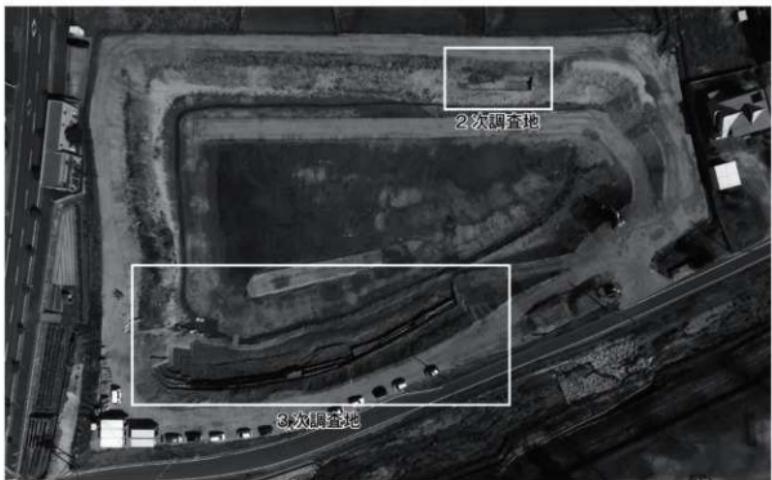


写真1 正尺池全景（俯瞰）



写真2 調査区全景（北より）



写真3 柱穴検出状況（北より）



写真4 遺物出土状況（北東より）



写真5 出土遺物（土師器皿）



写真6 出土遺物（瓦器椀）



写真7 出土遺物（白磁椀）

## くまやまもと 久万山本遺跡

所在地 松山市久万ノ台1035番の一部  
(松山地区No.167)

期間 平成29年5月26日～平成29年6月9日

面積 約24m<sup>2</sup>

原因 個人住宅建設(国庫補助事業)

担当 水本完児



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野北部、久万ノ台丘陵東部の標高18.30mに立地する。調査地周辺の遺跡には、北側に久万ノ台遺跡があり、古墳時代以降の掘立柱建物や溝、土坑と弥生時代前期～中世の遺物が検出されている。西側の丘陵上には久万ノ台古墳(現、県立松山西中等教育学校)があり、3基の横穴式石室が検出され、古墳時代後期の遺物(須恵器・鉄器・玉類)が出土している。

今回の調査では、弥生時代から古墳時代までの遺構と遺物を検出した。遺構は、堅穴建物1棟、土坑6基、柱穴15基を検出し、遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。弥生時代の遺構は、堅穴建物と土坑を検出した。堅穴建物SB201は、炭化材・炭化物と焼土塊を検出している。炭化材には一部柱材と思われるものが含まれていたが、その方向に規則性が認められないことから廃絶時に建物を解体した後、屋根材や柱材などを建物内で焼却したものと考えられる。平面形は、検出状況から一辺5.7m以上の隅丸方形ないし方形を呈する堅穴建物と考えられる。建物内施設として炉と北壁に沿ってベッド状遺構を検出している。炉の南側には炉堤が造られ、さらにその周囲には溝を弧状に巡らしている。溝を伴った炉は松山市内では東本遺跡4次調査にて検出されているが、検出事例は極めて少ない。廃棄時期は弥生時代終末である。

古墳時代の遺構は、土坑と柱穴を検出した。これらの遺構は時期を判断する資料が少なく、時期の特定は難しいが、概ね古墳時代後期以降と推測される。調査地北方の久万ノ台遺跡からは古墳時代から古代の建物跡や溝が検出されており、本調査検出の遺構は、調査地近隣地域に古墳時代集落の存在を示唆する資料といえる。

**まとめ** 今回の調査において弥生時代の焼失家屋や古墳時代以降の遺構・遺物の検出など、貴重な資料を数多く得ることができた。今後は久万ノ台地区における集落構造や変遷を解明し、さらには丘陵上に存在する古墳との関係なども追及する必要がある。



写真1 1・2区完掘状況(北より)



写真2 SB201 完掘状況(北西より)

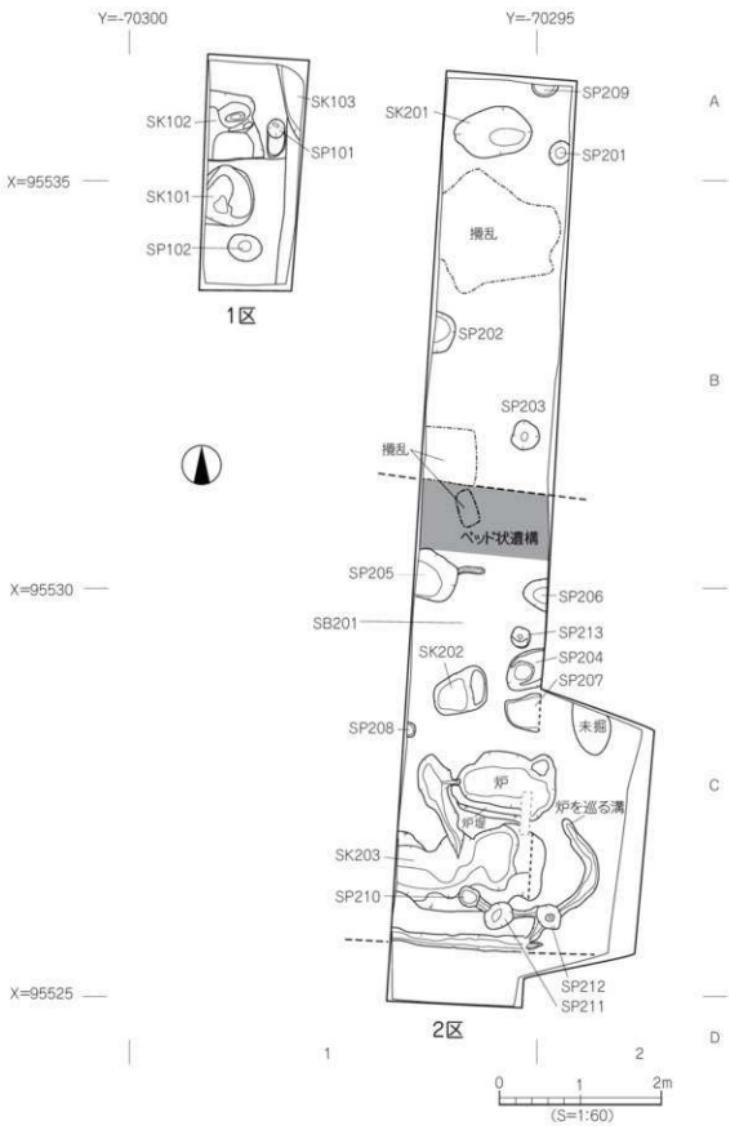


図2 遺構配置図

まつやまじょうさんのもと  
松山城三之丸跡 20 次調査

所在地 松山市堀之内 10・12、無番地の各一部  
(史跡松山城跡)

期間 平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 2 月 2 日

面積 約 306m<sup>2</sup>

原因 史跡整備に伴う確認調査（国庫補助事業）

担当 橋本雄一・河野史知



図 1 調査地位置図

**概要** 城山公園の第2期整備に伴う遺構確認のため、三之丸西北部において発掘調査を実施した。同 19 次調査地（平成 28 年度）の南に隣接して調査区を設定し、「杉馬場」北端における出入口の構造解明を主目的とした。調査区北端は 19 次の南部と重複する位置に設定し、昨年度調査で確認された杉馬場の土手 2 基とその途切れ部分をより明確に把握できるようにした。また、調査区南端は、18 次調査区北端との間に僅かな隙間を残すことによって土層観察を確実に行えるよう工夫した。

調査の結果、19 次で検出された 2 基の馬場土手のうち、南北方向の土手 C は南には延びず、土手 B の北端方向へ直角に曲がる構造であったこと、また、土手 B の南端は昨年度の確認位置から僅かに南へ延び、東西方向の石組溝北辺で止まることが明確となった。入り口は、クランク状に屈曲する土手 C～土手 B（土手 2）南端と土手 1 北端との間に南方向に開口する橋形虎口状の形状であることが確定した。ただし、この形状は、幕末の『亀郭城秘図』（1864 年、文久 4 年）に描かれたものと一致しているが、元禄年間（1688 年～1704 年ころ）の成立とされる『松山城屏風絵』とは異なる。西暦 1661 年（寛文元年）に杉馬場が新設された当初は東の「北御門広場」へ開口していたものが、後に改変された可能性がある。

松山城の築城は、加藤嘉明によって西暦 1602 年（慶長 7 年）に始まる。その後、松平定行が桑名から入る 1635 年（寛永 12 年）ころには全容がほぼ定まるものとみられている。三之丸は、杉馬場設置以前の 1639 年（寛永 16 年）に長蔵（御用米蔵）が建設され、その後、1684 年（貞享 4 年）に藩邸（三之丸御殿、後に松山藩庁）が新設されて以降、歴代藩主の居所であり政務を執り行う役所として、1870 年（明治 3 年）に焼失するまで継続して使用されている。

今回の調査における成果のひとつとして、杉馬場設置以前、築城期の東西方向の石組溝を新たに確認したことがあげられる。南北石組間で幅 2.1 m（7 尺）の東西溝が西に延びることが明らかとなり、調査区西壁沿いの東西溝を埋め立てた土層から、肥前系陶器 2 点が出土した。1 の年代は 1590 年～1610 年ころ、2 の年代は 17 世紀前半を上限とする時期のものである。いずれも、築城工事が始まった 1602 年から 1661 年に杉馬場が新設されるまでの限られた期間の遺物である。なお、2 に関しては、薪焼の可能性もある。

東西方向の石組溝は馬場土手直下から西の部分が埋め立てられ、その後、土手 1 が構築されている。石組溝の埋め立てられなかった部分は当分の間、溝として機能していたようであるが、土手 1 沿いに新たに設けられた南北方向の石組溝の規模が幅・深さともに東西溝に比べて小さいため、排水が溜まりヘドロが堆積する状態であった。溝は溜まったヘドロを何度も浚渫して当分の間、維持されたと考

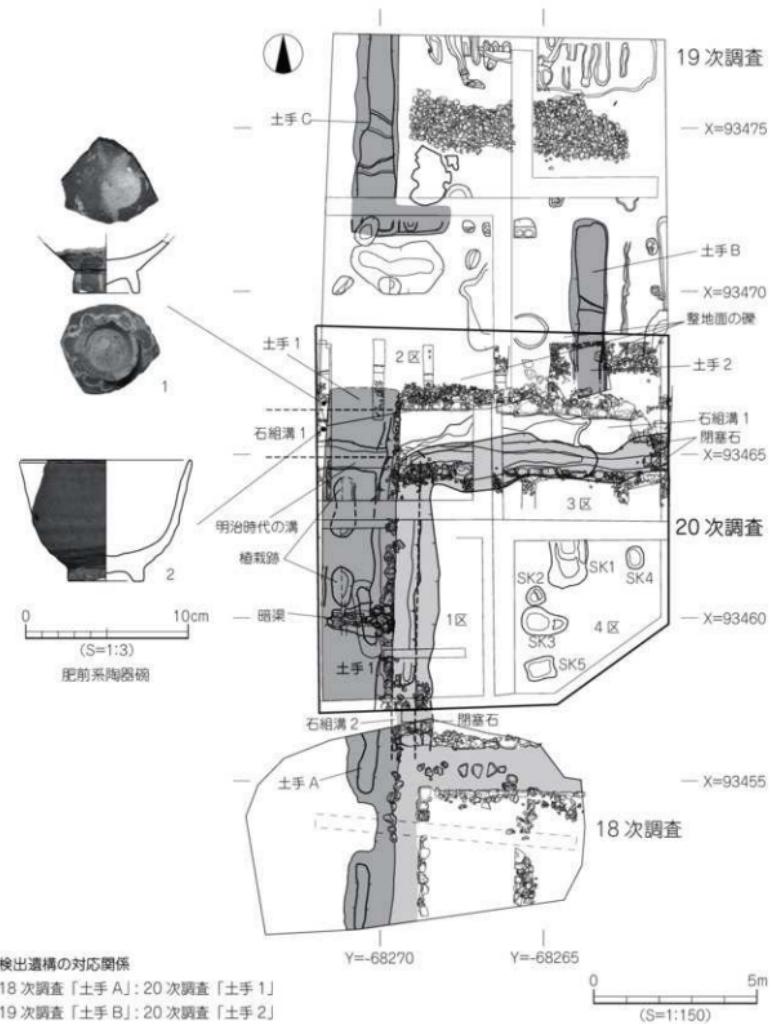


図2 遺構の配置と築城期の陶器碗

えられるが、最終的に南辺の石組が基底部の一部を残してすべて抜き取られ、溝自体が南に若干平行移動する。したがって、幕末の杉馬場の入口は、この溝に踏み板を置くか橋を架けるなどして南北道路からの導線を確保したものか、あるいは、18次調査区西北角と20次東端の2か所で確認された閉塞石が追加されている場所の間、概ね20次調査区内のL字状部分に関しては、幕末までに埋め立てられていた可能性が高いと考えている。

このほか、土手1に埋め込まれた状態の暗渠1基と、土手1上面で2基検出された植栽跡の存在は重要な成果である。

植栽跡と考えている2基の掘り込みは、杉馬場の土手の構築直後に植えられた杉の位置を反映したもので、土手北端の1本目とその南の2本目の跡と考えている。前述の屏風絵で見る限り、1本目の杉と2本目との間隔が他よりも狭く描かれている。3本目の杉は、南の18次調査区の東西溝のすぐ南に描かれていることから、18次で土手Aの西側が一部削られて幅が狭くなった付近に植えられていた可能性が高い。あるいは、この幅が狭い部分そのものが北から3本目の杉の位置を反映している可能性も十分あると思われる。絵図によると、これらの杉の根元の位置は、いずれも土手の頂部か、やや西斜面側に寄った場所であること、2基の植栽跡の検出状況と良く一致している。

まとめ 調査では、馬場土手の入口構造が把握でき絵図と整合することが明らかになった。時期についても出土遺物から文献記録と一致するものであり、今後の史跡整備に活かす成果を挙げることができた。



写真1 調査区全景 (北東より)



写真2 東西溝 (東より)



写真3 暗渠と植栽跡 (東より)

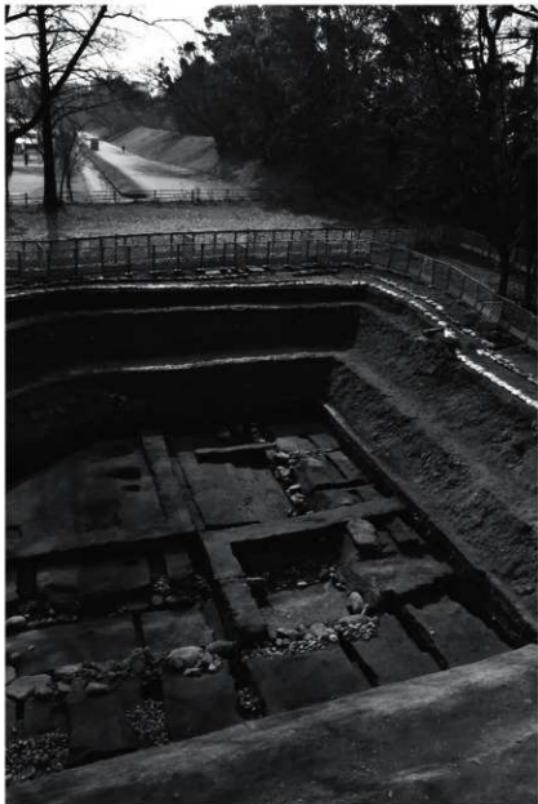
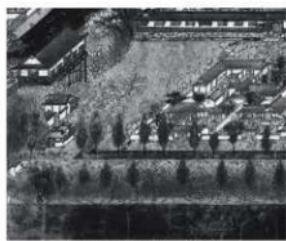
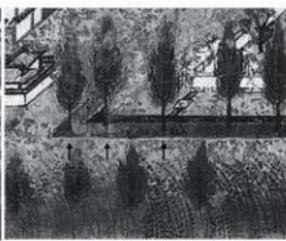


写真 4 調査区全景（北より）



松山城屏風絵（部分）



松山城屏風絵（杉馬場拡大）



亀郭城秘図（部分）

図 3 「松山城屏風絵」と「亀郭城秘図」における「杉馬場」北端の表現

## いわいだにおおちがた 祝谷大地ヶ田遺跡 8次調査

所在地 松山市祝谷六丁目 1024 番 3 及び 1023 番の各一部（松山地区 No.55）

期間 平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日

面積 160m<sup>2</sup>

原因 個人住宅建設（国庫補助事業）

担当 河野史知



図 1 調査地位置図

**概要** 本調査は、松山市埋蔵文化財包蔵地「No.55 祝谷大地ヶ田遺跡」内における個人住宅の建設に伴い実施した。調査地は松山平野の北東部、丘陵裾の標高 59m に立地する。周辺では数多くの遺跡が調査され、弥生時代～中世の集落跡や古墳が数多く検出されている。西側隣地では、祝谷大地ヶ田遺跡 3 次調査～7 次調査が行われ、弥生時代中期頃の貯蔵穴約 400 基が検出されている。また、古墳では祝谷 1 号墳～10 号墳の調査が行われている。このうち、祝谷 6 号墳では珠文鏡が出土し、祝谷 9 号墳は主体部は失われていたものの、帆立貝形の前方後円墳で、周濠は墳丘葺石のほか外周法面にも葺石を施しており、四国では初例の古墳である。

調査では、溝 1 条、土坑 14 基、柱穴 11 基、石室 2 基を検出し、遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、石製品、鉄製品、装身具などが出土した。

弥生時代では土坑 14 基（内貯蔵穴 4 基）、柱穴 10 基を検出した。土坑の平面形態は円形から梢円形が主体で、規模は長径が 1 ～ 1.7m で深度の深いものは 1.3m を測る。SK1・2・6・11 は規模や形状などから貯蔵穴と考えられ、小片ではあるが壺形土器、壺形土器、鉢形土器、高壺形土器など弥生時代中期頃のものが出土した。

古墳時代では石室 2 基（祝谷 11 号墳 1 号・2 号石室）と溝 1 条（SD1）を検出した。1 号石室は、西側の側壁や奥壁は調査区外に延びており全容は不明であるが、南方向に開口する横穴式石室で、規模は玄室長 3.2m 以上、玄室幅 2.1m 以上、残存高 0.68m を測る。墳丘の盛土は後世の削平により消失し、石室の遺存状況は、近現代の擾乱により側壁は壁体下部の 1 ～ 2 段が残存するだけであった。閉塞石と考えられる石積が 2 段残り、玄室内入口には踏み石が 1 段据えられていた。玄室床面は拳大以下の河原石を敷き詰めた礫床で、礫床上からは 6 世紀後半の須恵器や管玉、鉄鎌、鉄斧、刀子などの副葬品が僅かに出土した。また、石室閉塞部から直線的に南方向へ延びる墓道を伴っている。2 号石室は、墳丘の盛土は近現代の削平により消失し、奥壁は調査区外に延びる。残存状況から南方向に開口する横穴式石室で、規模は玄室長 2.4m 以上、玄室幅 1.2m 以上、残存高 0.38m を測る。石室の遺存状況は、側壁、奥壁とも、壁体下部の 1 ～ 2 段が残存するだけであった。玄室の床全面は小さな円礫が敷かれた礫床で、西北部からは人骨を検出したほか、中央部付近では土玉やガラス小玉などの装身具約 40 点、西南隅では 6 世紀前半の須恵器壺 3 点、東南部から北側にかけては 6 世紀中葉の須恵器壺 3 点や鉄鎌などが出土した。溝 SD1 は、調査区の東南隅で一部を検出した。11 号墳の周溝とも考えられるが全容が不明のため、今のところは可能性だけを示唆しておく。

まとめ 今回の調査で検出した弥生時代の土坑は、調査地西南隣に展開する同時期の貯蔵穴群の範囲がさらに丘陵の高い部分にも広がりをもつことが確認できた。2号石室の玄室東北部から出土した人骨は、遺骸の腐敗後に移動しており、副葬された須恵器の配置状況から、初葬は6世紀前半で6世紀中葉に追葬したことが考えられる。また、溝SD1は周溝の可能性をもち今後の周辺調査での結果をふまえて祝谷11号墳との関連を検討する必要がある。本調査区は狭小な範囲であるが、貯蔵穴や古墳の存在が確認できたことは、遺跡の広がりを考えるうえで貴重な資料となった。

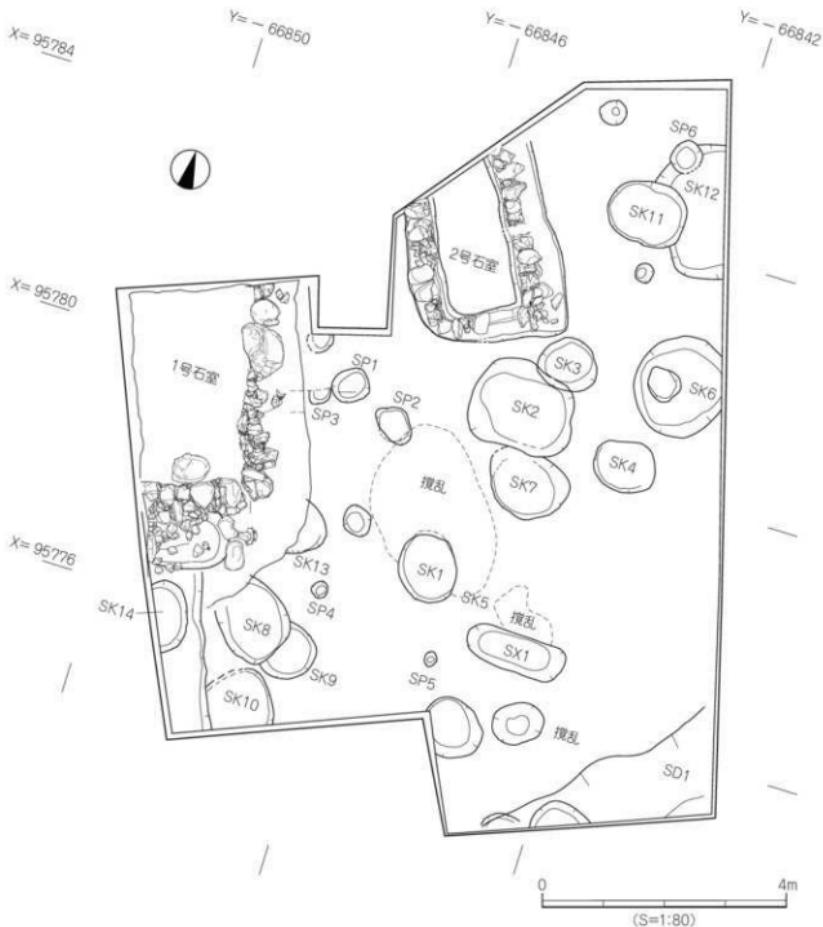


図2 遺構配置図

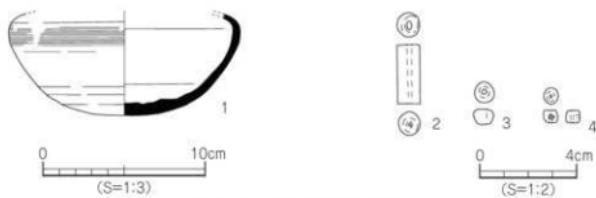


図3 1号石室出土遺物実測図

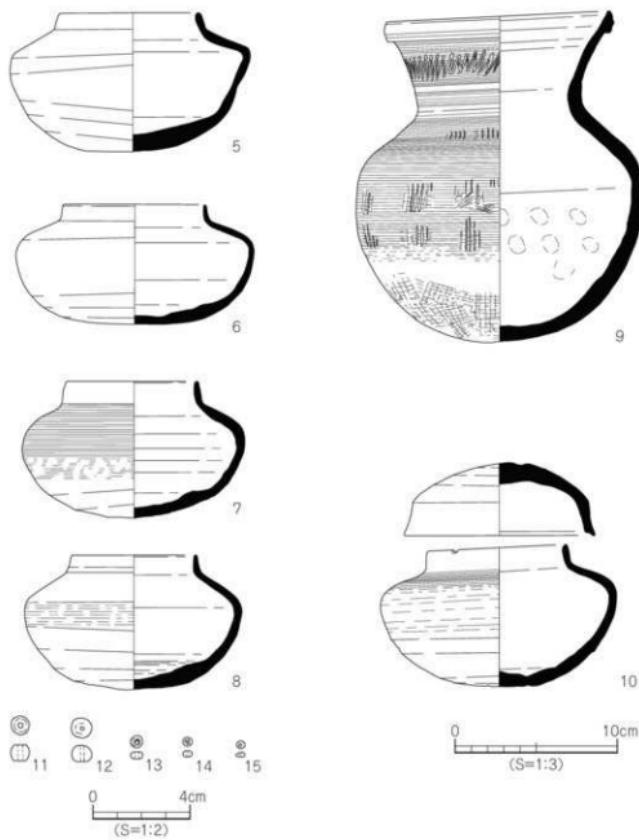


図4 2号石室出土遺物実測図



写真1 2号石室床面遺物出土状況（北より）



写真2 遺構完掘状況（西より）

## ぶんきょう 文京遺跡 69次調査

所在地 松山市文京町2番1・2・3・12・16・17の各一部（松山地区No.67）  
期間 平成29年11月15日～平成29年12月14日  
面積 約40m<sup>2</sup>  
原因 雨水管敷設工事  
担当 作田一耕



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は高縄山地の南西端から延びる分岐山塊の御幸寺山と城山との間に広がる文京遺跡の中にある。松山市教育研修センターの西に隣接し、現況は歩道で、標高は約29mである。調査地の西には、市道鮎屋町護国神社前線を挟んで愛媛大学があり、既往の調査では大学敷地内を中心に弥生時代から中世にかけての大規模な集落遺跡が展開している。

調査区は南北に長いトレーニング状で、途中に松山市教育研修センター駐車場への出入り口があるため、その部分を除き、南北2か所に分けて調査を行った。

調査の結果、1区（南側調査区）では現地表下60～70cmで厚さ約30cmの土層を検出した。観察によってこの中を8層に分類したが、各層とも植生痕が多い上に遺物を含まず、安定した土層とは判断できなかった。それらの土層を除去すると、にぶい黄橙色の地山に達する。この面で土師器片を含む柱穴を1基検出したが、遺物から中世の遺構と判断した。ただし深さが4cmしかなく、この判断が正しいとするなら、本遺構構築後、周辺はかなりの厚さで削平を受けていることになる。

柱穴は調査区南端で検出したことから、この部分を残し、北側の地山を少しづつ掘り下げた。途中土器片が3点出土したが、遺構には伴わない。地山を約50cm掘り下げ、小穴状の落ち込みを確認したところで掘削を終了したが、途中での遺構（面）の確認はできなかった。

2区（北側調査区）では地山面まで現代の搅乱を受けており、1区よりも破壊の程度が激しい。土坑を検出したが、検出状況は1区とはほぼ同様で、残存状況は悪い。

**まとめ** 今回は調査範囲が狭小かつ、後世の破壊がかなりの部分で地山層まで及んでいたことから遺構・遺物ともわずかしか検出できず、十分な成果を得られなかつた。



写真1 1区実掘状況（北より）

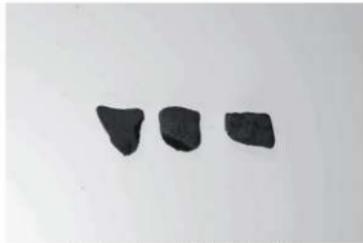


写真2 1区出土遺物（地山層内）

## 道後今市遺跡 16・17 次調査

### 【16次調査】

所在地 松山市道後町二丁目 817 番の一部  
(松山地区 No.68)  
期間 平成 29 年 9 月 19 日～平成 29 年 10 月 13 日  
面積 約 76m<sup>2</sup>  
原因 マンション建設  
担当 小笠原善治



図 1 調査位置図

### 【17次調査】

所在地 松山市道後町二丁目 816 番、817 番の各一部 (包蔵地 No.68)  
期間 平成 29 年 9 月 19 日～平成 29 年 12 月 15 日  
面積 約 778m<sup>2</sup>  
担当 1 区 高尾和長・2 区 小笠原善治

**概要** 調査は工程上、調査地の北部を道後今市遺跡 16 次調査 1 区・2 区、南部を 17 次調査とし、同時並行で行うこととなった。道後今市遺跡 16 次調査が終了した後、工事の計画変更があり、再度本調査地に対して申請がなされ、同 16 次調査 1 区の東、そして同 2 区と重複しながら北部において、同 17 次調査 2 区として調査区が設定され調査を行った。

### 16 次調査・17 次調査 2 区

今回の道後今市遺跡 16 次調査・17 次調査 2 区では、弥生時代～古墳時代、および中世の遺構・遺物を確認した。16 次調査での遺構は溝 4 条、土坑 7 基、柱穴 86 基を検出した。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、青磁、鉄器などが出土したが、完形に近いものはわずかであり、実測に耐えうる遺物の数は少ない。17 次 2 区での遺構は、土坑 6 基、柱穴 13 基、性格不明遺構 1 基を検出した。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、瓦器等の破片が出土している。両調査では表土を掘削後、第Ⅳ層、V 層にて遺構を検出した。遺構の大半は中世の遺構であり、周辺に存在する中世集落が本調査地にも広がることがわかった。1 区では調査地の北西に当たるところで多くの土坑や柱穴、溝が検出されたことから、中世集落の存在は調査地北部の西側にその広がりがあり、広がりは調査区南部に向かって希薄になっていくことは遺構の密度からも窺える。調査区西部で検出された土坑群の多くは、軸方向を南北または東西方向に取り、長さ 2m 内外、幅 1 ~ 1.5m の規模の中に収まるものである。埋土は第 V 層を主体としており、遺物は弥生土器から土師器、須恵器、瓦器、陶磁器まで多彩で、出土遺物からおそらくは 14 世紀代までの埋没と考えられる。これらの土坑では、埋土や遺構断面の観察、出土遺物から、骨や墓に伴う供獻土器や錢貨の出土ではなく、また木棺等の痕跡も認められなかつたが、17 次調査 1 区で見つかった中世墓と検出状況や規模、形状が似ていることからも土坑墓の可能性も考えられる。また、弥生時代の遺構は出土した遺物の状況から、いくつかの土坑、柱穴が該期のものと思われるが、柱穴は建物を構成できる柱穴群ではなく、その数も少ない。ただし、堆積層や土坑、その他の遺構内から、弥生前中期、弥生中期の土器片が混入していることから、当該期の集落が周辺に存在していたことを示すものである。



写真1 16次1区完掘状況（西より）



写真2 16次1区完掘状況（東より）



写真3 16次2区完掘状況（西より）



写真4 16次2区完掘状況（西より）



写真5 17次2区完掘状況（南西より）



写真6 17次2区完掘状況（東より）

## 17次調査1区

本調査では、弥生時代中期～後期と、弥生時代～古墳時代、中世の遺構・遺物を確認した。検出した主な遺構には、弥生時代中期後半～後期前半の土器溜まり2基、自然流路1条、弥生時代～古墳時代の溝7条、中世の土坑6基（うち土坑墓3基）、性格不明遺構3基、柱穴347基がある。注目する遺構は弥生時代の土器溜まりと中世の土坑墓である。弥生時代中期後半～後期前半の土器溜まりSX4・5の2基は長さ5～7m、幅2～3m、深さ0.5mの自然の凹地に土器を廃棄した様相が見られた。出土した土器は甕、壺、鉢、高坏があり、石製品では台石、擦り石、石鎌、石庖丁、石鍤がある。土器は完形品が多くあり擂鉢状の中央部に折り重なるように出土した。破片の土器はこの場で破損した状況が見られ復元可能なものがある。とくに中央部の狭い範囲内に集中しており、捨てたときに意図

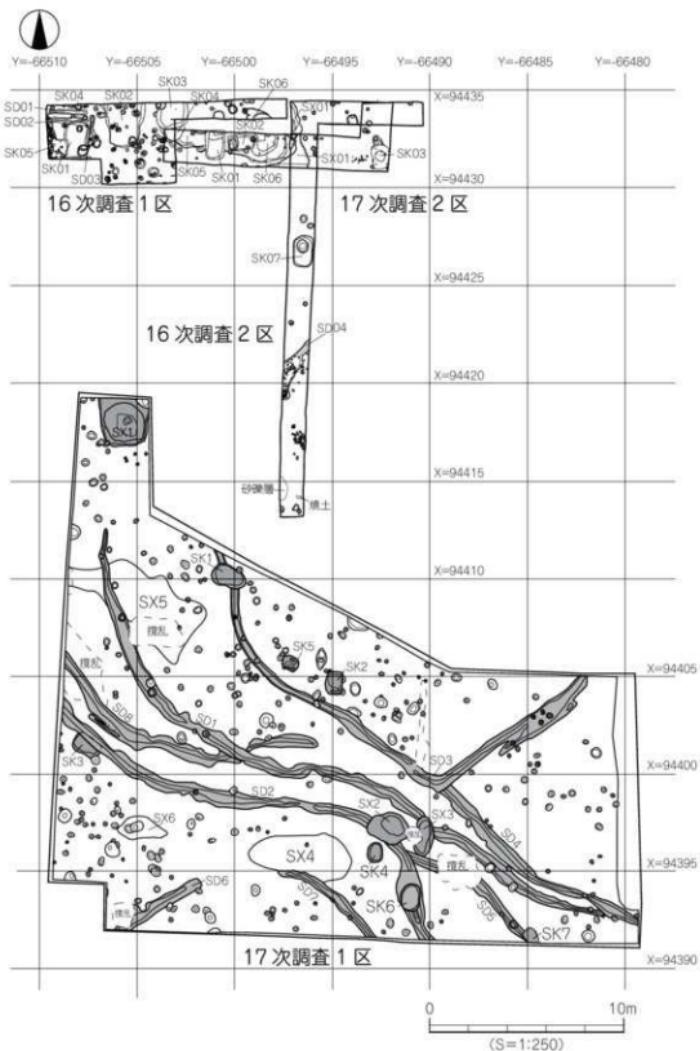


図2 遺構配置図

的に割られたと考えられる。調査地からは弥生時代の建物跡は検出されなかつたが、調査地の南西に隣接する道後今市遺跡4次調査からは、弥生時代の竪穴建物や土器溜まりが検出されており、集落域は南西方向に広がり、調査地で検出した流路の南側周辺に土器を廃棄する行為が行われたと考えられる。今後は出土遺物の器種と数量の確認を行い、道後今市遺跡3・4次調査で検出されている土器溜まりとの比較を行い遺構の性格と弥生時代集落の範囲確認を行いたい。

中世の土坑墓は3基（SK4・6・7）あり時期が異なる。SK7は鎌倉時代、SK4は室町時代、SK6は戦国時代である。出土状況にも違いがあり、鎌倉時代のSK7は多量の炭と床面から土師器の鍋が出土したほか白磁、土師器の壊が出土した。室町時代のSK4は多量の炭と骨、石が出土し土師器の壊が上部から出土した。戦国時代のSK6は頭骨と歯、人骨の一部が残り骨の位置関係から頭を北にし膝を折り曲げた屈葬で埋葬状況がよくわかる。出土遺物には土師器の壊2点と皿1点がある。壊の1点は半分に割って重ねられて南中央部の骨の上部から出土し、内外面ともに熱を受けて剥離が著しい。これは意図的に割って埋葬された特別な遺物と考えられる。道後今市遺跡3・4次調査からも中世の土坑墓が検出されており、道後今市遺跡内の中世の墓域が東側に広がることを確認できた。また、検出した土坑墓3基は、時期と埋葬状況に違いがあり中世の土坑墓の研究・整理を行う上で良好な資料である。

まとめ 以上、道後今市遺跡16次調査および17次調査の概要を述べたが、今後刊行される本報告にて各時期の動態や様相について、さらに検討を重ねていきながら、道後今市地区における中世集落の構造や変遷および古地形・古環境の復元に努める必要がある。



写真7 17次1区完掘状況（北より）



写真8 17次1区 SX4 検出状況（北より）



写真9 17次1区 SX5 検出状況（東より）



写真10 17次1区 SK6 遺物出土状況（東より）

## どうごゆづきまち 道後湯月町遺跡 2次調査

所在地 松山市道後湯月町甲 162 番 13、甲 162 番 15、  
甲 162 番 16、甲 162 番 17、甲 162 番 19  
(松山地区 No.58)

期間 平成 29 年 5 月 22 日～平成 29 年 6 月 9 日

面積 46.59m<sup>2</sup>

原因 市道道後 40・107 号線交差点改良工事

担当 山本健一



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、松山市湯月町にある一遍上人の生誕地ともいわれる寶嚴寺の門前、市道を挟んだ西側に立地し、松山平野でも有数の遺跡地帯である「道後城北遺跡群」内の北東端に所在する。調査地南側には、中世、河野氏の築城とされる湯築城跡や、白鳳期の瓦が出土した内代廃寺、道後姫塚遺跡、西方には道後湯之町遺跡を始め、弥生時代の拠点的集落である文京遺跡や松山大学構内遺跡など、また、調査地北側地域には道後湯月町遺跡、道後鶯谷遺跡、桜谷古墳群などがあり、縄文時代から近世までの集落関連遺構や遺物が確認されている。これらのことから、本調査地においても遺跡が確認されることが予想された。

試掘調査では、弥生土器、須恵器が良好な状態で多量に出土し、弥生時代から古墳時代の遺跡が存在する可能性が高いことがわかり、本格調査を実施することとなった。調査では、遺物包含層は確認できず、溝 1 条、石垣を検出したのみである。以下、石垣について記述する。

石垣は調査地南端部で検出した。東西方向に構築され南に面をもつ。検出規模は長さ 2.50m、構築幅 0.75m、高さ 0.45m を測る。東上りに傾斜をもつ基底石は西側と東側では約 0.6m の比高差を測る。積石面南側の横断面では、地山直上には厚さ 4cm の三和土が施され、その表面上は厚さ約 2cm のモルタルで覆われていた。このモルタル面は根石近くで凹んでおり側溝の機能を有していたと考えられる。まとめ 今回の調査で検出された石垣は、現代の造成土で覆うように埋められていたこと、モルタルを使用した側溝が確認できたことなどから、現代まで使われていたと思われる。構築時期は、遺物の出土がないため不明である。この石垣の並びは、寶嚴寺門前の石段北側の東西ラインと揃うことから、寶嚴寺に関連する遺構と考えられる。



写真 1 石垣列と寶嚴寺門前（西より）



写真 2 調査地完掘状況（北東より）

たるみたかぎ  
樽味高木遺跡 19次調査

所在地 松山市樽味二丁目 89番の一部  
(松山地区 No.81)

期間 平成29年5月8日～平成29年5月26日

面積 約42m<sup>2</sup>

原因 宅地造成

担当 水本完児



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野東部、標高42.95mに立地する。申請地の周辺では、樽味遺跡1～3次調査、樽味四反地遺跡1～23次調査、樽味高木遺跡1～18次調査が行われており、弥生時代～中世の集落関連遺構や遺物が多数出土している。

本調査では、弥生時代から平安時代までの遺構と遺物を検出した。検出した遺構は、土坑1基と柱穴24基である。遺物は遺構や包含層中から弥生土器、土師器、須恵器、石器などが出土した。

土坑SK1の平面形態は不整形である。検出規模は東西2.34m、南北1.20m、深さ0.26mを測る。遺物は、弥生土器片が少量出土している。時期は、形態や調整の特徴から弥生時代後期と考えられる。

柱穴は24基(SP1～24)を検出した。平面形態は円形、楕円形、不整形の3形態が認められる。検出規模は直径24～73cm、深さ3～36cmを測る。建物の復元はできていない。時期については、5基の柱穴から土師器と須恵器が出土しており、その形態から古墳時代中期後半以降の遺構であり、他の柱穴についても埋土色が同一のため同時期と考えられる。

**まとめ** 本調査では、弥生時代後期の土坑と古墳時代中期後半と考えられる柱穴24基を検出した。また、包含層からは弥生時代中期後半から後期の土器や、古墳時代中期後半から後期の土器や須恵器のほか、平安時代の須恵器壊などが出土している。このうち、古墳時代の遺物には甌などが含まれており、これらの出土状況から、調査地の周辺には古墳時代後期の掘立柱建物や竪穴建物など居住地があった可能性が高いと推測される。なお、平安時代の須恵器壊の出土は、当地や周辺地域における古代集落の存在を示唆する資料といえる。



写真1 遺構完掘状況（北より）



写真2 SK1 完掘状況（北より）

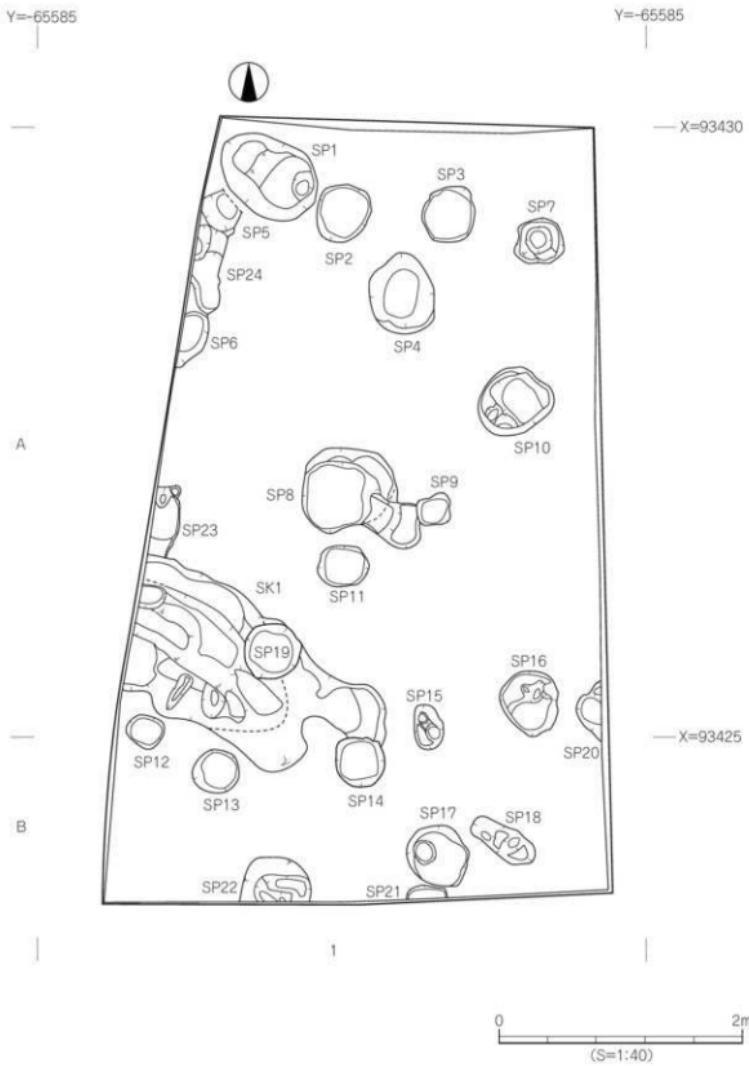


図2 遺構配置図

なかむらまつだ  
中村松田遺跡 7次調査

所在地 松山市中村二丁目42番2の一部  
(松山地区No.110)  
期間 平成29年7月10日～平成29年8月10日  
面積 約232m<sup>2</sup>  
原因 宅地造成  
担当 水本完児



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野南東部、標高27.50mに立地し、調査前は造成地であった。調査地の周辺では、中村松田遺跡（1～6次調査）、素鷺小学校構内遺跡、中村長正寺遺跡、小坂遺跡（1～6次調査）、小坂七ノ坪遺跡（1～4次調査）、拓南中学校構内遺跡などの調査が行われており、弥生時代～中世の集落関連遺構や遺物が多数出土している。

今回の調査では、弥生時代～古代の遺構・遺物のほか、AT火山灰の堆積層を確認することができた。検出した遺構は、土坑1基、溝3条、柱穴3基、水田層などである。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、綠釉陶器、石器が出土した。

弥生時代の遺構は、土坑1基（SK1）を検出した。土坑内からは、弥生時代後期の彫形土器や壺形土器の破片が出土している。古代の遺構は溝3条を検出した。このうち、SD2からは土師器の壺と皿、須恵器の壺、石器が出土した。時期は出土遺物より平安時代後期である。柱穴3基は土色や出土遺物より古墳時代以降と考えられる。このほか、土層の堆積確認のため深掘りトレンチを4か所掘削した結果、AT火山灰の堆積を確認することができた。純粋な1次堆積層は検出されなかったが、河川の氾濫等により運ばれた2次堆積層が標高26.5～27.0mの間に検出されている。

**まとめ** 弥生時代の遺構は、土坑1基（SK1）を検出した。周辺では、調査地西方にある中村松田遺跡5次調査にて弥生時代後期の溝や土坑が検出されており、該期の集落の広がりが知れる資料といえる。古代の遺構は溝3条を検出した。調査地北側にある中村松田遺跡6次調査にて古代の溝2条が検出されているが、本調査検出のSD2は6次調査検出のSD4と、SD1は同じくSD5と同一の溝の可能性がある。遺物では包含層資料であるが、綠釉陶器が出土している。当時、貴重品である綠釉陶器の出土は、近隣地域に寺院あるいは役所等の重要な施設が存在していた可能性を示す資料といえる。



写真1 遺構完掘状況（西より）



写真2 SD2完掘状況（南より）

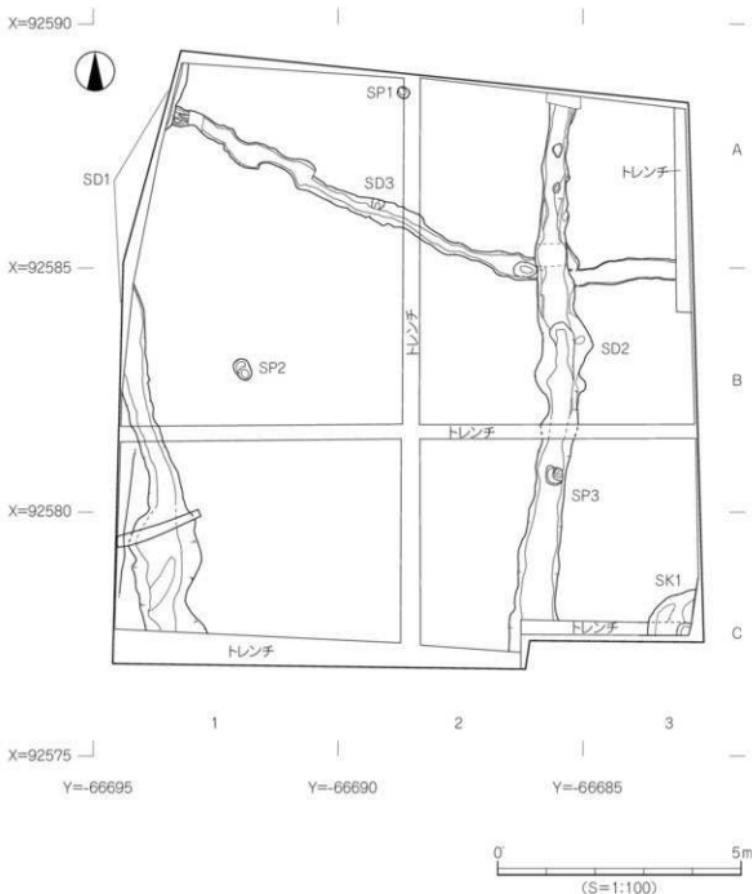


図2 遺構配置図

## かまのくち 釜ノ口遺跡 12次調査

所在地 松山市小坂三丁目 233番4の一部

(松山地区 No.110)

期間 平成29年4月20日～平成29年5月26日

面積 約150m<sup>2</sup>

原因 マンション建設

担当 作田一耕



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は、松山平野北東部に位置し、北東から南西方向に流下する石手川と川附川（小野川の支流）に挟まれた扇状台地上に立地する。周辺では多くの調査が行われており、弥生時代を中心として、古墳時代から中世にかけての遺跡が見つかっている。

調査区はほぼ平坦で、宅地化する以前は水田として利用されていたようで、現在でも近隣のそこかしこには水田が残っている。調査は工事によって破壊される、南北約95m、東西約165mの範囲で行った。

層序は地表から概ね、直近の宅地造成時の盛土と、その直前までの水田耕作土及び床土であり、その下に層厚5～10cmの遺物包含層を検出した。包含層を掘り下げると、周辺の既往調査と同様、火山灰の再堆積（二次堆積）層を地山とする遺構検出面に達する。その上面で溝（SD）3条、自然流路（SR）1条、柱穴（SP）25基を検出した。本調査で確認した地山層は大きく2層あり、上層は黄褐色系のシルト層で、その中に黒褐色・暗褐色系の土が網目状に貫入している。下層は橙色系のシルト層で、上層との間に前記の貫入土と同質の土が薄く層を成している。下層の地山は安定しており、貫入は認められない。さらにその下は砂礫層になっている。上層地山は東から西に向かって緩やかな下り傾斜を持っている。

**まとめ** 調査では、東西方向にはほぼ直線的に延びる弥生時代後期の溝、遺物が大量に出土した弥生時代終末から古墳時代初頭の溝、調査区外に延びているので全容は不明だが、円形もしくは隅丸方形の古墳時代後期の溝を各1条ずつ検出し、それぞれ弥生土器や古式土師器、須恵器などが出土している。

その他、調査区の北辺と南西隅から自然流路を検出し、当初は同一の流路と判断していた。しかし、堆積土に共通性が認められず、さらに北辺流路からは平安時代の遺物が出土しているにもかかわらず、南西隅流路からは弥生土器や古墳時代後期の須恵器片のみの出土で、同一流路と判断する根拠に乏しい。柱穴も25基検出したが、構造物として復元できるものはない。



写真1 調査区全景（北東より）



写真2 SD002・003・SR001 出土遺物



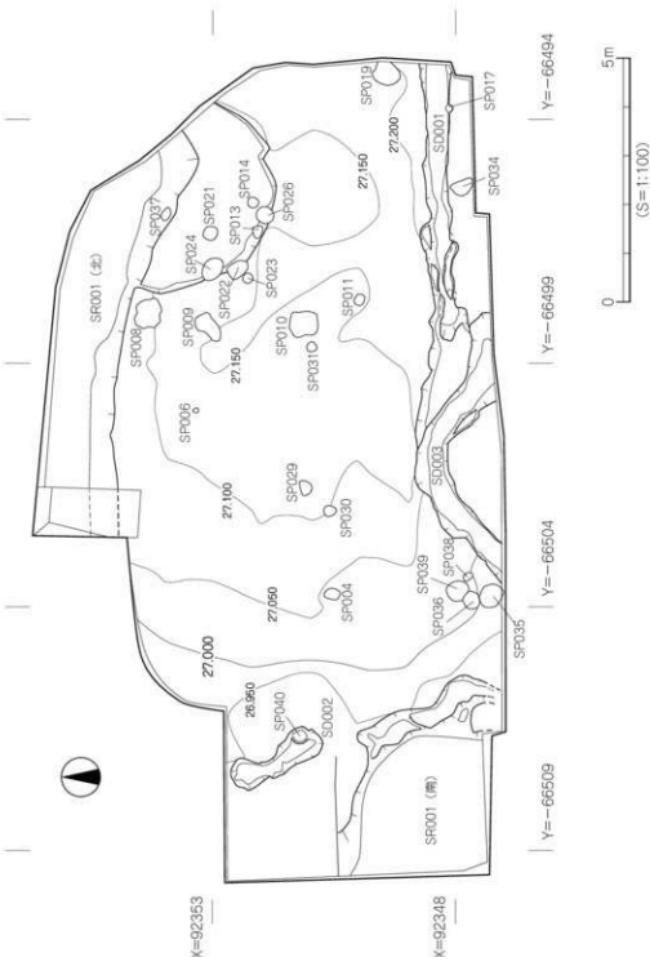


図2 造構記図

## 北井門遺跡8次調査

所在地 松山市北井門三丁目397番1の一部

(松山地区No.121)

期間 平成29年5月22日～平成29年6月16日

面積 約110m<sup>2</sup>

原因 宅地造成

担当 小笠原善治



図1 調査地位置図

**概要** 今回の調査では、弥生時代～古墳時代中期および中世の遺構を確認した。遺物は弥生土器、土師器、瓦器などが出土し、特に土師器高壺が多く出土しているが須恵器類は出土しなかった。

弥生時代では、弥生時代後期と考えられる溝（SD01）1条を検出した。SD01は、後世の開発によりかなり削平を受けている。検出規模は幅16～50cm、深さ2～10cmを測る。溝の性格については、この溝より南部には弥生時代の遺構が検出されなかったことから、調査地北部に展開する弥生時代後期集落の南限とすれば、集落を区切る区画溝的な意味合いも考えられる。

古墳時代では、古墳時代中期の堅穴建物跡（SB01）を検出した。SB01の平面形は、検出状況から方形を呈するものと考えられる。内部施設として周壁溝を巡らし、北壁にカマドを付設している。主柱穴は2基を検出している。遺物は、土師器高壺が多く出土している。カマドは馬蹄形を呈し南方に開口する。遺物はカマド内とその周辺より土師器高壺、小型丸底壺等が出土し、高壺の個体数は7～8個体以上に上る。このうち高壺一個体は、住居基底面よりいくつかの土を練り合わせたような貼り床に埋没するように伏せられた状態で見つかった。また北東隅では4個体の高壺がまとめて出土しており、建物廃絶時に高壺を使用した祭祀の痕跡と考えられる。

そのほか、柱穴（SP）が8基検出されているが、中世のSP04以外は遺物の出土もなく時期は不明である。ただ、SP05・06・07は堅穴住居との重複関係にあり、古墳時代中期以降の柱穴である。

**まとめ** 今回の調査では北部から展開する弥生後期集落範囲の推定、そして近隣遺跡の北井門遺跡1～5次調査について古墳時代の集落域や墓域を考える上での貴重な事例の追加となり、当地域および調査地周辺が弥生時代前期前半、後期後葉～末葉、そして古墳時代中期、および中世と時期ごとに多寡はあるものの、断続的に各時代の集落が經營されている様子が窺われる成果となった。



写真1 遺構完掘状況（南より）



写真2 SB01 北東隅遺物出土状況（北より）

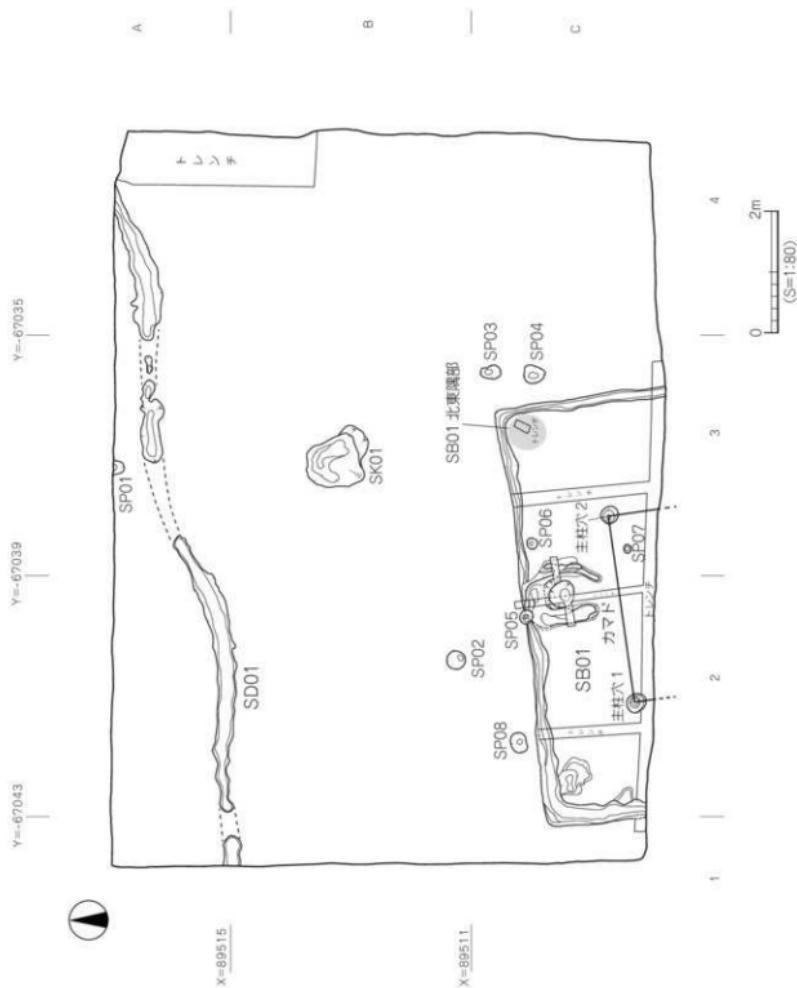


图 2 遗址配置图

## くめくぼたもりもと 久米窪田森元遺跡5次調査

所在地 松山市久米窪田町 877番4・5、889番2、  
889番3の一部（松山地区No.129）  
期間 平成30年1月9日～平成30年2月16日  
面積 293m<sup>2</sup>  
原因 宅地造成  
担当 小笠原善治



図1 調査地位置図

**概要** 今回の調査では、主に弥生時代～古墳時代の遺構を第VI層上面で確認した。調査地は、二区に分かれ、北側を1区、南側を2区とした。遺物は1区・2区ともに弥生土器、土師器、須恵器などが出土している。以下、土層・遺構・遺物について概観する。

調査地の遺構確認面である第VI層は、地山層である。この第VI層は1区北から2区の南に向かって緩やかに高くなっており、2区の中央部で平坦になる。第V層は黒褐色土や灰褐色土で形成される層で第V-1から第V-5までの5層に分層している。多くは第V-1層が大半で、その層は下層に堆積する土層で第V-1層の漸移的な層となるものである。この傾向は1区と2区の北部まで見られ、2区中央部からは第V-1層が安定して堆積する。第V-1層からは弥生土器、須恵器が出正在しているが、少量の出土である。

遺構は、掘立柱建物跡（掘立）4棟、土坑（SK）1基、柱穴（SP）55基を検出している。掘立柱建物の柱穴は、規模も大きくしっかりした掘り方で、比較的大型の建物と推測する。また掘立柱建物の多くは、南北棟のほぼ真北を軸とするが、約3°～6°東に振る方位をとる。このような一連の建物方位を示す例は、西方の久米官衙遺跡でも見られ興味深いが、出土遺物の内容と建物の配置方向について今後検討の余地を残す。

遺物は大半が弥生土器、須恵器の破片であった。須恵器は焼成不良の土器片が比較的多く出土している。実測図は掲載していないが、掘立02のSP35からは縄文土器の深鉢の口縁部が出土している。

**まとめ** 今後は、周辺の下刈屋遺跡、久米窪田古屋敷遺跡、そして久米窪田森元遺跡の竪穴建物・土坑・溝さらに今回検出した掘立柱建物などの集落関連遺構を比較検討し、弥生時代から古代における集落の範囲・構造・変遷を明らかにする必要がある。



写真1 1区遺構完掘状況（北より）



写真2 2区遺構完掘状況（北より）

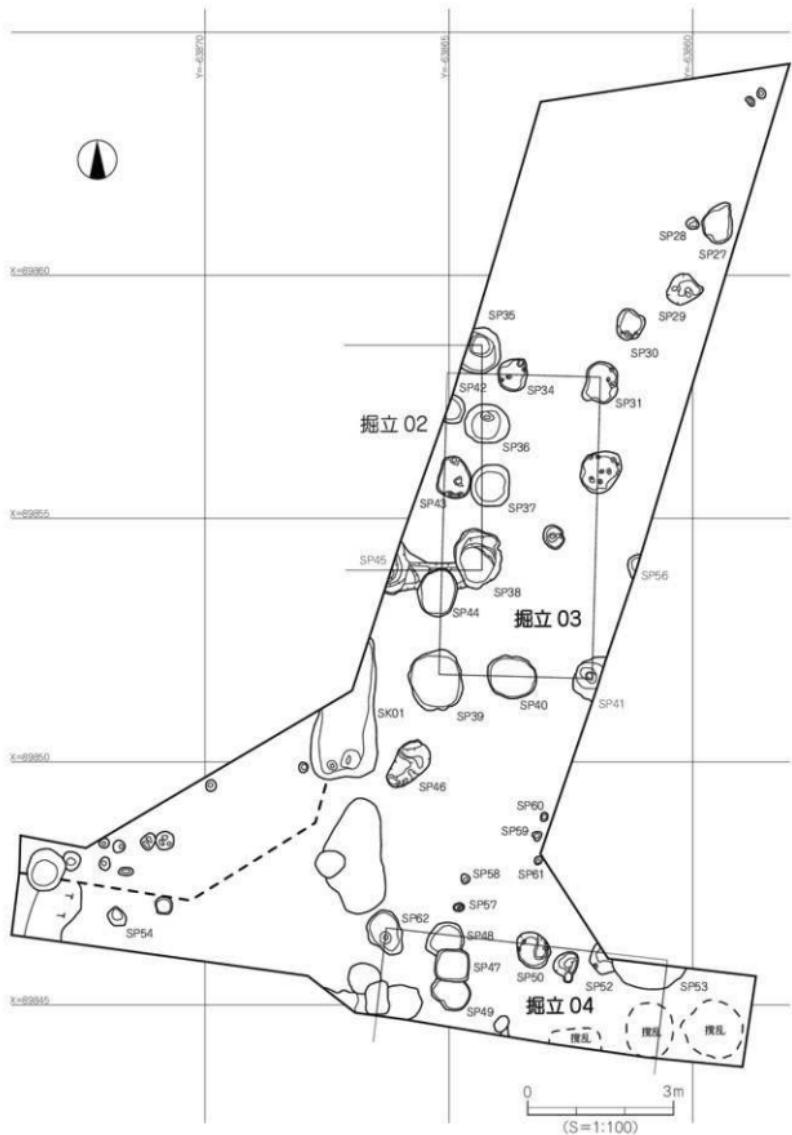


図2 2区造構配置図

## つるつか 鶴塚古墳

所在地 松山市平井町甲 3214 番及び甲 3209 番 3、  
甲 3211 番 8、甲 3213 番 7、甲 3215 番 1、  
甲 3216 番 1 の各一部（松山地区 No.226）

期間 平成 30 年 2 月 26 日～平成 30 年 3 月 23 日

面積 約 296m<sup>2</sup>

原因 車場整備

担当 相原浩二・山内英樹（文化財課）



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、松山平野東部の標高 50 ~ 52m に位置する。周辺の遺跡には平井遺跡、水泥遺跡、下刈屋遺跡など数多くの遺跡が調査され旧石器時代～中世にかけての遺構・遺物が見つかっている。周辺の前方後円墳は、調査地の南西 1.5km に波賀部神社古墳、北西 0.78km にすでに消失しているタンチ山古墳、北東 2.5km に播磨塚天神山古墳が所在している。

調査地内には、「鶴塚」と呼ばれる高まりのある塚の存在が古くから知られていた。この「鶴塚」はかつて「畠中の塚」として紹介され、その後「鶴塚古墳」として現況に至るまでの経緯や出土遺物などが報告され、鶴塚が古墳であり前方後円墳の可能性があることも指摘されていた。調査は工事によって失われる範囲とし、埋葬施設の有無や古墳規模の確認を主目的として行った。調査については後円部からくびれ部にかけての 1 区、前方部南西隅の 2 区、前方部の溝幅確認のための 3 区の 3 カ所を設定し実施した。なお、周溝については後世に残るものとして一部の掘削にとどめた。

調査の結果、埋葬施設は痕跡さえも見つからず、完全に失われていることを確認した。「塚」として残る後円部に残された高まりは、現代に盛られた土砂の可能性が高く、古墳築造時の盛土はほとんど消失している。周溝は全周するようであるが、後円部南側の一部で幅が狭くなっている。検出規模は全長 425m、墳長 35.0m、後円部直径 22.0m、周溝の幅 1.80 ~ 5.30m、深さ 0.02 ~ 0.35m を測る。西側の前方部では現代の削平のため周溝は非常に浅くなっている。

遺物は周溝検出時や掘削部分から土師器、須恵器、埴輪が出土している。北側のくびれ部では装飾付須恵器や盾形埴輪のほか、県内では出土例の少ない「石見型埴輪」が出土している。このほか、後円部で見つかった弥生時代の包含層中からは弥生時代中期末葉頃の土器が出土し、この中には安芸や備後地方で見られる脚付注口土器などが出土している。また、後円部のトレンチ掘削中に地山直上で後期旧石器時代のナイフ形石器 1 点が出土している。

**まとめ** 今回の調査で確認された鶴塚古墳は、周溝を伴った全長 425m を測る前方後円墳であり、周溝内から出土した遺物より 6 世紀前半の築造であることが判明した。残念ながら埋葬施設は消失していたものの、松山市域の前方後円墳は確認・未確認のものを含めて十数基しかなく、新たに確認できたことは大きな成果であった。また、弥生時代中期後半の土器が数多く出土していることから、調査地周辺に弥生時代中期後半の集落の存在が想定される。今後は、平井地区における弥生時代中期後半の集落範囲の解明とともに、久米地域及び周辺の古墳時代後期首長墳の展開を捉えることが課題となる。

【参考文献】 溝削修三、1985：「畠中の塚」「愛媛考古学」8 号 愛媛考古学協会

十亀幸雄、2017：「松山市平井所在の畠中の塚—鶴塚古墳—」「愛媛考古学」22 号 愛媛考古学協会



Y=-63030.000 Y=-63020.000 Y=-63010.000 Y=-63000.000 Y=-62990.000

X=89790.000

X=89780.000

X=89770.000

X=89760.000

X=89750.000

Y=-63020.000

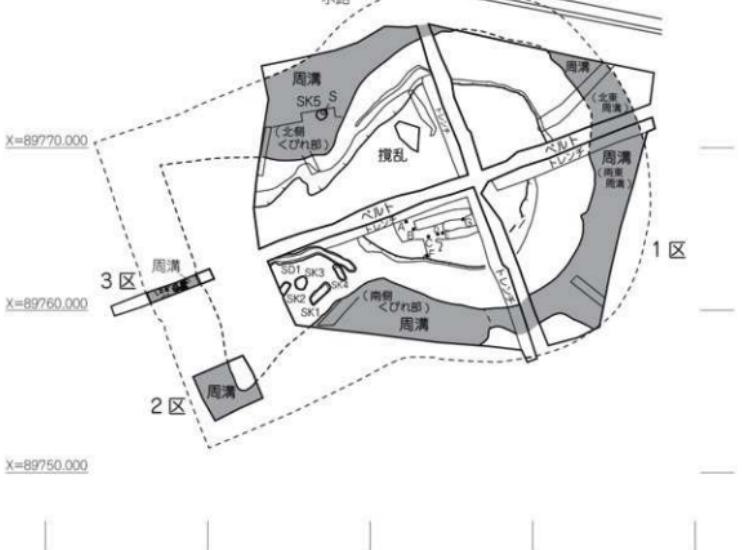
Y=-63010.000

Y=-63000.000

Y=-62990.000

道路

水路



※後円部南側のA～Gは包含層出土の弥生土器の位置を示す

※点線は想定ライン

※スミアミ部は周溝を示す

0 10m  
(S=1:400)

図2 測量図

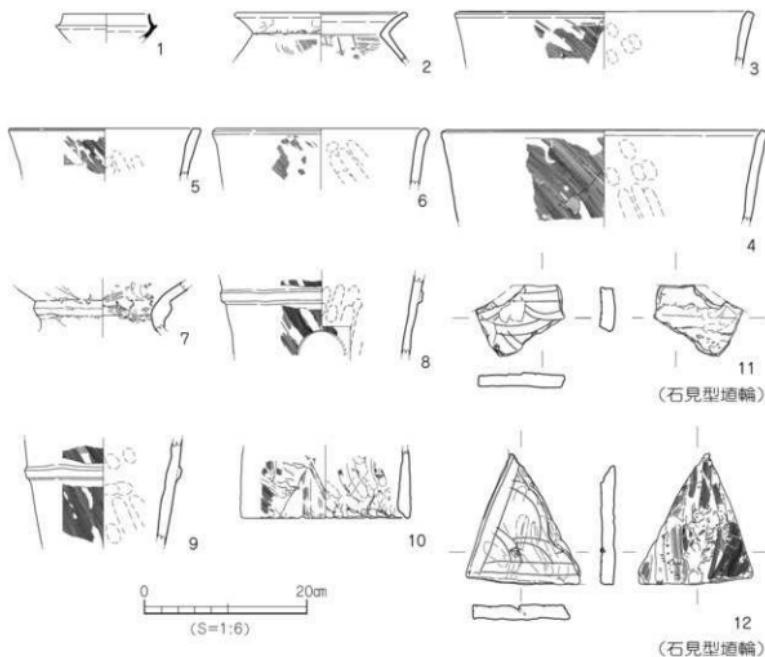


図3 周溝内出土遺物実測図

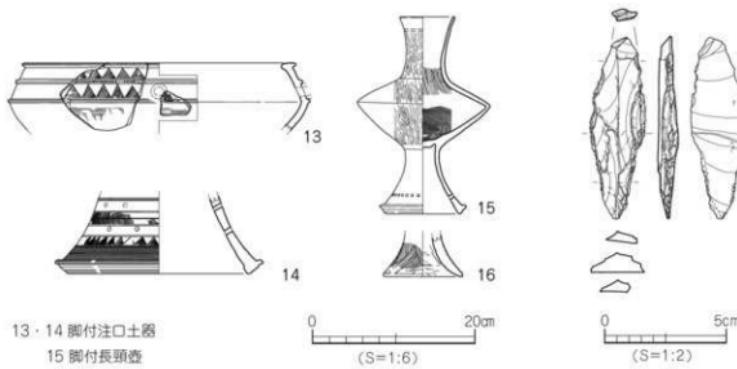


図4 包含層出土遺物実測図

図5 ナイフ形石器実測図



写真1 調査地全景（南西より）



写真2 鶴塚古墳全景（北東より）



写真3 後円部土層状況（南西より）



写真4 前方部周溝埴輪出土状況（北より）



写真5 周溝出土の「石見型埴輪」



写真6 後円部弥生土器出土状況（南西より）



写真7 SD1 弥生土器出土状況（東より）



写真8 前方部土坑 SK1～3 検出状況（南より）

II 平成 29 年度  
松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

### ●例 言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課と公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は、平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日受付迄（申請番号 1 ～ 237 号）の資料を取り扱う。なお、平成 29 年度以前の資料については、『松山市埋蔵文化財調査年報 I ～ X （昭和 60 ～ 平成 9 年度）、同年報 11 ～ 29 （平成 10 ～ 28 年度）』を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、相原浩二の指導のもと浅井茂之、越智田美紀、原富美、紺田明日香が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認申込書の番号に順するものである。また、本発掘調査については、平成 29 年度内に発掘調査を完了した遺跡を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、8 万分の 1 の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
  - ① 標 高：地表面での測定値。
  - ② 申 込 者：公＝地方公共団体等、民＝民間事業者。
  - ③ 調査方法：試掘、踏査及び既往・周辺の調査履歴。
  - ④ 緊 急：記録保存を目的とした調査。国補：国庫補助事業調査。

### ●埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来的な文化の向上・発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和 25 年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの法律の目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」とこと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに（中略）その文化的活用に努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

### ●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

周知の埋蔵文化財包蔵地とは、貝づか、古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地のことです。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図<sup>④</sup>に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行う場合は、60 日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註）地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、文化財課にて配布しているほか、松山市ホームページでも閲覧が可能です。

## ●周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について

平成 29 年度は愛媛県教育委員会により以下の埋蔵文化財包蔵地に関する見直しが決定されました。

表 1 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧

包蔵地番号	包蔵地名 称	種類	時 代	見直し結果
34	朝美遺跡・朝美澤廬寺	集落跡・社寺跡 墳墓・その他	弥生・古墳・古代・中世・近世	平成 29 年 5 月 12 日修正
92	久米たんち山（武勇神社）古墳群	古墳	古墳	平成 29 年 5 月 12 日修正
224	岩崎遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代・中世	平成 29 年 5 月 12 日新規
225	古川遺跡	集落跡・墳墓	弥生・古墳・古代・中世・近世	平成 29 年 5 月 12 日新規
226	鶴塚古墳	古墳	古墳	平成 30 年 1 月 31 日新規

\* 123 武勇神社古墳は包蔵地の廃止による欠番（平成 29 年 5 月 12 日廃止）

表 2 平成 29 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧（1）

No.	所 在 地	面積 (m)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡包含箇所 有・無	道樋名	出土遺物	備 考
1	山越三丁目	643.52	20.60	No.168	民	その他建物	試掘	無			
2	西長門町	101.75	11.18	No.17	公	水道	周辺の調査履歴 (H10-34)	(無)			
3	道後町一丁目	340.44	37.10	No.214	民	その他建物	試掘	無			
4	椎原町	165.64	25.80	No.170-3	民	住宅	直往の調査履歴 (H20-292)	(無)			
5	姫原二丁目	88.71	19.70	No.168	民	住宅	試掘	無			
6	小坂五丁目	1,004.20	23.30	No.111	民	その他建物	試掘	無			
7	東野五丁目	510.00	64.80	No.79	民	住宅	直往の調査履歴 (H26-207)	(有)			
8	衣山三丁目	830.30	23.60	No.20	民	住宅	試掘	有	○ 土坑 溝 柱穴	弥生土器 須恵器 鏡の羽口	
9	朝日ヶ丘二丁目	139.46	18.80	No.34	民	住宅	直往の調査履歴 (H28-20)	(有)			
10	文京町	10.63	25.60	No.67	民	その他開発	周辺の調査履歴 受験大学構内	—			
11	北斎院町	258.55	9.70	No.156	民	住宅	直往の調査履歴 (H28-35)	(有)			
12	文京町	9.20	25.60	No.67	民	電気	周辺の調査履歴 受験大学構内	—			
13	持田町三丁目	172.09	35.00	No.72	民	住宅	試掘	有	○ 土坑 柱穴	弥生土器 土師器 須恵器 銭貨の破片	
14	東石井六丁目	378.46	22.60	No.119	民	その他建物	直往の調査履歴 (H28-143) (H28-357)	(有)			
15	桑原一丁目	10.38	36.60	No.82	公	水道	周辺の調査履歴 (桑原高井遺跡第1次調査) (H13-341)	(有) (無)			
16	桑原六丁目	398.00	33.90 ~ 34.20	No.82	民	その他建物	試掘	有	○ 溝 柱穴	土師器 瓦器	
17	堀江町	1,815.00	8.00 ~ 22.50	No.38	民	その他開発	踏査	無			
18	道後湯之町	175.00	39.02	包蔵地外	公	道路	周辺の調査履歴 (H27-43 (3), (H27-59 (1)) (H25-88 (1)~3), (H27-109 (2))	(有) (無)			
19	桑原六丁目	1,118.00	33.90 ~ 34.50	No.82	民	その他建物	直往の調査履歴 (H28-20, H29-16)	(有)			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(2)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡○有・無	包含層○遺構名	出土遺物	備考
20	大浦	50.00	12.00 ~ 16.90	包蔵地外	公	道路	踏査	無			
21	浅海原	600.00	41.50 ~ 57.00	包蔵地外	公	道路	踏査	無			
22	安城寺町	263.54	8.50	No.154	民	住宅	試掘	無			
23	平井町	829.00	71.80 ~ 72.00	No.90	民	その他の建物	試掘	無	○ 弥生土器 須恵器 時期不明 の土器		
24	谷町	191.43	13.80	No.41	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-265)	(有)			
25	北久米町	2.88	34.15	No.126-1	公	水道	周辺の調査履歴 (H14-284)	(無)			
26	西石井五丁目	2.95	20.30	No.119	公	水道	周辺の調査履歴 (H27-244)	(無)			
27	祝谷二丁目	118.34	39.70	No.56	民	住宅	試掘	無			
28	朝生田町三丁目	267.12	18.50	No.109	民	住宅	試掘	無			
29	樽味四丁目	4.37	41.30	No.81	公	水道	周辺の調査履歴 (H28-174)	(無)			
30	来住町	4.07	38.50	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (S63-144)	(有)			
31	道後緑台	185.70	38.70	No.57	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-211)	(有)			
32	山越一丁目	661.19	18.10	No.160	民	その他の建物	試掘	有	○ 土坑 柱穴	弥生土器	
33	北井門四丁目	3.54	22.80	No.121	公	水道	周辺の調査履歴 (H28-148)	(有)			
34	枝松三丁目	326.00	32.50	No.82	民	その他の開発	試掘	無			
35	樽味四丁目	146.83	41.00	No.81	民	住宅	既往の調査履歴 (H27-129)	(有)			
36	道後町二丁目	703.51	34.90	No.68	民	その他の建物	試掘	有	○ 柱穴	弥生土器 土器 土師器耳皿 須恵器變 平瓦	
37	中村二丁目	712.75	27.60	No.110	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-272)	(有)			→発掘調査 中村松田遺跡(次 調査)
38	北井門四丁目	99.22	23.00	No.222	民	その他の建物	試掘	無			
39	北井門四丁目	1.35	23.00	No.222	公	水道	北井門遺跡 3次調査 (愛媛県加茂文 化財センター)	—			
40	平井町	782.50	60.00 ~ 81.60	No.95	公	道路	踏査	無			
41	浅海原	60.00	3.30	包蔵地外	公	その他の建物	試掘	無	○ 弥生土器		
42	北斎院町	250.57	9.70	No.156	民	住宅	試掘	無			
43	祝谷五丁目	488.00	49.30 ~ 49.90	No.55	民	宅地造成	試掘	無			
44	小坂五丁目	1,840.73	24.00	No.111	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H28-116)	(無)			
45	北久米町	1,594.69	30.00	No.116	民	その他の建物	試掘	有	○ 溝 柱穴	土師器 土師器壊	
46	道後湯月町	277.05	61.30 ~ 63.30	No.58	民	住宅	試掘	無			
47	文京町	3.96	25.60	No.67	民	その他の開発	周辺の調査履歴 愛媛大学構内	—			
48	鉄砲町	192.72	26.70	No.67	民	住宅	試掘	無			
49	南久米町	231.40	35.40	No.126-1	民	住宅	試掘	無			
50	東石井三丁目	0.49	25.90	No.118	公	その他の開発	踏査	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(3)

No.	所 在 地	面積 (m <sup>2</sup> )	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含箇 ○ 道横名	出土遺物	備 考
51	持田町一丁目	359.96	34.70	No.209	民	水道	周辺の調査現地 受付大廈内	—			
52	東住町	288	40.10	No.127	民	水道	周辺の調査現地 (H28-207)	(有)			
53	北梅本町	273.62	78.70	No.107	民	宅地造成	周辺の調査現地 (H28-183)	(無)			
54	北久米町	166.38	32.90	No.126-1	民	住宅	試掘	無			
55	文京町	1,043.00	29.90	No.67	公	学校	試掘	無			
56	祝谷二丁目	915.08	36.90	No.56	民	宅地造成	周辺の調査現地 (H18-328)	(無)			
57	辻町	1,365.80	15.80	包蔵地外	公	土地区画 整理	試掘	無			
58	天山一丁目	146.24	22.10	No.112	民	住宅	周辺の調査現地 (H28-28)	(無)			
59	桑原四丁目	232.649	39.20	No.85	民	住宅	試掘	無			
60	東方町	1,739.23	55.80	No.143	公	学校	試掘	無			
61	祝谷六丁目	339.99	59.00	No.55	民	住宅	試掘	有	土坑 溝 柱穴	弥生土器 須恵器灰身	
62	福音寺町	181.80	23.30	No.112	民	住宅	周辺の調査現地 (H28-203)	(無)			
63	文京町	210	25.60	No.67	民	学校	周辺の調査現地 受付大廈内	—			
64	小坂五丁目	148.12	23.80	No.112	民	その他建物	周辺の調査現地 (H25-Ⅲ)	(無)			
65	福音寺町	645.93	29.00	No.116	民	その他建物	試掘	有	○ 溝 柱穴	土師器 土師器高环 須恵器	
66	北久米町	1,762.71	31.80	No.124	民	その他開発	試掘	有	○	弥生土器 土師器 須恵器	
67	小坂四丁目	1,116.00	24.90	No.110	民	住宅	試掘	無			
68	北久米町	540.73	34.50	No.126-1	民	その他建物	試掘	無			
69	津吉町	212.26	73.70	No.148	民	宅地造成	試掘	無			
70	北井門四丁目	5.29	23.00	No.121	公	水道	周辺の調査現地 (H16-36)	(無)			
71	文京町	4,606.00 ~ 29.90	29.00 ~ 29.90	No.67	公	道路	(文京通街 53次進合) 周辺の調査現地 (H24-26) (H29-35)	(有) (有) (無)			
72	中村二丁目	226.36	26.30	No.161	民	その他建物	試掘	無			
73	北井門四丁目	431.656	23.30	No.121	民	その他建物	試掘	無			
74	文京町	15.40	25.60	No.67	民	学校	周辺の調査現地 受付大廈内	—			
75	道後一万	255.88	31.70	No.68	民	その他建物	試掘	無			
76	東野五丁目	3,365 ~ 64.80	62.00	No.79	公	水道	周辺の調査現地 (H26-207)	(有)			
77	北斎院町	277.05	9.50	No.156	民	その他建物	試掘	無			
78	南久米町	138.21	35.60	No.127	民	住宅	周辺の調査現地 (H27-396)	(有)			
79	南久米町	3,255	35.60	No.127	民	宅地造成	周辺の調査現地 (H27-396)	(有)			
80	文京町	7.00	29.50	No.67	公	水道	周辺の調査現地 (H24-20)	(有)			
81	中通	8,920.00 ~ 32.50	22.50 ~ 32.50	No.40	公	その他開発	踏査	無			
82	樽味四丁目	126.00	38.80	No.81	民	住宅	試掘	無	○	土師器 須恵器	
83	吉華四丁目	5,257.64	15.90	包蔵地外	公	学校	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(4)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層 ○有・無	道構名	出土遺物	備考
84	道後町二丁目	1,783.75	35.90	No.68	民	その他建物	試掘	有	○	土坑 溝 柱穴	弥生土器 土師器 瓦器	→発掘調査 道後今市道路 16-17次調査
85	道後湯月町	78.96	51.10	包蔵地外	公	道路	試掘	無				
86	西垣生町	26,509.55	31.0	包蔵地外	公	学校	試掘	無	○	土師器 陶器器 土鍋		
87	桑原四丁目	219.51	39.20	No.85	民	その他建物	既往の調査履歴(H29-59)	(無)				
88	文京町	220.00	29.90	No.67	公	水道	(文京道跡 53次調査) 周辺の調査履歴 (H24-27) (H29-55)	(有) (有) (無)				→発掘調査 文京道跡 69次 調査
89	北井門四丁目	731.75	24.30	No.222	民	住宅	試掘	無	○	繩文土器 弥生土器		
90	南久米町	142.30	40.20	No.127	民	住宅	試掘	無				
91	福角町	482.00	25.00	No.170-1	民	住宅	試掘	無	○	弥生土器		
92	樽味三丁目	260.25	42.20	No.81	民	水道	周辺の調査履歴 妙媛大橋構内	—				
93	北土居四丁目	54.71	27.40	北土居 公園造成 (仮)	公	公園造成	既往の調査履歴 (H19市有公 園試掘)	(有)				
94	平田町	73.10 ~ 228.0	18.90	No.40	公	河川	踏査	無				
95	持田町三丁目	2,542.31 ~ 35.80	35.10 ~ 35.80	No.72	民	その他建物	試掘	有	○	土坑 溝 柱穴	土師器 須恵器	
96	朝生田町三丁目	165.33	18.10	No.109	民	その他建物	既往の調査履歴 (H28-171)	(無)				
97	道後北代	339.08	31.50	No.219	民	その他建物	試掘	有	溝	弥生土器 土師器 石斧		
98	桑原四丁目	462.48	37.40	No.85	民	その他開発	試掘	無				
99	小坂四丁目	997.59	25.60	No.110 No.111	民	その他建物	既往の調査履歴 (H28-115)	(有)				
100	南久米町	92.28	39.50	No.127	民	住宅	既往の調査履歴 (H24-190)	(有)				
101	祝谷六丁目	199.01	59.00	No.55	民	住宅	既往の調査履歴 (H29-61)	(有)				→発掘調査 祝谷大池ヶ田道路 8次調査
102	南江戸三丁目	721.41	13.40	No.35	民	その他建物	試掘	無				
103	来住町	81.15	39.70	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H23-237)	(無)				
104	祝谷二丁目	4.19	36.90	No.57	公	水道	周辺の調査履歴 (H18-328)	(無)				
105	桑原四丁目	1.75	39.20	No.85	公	水道	周辺の調査履歴 (H25-59)	(無)				
106	北斎院町	192.50	7.20	No.29	民	住宅	試掘	無				
107	道後緑台	175.23	38.70	No.57	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-211)	(有)				
108	鷹子町	632.46	43.60	No.128	民	その他建物	試掘	無				
109	南久米町	1.92	35.40	No.126-1	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-49)	(無)				
110	小坂五丁目	4.73	23.30	No.111	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-6)	(無)				
111	南久米町	120.03	36.50	No.126-1	民	住宅	試掘	有	○	溝	弥生土器	
112	平田町	688.00 ~ 49.00	40.00	包蔵地外	公	農業開発	試掘	無	○	時期不明 土器		

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(5)

No.	所 在 地	面積 (m <sup>2</sup> )	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡有・無	包含箇名	出土遺物	備考
113	平田町	2,449.00	17.00 ~ 41.50	包蔵地外	公	農業開発	試掘	有	土坑墓	人骨	
114	星岡一丁目	325.42	25.90	No 116	民	その他建物	試掘	無			
115	北梅本町	1,328.00	29.00 ~ 33.50	No 103	民	電気	既往の調査履歴 (H27-448)	(無)			
116	西石井六丁目	321.95	21.90	No 119	民	住宅	試掘	無			
117	北久米町	2,423.16	31.80	No 124 No 126	民	その他建物	既往の調査履歴 (H24-6) (H29-466)	(無) (有)			
118	久万ノ台	216.26	16.50	No 167	民	住宅	試掘	無			
119	道後北代	1.22	32.00	No 219	公	水道	既往の調査履歴 (H8-498)	(無)			
120	南久米町	4.17	31.20	No 126-1	公	水道	既往の調査履歴 (H18-90)	(無)			
121	久米塙田町	583.21	45.50	No 131	民	その他開発	試掘	無			
122	東山町	160.10	7.90 ~ 52.40	No 17	公	水道	踏査	無			
123	椿味二丁目	557.71	44.30 ~ 44.90	No 81	民	住宅	試掘	有	○ 清柱穴	弥生土器 土師器 瓦器	
124	道後今市	1,238.23	33.20	No 68	民	宅地造成	試掘	有	土坑	土師器 高坏	
125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	対象
126	南久米町	902.00	41.80	No 127	民	その他建物	試掘	無			
127	高砂町三丁目	3,001.01	22.30	包蔵地外	公	宅地造成	試掘	無	○	弥生土器 土師器	
128	道後録台	182.43	38.70	No 57	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-211)	(有)			
129	枝松四丁目	895.00	31.60 ~ 31.80	No 82	民	その他開発	試掘	有	柱穴	弥生土器 土師器	
130	朝美二丁目	199.44	15.10	No 34	民	宅地造成	試掘	無			
131	椿味三丁目	108.09	25.60	No 81	民	その他開発	既往の調査履歴 妙徳大学構内	—			
132	文京町 道後桶	83.46	25.60 No 208	No 67 No 208	民	その他開発	既往の調査履歴 妙徳大学構内	—			
133	北久米町	2,465.00	32.70 ~ 33.00	No 126-1	民	宅地造成	試掘	無			
134	南久米町	133.33	39.60	No 127	民	その他建物	既往の調査履歴 (H26-192)	(有)			
135	来住町	357.38	40.00	No 127	民	住宅	試掘	無			
136	道後録台	345.87	36.80	No 57	民	住宅	試掘	無			
137	椿味二丁目	111.64	42.80	No 81	民	その他建物	既往の調査履歴 (H18-180)	(有)			
138	祝谷五丁目	1.35	49.30 ~ 49.90	No 55	公	水道	既往の調査履歴 (H29-43)	(無)			
139	南江戸四丁目	420.50	12.10	No 35	民	住宅	試掘	無	○ 土師器 須恵器 龍泉系 青磁		
140	桑原六丁目	1,294.00	34.70	No 82	民	宅地造成	試掘	無	○ 弥生土器 土師器 須恵器		
141	枝松四丁目	353.58	31.40	No 82	民	住宅	試掘	無			
142	小坂四丁目	1,005.43	24.20	No 110	民	その他建物	試掘	無			
143	北井門三丁目	87.88	20.30	包蔵地外	公	道路	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(6)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地番号	申記者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層 ○道構名	出土遺物	備考
144	平井町	888.81	72.20	No.90	民	その他建物	試掘	無	○ 土坑 柱穴	土師器 須恵器	
145	福音寺町	146.83	25.30	No.116	民	住宅	試掘	有	○ 土坑 柱穴	土師器 須恵器	
146	樟味二丁目	132.74	42.40	No.81	民	住宅	既往の調査履歴(H18-181)	(有)			
147	南江戸二丁目	102.48	14.20	No.37	民	その他建物	試掘	無			
148	樟味四丁目	211.64	41.00	No.81	民	住宅	既往の調査履歴(H27-129)	(有)			
149	南江戸三丁目	360.90	13.20 ~ 13.40	No.35	公	水道	既往の調査履歴(H13-270) (H25-26)	(有) (無) (無)			
150	久米塙田町	1,733.05	45.60 ~ 45.70	No.129	民	宅地造成	既往の調査履歴(H28-271)	(有)		→発掘調査 久米塙田森元遺跡 5次調査	
151	北井門二丁目	495.15	25.30	No.222	民	その他建物	既往の調査履歴(H29-90)	(無)	○ 柱穴	弥生土器 土師器	
152	南久米町	143.30	40.20	No.127	民	住宅	既往の調査履歴(H29-90)	(無)			
153	姫原一丁目	253.43	25.10	No.168	民	住宅	試掘	有	○ 溝	弥生土器 土師器	
154	文京町	3,366.181	25.60	No.67	民	その他開発	既往の調査履歴 愛媛大学構内	—			
155	中村一丁目	349.75	27.70	No.108	民	住宅	試掘	有	○ 溝	土師器 須恵器 瓦器	
156	南久米町	166.74	35.60	No.127	民	住宅	既往の調査履歴(H27-346) (H28-10)	(有)			
157	西石井一丁目	2.32	20.00	No.119	公	水道	既往の調査履歴(H23-3)	(無)			
158	道後喜多町	239.99	33.90	No.219	民	住宅	試掘	有	○ 土坑 溝 柱穴	弥生土器 土師器	
159	西石井一丁目	746.08	20.30	No.119	民	その他建物	試掘	無	○	弥生土器	
160	樟味四丁目	259.46	37.80	No.81	民	その他開発	試掘	有	○ 柱穴	土師器 須恵器	
161	西石井五丁目	157.53	20.30	No.119	民	住宅	既往の調査履歴(H27-244)	(無)			
162	府中	288.00	7.80 ~ 8.20	包蔵地外	公	農業関連	試掘	無			
163	南江戸五丁目	2,050	13.30	No.33	公	水道	既往の調査履歴(H19-250)	(無)			
164	姫原一丁目	661.067	26.50	No.168	民	その他建物	試掘	有	○ 土坑 溝 柱穴	弥生土器 須恵器	
165	南江戸四丁目	86.67	12.70	No.35	民	住宅	試掘	無			
166	持田町三丁目	2,573.63	35.10 ~ 35.80	No.72	民	その他建物	既往の調査履歴(H29-95)	(有)		→発掘調査 持田本町遺跡2次 調査	
167	平井町	514.9339	58.00	No.152	民	その他建物	既往の調査履歴(H28-260)	(有)			
168	高岡町	251.49	7.60	No.27	民	その他建物	試掘	無			
169	道後今市	215.05	31.70	No.219	民	その他開発	試掘	無	○	弥生土器 土陶器 須恵器 サヌカイト	
170	文京町	346.17	27.00	No.67	民	その他開発	既往の調査履歴(H24-68)	(無)			
171	小坂五丁目	1,812.78	22.20 ~ 22.40	No.111	民	宅地造成	試掘	有	○ 柱穴	弥生土器	
172	樟味二丁目	165.30	42.40	No.81	民	住宅	既往の調査履歴(H18-181)	(有)			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(7)

No.	所 在 地	面積 (m <sup>2</sup> )	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡有・無	○包含層 ●遺構名	出土物	備考
173	北井門二丁目	701.75	24.20	No.121	民	宅地造成	試掘	有	○聖穴建物 ●土坑柱穴	土師器 須恵器	
174	南久米町	389	40.20	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-90)	(無)			
175	朝美二丁目	277	15.10	No.34	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-130)	(無)			
176	西石井五丁目	323	20.30	No.119	公	水道	周辺の調査履歴 (H27-244)	(無)			
177	椿味二丁目	106.68	40.42	No.81	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H18-180)	(有)			
178	小坂三丁目	448.05	27.60	No.110	民	その他建物	試掘	無			
179	北斎院町	133.10	8.90	No.156	民	住宅	既往の調査履歴 (H27-302)	(無)			
180	北井門四丁目	約 199.00	21.80 ~ 23.50	No.121	公	その他開発	周辺の調査履歴 (H24-206)	(無)			
181	天山二丁目	151.63	23.00 ~ 44.00	No.117	公	その他開発	周辺の調査履歴 (H26-194)	(無)			
182	平井町	3283.00	50.90 ~ 52.00	包蔵地外	民	その他開発	試掘	有	○ 前方 後円墳 周溝	弥生土器 土師器 埴輪 須恵器 白磁	→柴原真古 郷埋古墳
183	椿味三丁目	約 2315.00	42.30	No.81	民	その他開発	周辺の調査履歴 委託大学施内	—			
184	小坂五丁目	678.57	22.50	No.112	民	その他建物	試掘	無			
185	来住町	860.98	37.70	No.127	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H28-251)	(有)			
186	南土居町	332.45	40.10	No.132	民	その他建物	試掘	有	○ 柱穴	土師器 須恵器	
187	高岡町	155.59	7.80	No.27	民	住宅	試掘	無			
188	朝日ヶ丘二丁目	156.92	18.80	No.34	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-28)	(有)			
189	朝美一丁目	106.05	19.70	No.34	民	宅地造成	試掘	無			
190	枝松四丁目	277.00	31.60	No.82	民	その他開発	試掘	無			
191	枝松四丁目	184.00	31.60	No.82	民	その他開発	試掘	無			
192	高岡町	141.39	7.00	No.26	民	住宅	試掘	無			
193	椎現町	999.00	32.90	No.170-2	民	その他開発	試掘	無			
194	中村一丁目	349.75	27.70	No.108	民	その他建物	既往の調査履歴 (H29-155)	(有)			
195	西石井二丁目	7.55	19.80	No.119	公	水道	既往の調査履歴 (H26-238)	(有)			
196	椿味二丁目	231.42	42.40	No.81	民	住宅	既往の調査履歴 (H18-181)	(有)			
197	持田町一丁目	約 119.21	34.60	No.209	民	その他開発	周辺の調査履歴 委託大学施内	—			
198	越原一丁目	253.54	10.25	No.168	民	住宅	既往の調査履歴 (H29-153)	(有)			
199	府中	345.00	5.50	包蔵地外	公	農業関連	試掘	無	○ 弥生土器		
200	久米塙田町	52.50	45.90	包蔵地外	公	道路	試掘	無	○ 弥生土器		
201	北梅本町	800.00 ~ 111.80	110.20 ~ 111.80	No.166	公	道路	試掘	無			
202	北斎院町	23.20	9.80	No.26	公	水道	周辺の調査履歴 (H9-77) (H27-241)	(無) (有)			
203	南江戸六丁目	579.63	13.50	No.35	民	その他建物	試掘	無			
204	南久米町	109.93	40.20	No.127	民	住宅	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 平成29年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(8)

No.	所 在 地	面積 (m <sup>2</sup> )	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層 ○道構名	出土遺物	備考
205	道後北代	320	33.10	No.219	公	水道	周辺の調査探査 (H23-304)	(有)			
206	祝谷二丁目	4.00	36.90	No.57	公	水道	周辺の調査探査 (H18-320)	(無)			
207	北斎院町	68.70	12.80	No.31	民	その他の開発	試掘	無			
208	朝美一丁目	691.37	14.90	No.34	民	住宅	試掘	無	○	土師器	
209	北久米町	690.99	34.30	No.126-1	民	宅地造成	試掘	有	柱穴		
210	梅味二丁目	149.07	42.80	No.81	民	住宅	既往の調査探査 (H18-181)	(有)			
211	姫原一丁目	380.59	28.50	No.168	民	住宅	試掘	有	○ 潟	弥生土器	
212	小坂五丁目	115.94	24.10	No.111	民	住宅	試掘	無			
213	北斎院町	1,877.30	8.90 ~ 9.10	No.156	民	宅地造成	試掘	無	○	土師器 須恵器	
214	久万ノ台	149.42	29.40	No.20	民	住宅	試掘	無			
215	小坂四丁目	1.95	25.40	No.110	公	水道	周辺の調査探査 (H17-51)	(無)			
216	北斎院町	393.38	8.70	No.156	民	住宅	試掘	無	○ 近世以降 の土坑	陶磁器	
217	姫原一丁目	584.96	25.00	No.168	民	宅地造成	試掘	有	○ 潟	土師器	
218	平井町	1,017.00	55.40	No.152	民	その他の開発	試掘	有	○ 潟	弥生土器 土師器 須恵器	
219	朝美一丁目	399.06	14.50	No.34	民	その他の建物	試掘	無	○	土師器	
220	道後錦台	221.51	36.40	No.57	民	住宅	試掘	無			
221	西石井五丁目	815.88	20.10	No.119	民	その他の建物	試掘	無			
222	山越一丁目	269.38	18.70	No.160	民	住宅	試掘	有	○ 潟 柱穴	弥生土器	
223	南久米町	143.07	39.70	No.127	民	住宅	試掘	有	土坑	弥生土器 土師器 須恵器 石斧	
224	高岡町	141.39	7.00	No.26	民	住宅	周辺の調査探査 (H29-192)	(無)			
225	一番町三丁目	0.54	28.20	No.74	民	その他の開発	周辺の調査探査 (H9-320)	(無)			
226	道後北代	196.88	32.80	No.219	民	住宅	試掘	無			
227	朝美二丁目	188.05	40.20	No.34	民	住宅	試掘	無			
228	安城寺町	1,789.47	8.60	No.154	民	その他の建物	既往の調査探査 (H28-226)	(有)			
229	南斎院町	361.05	24.00	No.31	民	住宅	試掘	無			
230	道後北代	268.83	33.60	No.219	民	宅地造成	試掘	無	○	土師器	
231	北井門二丁目	154.28	24.40	No.222	民	その他の開発	試掘	無			
232	小坂三丁目	127.46	27.90	No.110	民	住宅	既往の調査探査 (H24-45)	(有)			
233	小坂三丁目	448.05	27.60	No.110	民	その他の建物	既往の調査探査 (H29-178)	(無)			
234	北土居五丁目	231.85	24.30	No.120	民	その他の建物	試掘	無			
235	南土居町	232.06	38.30	No.132	民	住宅	試掘	有	○	弥生土器 須恵器	
236	平井町	292.93	75.90	No.90	民	住宅	試掘	無			
237	北井門三丁目	131.07	22.60	No.121	民	住宅	既往の調査探査 (H28-249)	(有)			

表3 平成29年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

調査番号	通路名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m <sup>2</sup> )	屋外展示面積(m <sup>2</sup> )	調査目的
629	金口道跡 12次調査	松山市小坂三丁目233番4の一部	弥生～古代	土坑・柱穴・自然流路 弥生土器・土師器・須恵器	約150	129.430～129.526	緊急
630	柳町高木道路 19次調査	松山市柳町丁目89番の一部	弥生	土坑・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・石製品	約42	129.5.8～129.26	緊急
631	北井門道路 8次調査	松山市北井門二丁目397番1の一部	弥生～中世	多穴建物・土坑・柱穴 弥生土器・土師器・瓦器	約110	129.5.22～129.6.16	緊急
632	道後湯月町道路 2次調査	松山市道後湯月町甲162番13、甲162番15、甲162番16、甲162番17、甲162番19	近世	溝・石垣 弥生土器・須恵器	46.59	129.5.22～129.6.9	緊急
633	久乃山本山道路	松山市久乃山1035番の一部	弥生～古墳	多穴建物・土坑・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・石製品	約24	129.5.26～129.6.9 (国補)	緊急
634	中村松田道路 7次調査	松山市中村二丁目42番2の一部	古代	土坑・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・石製品	約222	129.7.10～129.8.10	緊急
635	道後今市道路 16次調査	松山市道後町二丁目817番の一部	弥生～中世	土坑・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・鉄製品	約76	129.9.19～129.10.13	緊急
636	道後今市道路 17次調査	松山市道後町二丁目816番、817番の各一部	弥生～中世	土蔵だまり・土坑・土堤墓・柱穴・自然流路 弥生土器・土師器・須恵器・石製品	約778	129.9.19～129.12.15	緊急
637	別所道路 2次調査	松山市野瀬町115番の一部	古墳～近世	土坑・柱穴 古墳・土坑・土師器・須恵器・木製品・橋子	160	129.10.2～129.11.30	緊急
638	松山城三之丸跡 20次調査	松山市城之内10-12、無番地の各一部(史跡内)	近世	馬場土手・土坑・石組物・馬籠 土師器・陶磁器・瓦・瓦器・金製品	約306	129.11.1～130.2.22 (史跡整備 (国補))	
639	文京道路 69次調査	松山市文京町2番1・2・3・12・16・17の各一部	弥生～中世	土坑・柱穴 弥生土器・土師器	約40	129.11.15～129.12.14	緊急
640	別所道路 3次調査	松山市野瀬町115番の一部	古代～中世	馬場土手・土坑 土坑・柱穴 土師器・陶器・貿易陶磁器・瓦器・石製品	800	129.12.1～130.3.16	緊急
641	久米富田森元道跡 5次調査	松山市久米富田町877番4・5、889番2、889番3の一部	弥生～古墳	掘立柱建物・土坑・柱穴 開文土器・豪華土器・土師器・須恵器	293	130.1.9～130.2.16	緊急
642	程谷大塚ヶ田道路 8次調査	松山市程谷谷六丁目1024番3及び1023番の各一部	弥生～古墳	石室(祝谷11号室)・土坑・溝・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・金製品・貴金属	160	130.2.1～130.2.28	緊急 (国補)
643	鶴塚古墳	松山市牛町中3214番及び甲3209番3、甲3213番8、甲3213番7、甲3215番1、甲3216番1の各一部	弥生～古墳	前方後円墳・周濠・土坑・溝 弥生土器・土師器・須恵器・石製品	約295	130.2.26～130.3.23	緊急



図1 平成29年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図

III 平成 29 年度  
出土物整理・保存処理事業

# 平成 29 年度 出土物整理・保存処理事業

## 1. 出土物整理

当センターでは、近年実施された発掘調査の整理作業と並行して、過去の調査に関する資料の再整理を行っている。

報告書作成に向けて作業を進めている発掘調査の出土品については、必要に応じて注記・接合・復元作業を拡充した上で、実測作業と写真撮影を行っている。報告書が刊行された遺跡の出土品については、掲載順に配列したうえで当センター収蔵庫と別棟の松山市文化財情報館のいずれかに収納するほか、胴部の小片等については市内北吉田町の収蔵庫にて保管している。また、重要遺物については、温湿度管理がなされ、自動消火システムが設置されているセンターの特別収蔵庫にて厳重に保管している。いずれの収蔵場所においても収蔵台帳を作成し、資料調査の依頼等に迅速に対応できる体制をとっている。なお、遺構・遺物の実測図・作業日誌・写真的ネガ・ポジフィルム等は、センターの所定の場所に保管しつつ、必要に応じて再整理を実施することによって、適切な管理を実施している。

### (1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

石膏による土器の復元作業は、報告書掲載写真の撮影と展示目的に加え、遺物の補強のために行う場合もある。近年は、過去に復元済みの遺物について、経年劣化による破損箇所の修復を行うこともある。

表 1 遺物接合・復元作業一覧 (1)

遺跡 No.	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
629	釜ノ口遺跡 12 次調査	3	1	平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
624	松山城三之丸跡 19 次調査	1	1	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	国庫補助
612	東垣生八反地遺跡	2		平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
581	船ヶ谷遺跡 5 次調査	13		平成 26 年	松山市文化財調査報告書第 192 集	
613	道後湯之町遺跡 2 次調査	12	10	平成 28 年	松山市文化財調査報告書第 191 集	
614	恵原新張遺跡 3 次調査	10		平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
631	北井門遺跡 8 次調査	34		平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
166	福音小学校構内遺跡	1		平成 2 年	松山市文化財調査報告書 第 50・91・95 集	
625	斎院烏山遺跡 3 次調査	1	1	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	国庫補助
591	恵原新張遺跡 1 次調査	4		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
512	松山城三之丸跡 10 次調査	1		平成 20 年	松山市埋蔵文化財調査年報 21	国庫補助
551	樟味四反地遺跡 23 次調査	1		平成 23 年	松山市文化財調査報告書第 186 集	
618	祝谷大地ヶ田遺跡 5 次調査	1		平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
622	祝谷大地ヶ田遺跡 6 次調査	1	9	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	

表1 遺物接合・復元作業一覧(2)

遺跡No.	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
637	別府遺跡 2次調査	1	1	平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
596	南江戸上沖遺跡 1次調査	-	32	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
607	南江戸上沖遺跡 2次調査	-	24	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
635	道後今市遺跡 16次調査	-	1	平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
636	道後今市遺跡 17次調査	-	2	平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
640	別府遺跡 3次調査	2	2	平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
620	樽味高木遺跡 18次調査	-	18	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	

## (2) 遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業

出土品は報告書刊行計画にしたがって分類し、必要なものについて実測図の作成やトレース作業を行っている。近年はデジタルトレースに完全に移行している。遺構測量図等に関しても同様である。

以下、作業を実施した遺跡について概要を記す。

表2 遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧

遺跡No.	遺 跡	報 告 書 名	備 考
613	道後湯之町遺跡 2次調査	「道後湯之町遺跡 2次調査」	平成 29 年度刊行
581	船ヶ谷遺跡 5次調査	「船ヶ谷遺跡 5次調査」	平成 29 年度刊行
346	筋違 M 遺跡	「筋違 M 遺跡・筋違 Q 遺跡」	平成 29 年度刊行 (国庫補助)
514	筋違 Q 遺跡		
596	南江戸上沖遺跡 1次調査	「南江戸上沖遺跡 1次・2次調査」	平成 32 年度刊行予定
607	南江戸上沖遺跡 2次調査		
591	恵原新張遺跡 1次調査	「恵原新張遺跡」(仮)	平成 30 年度刊行予定
594	恵原新張遺跡 2次調査		
614	恵原新張遺跡 3次調査		
583	余戸中の孝遺跡 1次調査		
584	余戸中の孝遺跡 2次調査		
605	余戸中の孝遺跡 4次調査		
606	余戸中の孝遺跡 5次調査		
585	余戸柳井田遺跡		
598	余戸柳井田遺跡 2次調査	「松山外環状線調査報告書」(仮)	平成 30 年度刊行予定
600	余戸柳井田遺跡 3次調査		
619	余戸柳井田遺跡 6次調査		
612	東垣生八反地遺跡		
617	東垣生八反地遺跡 3次調査		
623	東垣生八反地遺跡 4次調査		
604	南吉田南代遺跡		

## (3) 遺物写真撮影・現像・整理作業

平成 29 年度に報告書を刊行した遺跡について、掲載遺物の写真撮影、黑白フィルムの現像と焼き付け、組版を行った。また、過去の調査のネガの整理、台帳作成のほか、リバーサルフィルムの再収納を実施することによって収納スペースの確保に努めた。なお、これらの作業のうち、過去に国からの補助を受けて発掘調査を行った遺跡の整理の際には、国庫補助を受けて実施したものもある。

遺跡と遺物の写真撮影に関しては、文化庁の基準に従って、原則としてフィルムカメラによることとしているが、教育普及活動の記録写真や試掘調査の工程写真等について、近年は DX フォーマット機ないしコンパクトカメラを用いたデジタル撮影を行っている。平成 25 年度以降、遺跡における遺構の撮影に際しても FX フォーマット機 1 台を導入し、大判・中判のフィルムカメラを補う試みも始めている。なお、所蔵写真の提供依頼に対しては、当財団が松山市から受諾している指定管理業務の一環として対応している。そのほとんどについてデータ化するなどして要望に応じた対応を行っている。

平成 29 年度に写真関係の作業を実施した遺跡や遺物は、以下の刊行物に掲載している。

表 3 遺物写真・現像・整理作業一覧

報告書 No.	報 告 書	所収遺跡数	備 考
—	年報 29	19	平成 29 年度刊行
191	「道後湯之町遺跡 2 次調査」	1	平成 29 年度刊行
192	「船ヶ谷遺跡 5 次調査」	1	平成 29 年度刊行
193	「筋違 M 遺跡・筋違 Q 遺跡」	2	平成 29 年度刊行（国庫補助）

## 2. 保存処理

### 1. 保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（PEG含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

**金属製遺物**：保存処理は基本的に当センターで行うが、特殊な資料やX線撮影は外部委託している。今年度は、外部委託はしていない。

**木製・植物性遺物**：保存処理は当センターで行うが、重要な資料や自然科学分析は外部委託している。今年度は、外部委託はしていない。

**動物遺骸体**：余分な土の除去までは当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定、保存処理は外部委託している。今年度は、東垣生八反地遺跡、久米タンチ山1号墳、古照遺跡、天山2号墳、鶴が峠遺跡、和泉塚、久万ノ台1号墳、南江戸上沖遺跡1・2次調査出土人骨の鑑定、保存処理を特定非営利活動法人・人類学研究機構に委託した。

**追加資料の掲載**：平成29年度に鑑定を行った鶴が峠遺跡出土人骨の鑑定結果を、松山市文化財調査報告書第116・124集の追加資料として本章3に掲載した。

### 2. 保存処理実務

#### (1) 木製品の保存処理

PEG（ポリエチレンゴリコール）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていく最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～15年位を要する。平成29年度は、久米窪田森元遺跡4次調査、釜ノ口遺跡11次調査他出土198点の含浸処理を完了した。また、平成30年度を処理完了予定とし、祝谷大地ヶ田遺跡7次調査、余戸柳井田遺跡6次調査、東垣生八反地遺跡4次調査他出土372点を漬け込み、含浸処理中である。

表1 木製品保存処理遺跡名一覧

遺跡No.	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
330	久米窪田森元遺跡4次調査	98	曲物・杭・木筒他	松山市文化財調査報告書第161集
544	辻町遺跡3次調査	57	曲物・鍾・薪他	松山市文化財調査報告書第190集
545	釜ノ口遺跡11次調査	25	薪・炭化材	松山市文化財調査報告書第174集
	その他	18	曲物・札・扇他	

#### (2) 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壤・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・RPシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。

### (3) 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセット・刷毛などを用いて除去し、骨を取り出し、クリーニングを行っている。

### (4) 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11、保存処理事業I-3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X、保存処理事業I-3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は從来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

### (5) 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

【参考文献】 (1) ~ (5) 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース 16・24・28・31』

### (6) 平成29年度調査出土遺物一覧（保存処理等必要遺物）

表2 平成29年度調査出土金属・木製・動植物遺体一覧

遺跡No.	遺跡名	種類	遺物内容	数量
637	別府遺跡2次調査	木製遺物	杭・木片・薪	9点
		植物遺体	桃核	5点
638	松山城三之丸跡20次調査	金属製造物	三所物・煙管・火箸他	19点
		動物遺骸体	サザエ・足	6点
640	別府遺跡3次調査	金属製造物	刀子・釘	6点
642	祝谷大地ヶ田遺跡8次調査	金属製造物	斧・鎌・刀・轡等	63点
		動物遺骸体	人骨	14点

### 3. 鶴が峠遺跡出土の古墳人骨

松下真実\*・松下孝幸\*\*

#### (1) はじめに

愛媛県松山市石風呂町乙 41-8 外に所在する鶴が峠遺跡の発掘調査が土地区画整備事業に伴って 1980（昭和 55）年から 1981（昭和 56）年にかけて行われた。この発掘調査によって人骨が出土し、松山市埋蔵文化財センターに保管されていた。本遺跡の H 区において、1 号墳から 9 号墳までの 9 基の古墳が検出された。主体部が遺存していたのは 7 号墳、8 号墳、9 号墳の 3 基のみであった。人骨が残存していたのは、3 号墳、7 号墳、9 号墳の 3 基である。3 号墳の墳丘の規模は不明であるが、7 号墳は直径が 20m、9 号墳は直径が 15m の円墳で、ともに主体部が南に開口する横穴式石室である。7 号墳の石室規模は、全長 9.0m、うち玄室長 5.0m、幅 2.2m である。人骨は主に玄室奥の石屋形状屍床区画と玄室西側から検出された。9 号墳の玄室の規模は長さ 6.0m 超、うち玄室長 2.9m、幅 1.5m、玄門幅 1.1m である。人骨は石室主軸に直交する配置で玄室奥と、玄室右袖の西側壁直近、玄室中央溝道付近からそれぞれ耳環を伴って検出された。

愛媛県から出土した古墳人骨のうち筆者らが調査や研究に携わったものは、今治市相の谷古墳群（松下・他、1995）、二の谷 2 号墳（松下、2000）、馬島長山 1 号墳、鳥越 1 号墳、吉谷犬山古墳（松下・他、2013）のほかに松山市の宮前川北斎院遺跡（松下、1998a）、客谷古墳群（松下、2006a）、三味線山古墳（松下・他、2014）、瀬戸風呂遺跡、東山鷺が森古墳、久万ノ台 1 号墳、古照遺跡、久米タンチ山 1 号墳、天山 2 号墳、伊予市の猪の塗古墳（松下、2006b）から出土した人骨があるが、報告例は少なく、愛媛県の古墳人の全体像を把握するまでには至っていないのが現状である。

人骨の保存状態はかなり悪いが、出土人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察や計測を行ったので、その結果を報告しておきたい。

#### (2) 資 料

本遺跡から出土した人骨は、考古学的所見から古墳時代に属する人骨である。3 号墳から出土した人骨は 1 体分である。7 号墳の被葬者の数については、報告書では耳環のセット関係から 3～5 体が埋葬されたと推測されているが、人骨の遺存状態が著しく悪く、保管されていた人骨からは個体数を推測することはできなかった。残存していたのは保存不良の四肢骨と遊離歯冠 1 点のみだったので、少なくとも成人骨が 1 体は存在する。9 号墳では 4 体分の遊離歯を確認することができたので、個体数は 4 体である。その他に出土地点が不明な遊離歯が 2 体分残存していた。今回、保管されていた人骨と歯から推測した個体数は、3 号墳からは 1 体、7 号墳からは 1 体、9 号墳からは 4 体で、それに出土地点不明の 2 体を加えて、総数は 8 体ということになる。表 1 では確認できた体数のみを表記した。8 体のうち、6 体は成人骨で、残り 2 体は幼児骨（歯）である。表 2 に各古墳から出土した人骨の性別、年齢などを記載した。また、表 3 に年齢区分を示した。

計測方法は、Martin-Saller（1957）によった。



図1 遺跡の位置図  
(Fig.1 Location of the Tsurugatouge site, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成 人			幼 小 児	合 計
	男 性	女 性	不 明		
3号墳	0	0	1	0	1
7号墳	0	0	1	0	1
9号墳	1	0	2	1	4
出土地点不明	1	0	0	1	2
合 計	2	0	4	2	8

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	頭位	備考
<3号墳> (1体)				
1号人骨	不明	不明		骨片
<7号墳> (耳環の数から3体)				
歯1	不明	不明		
<9号墳> (4体)				
歯1	不明	不明	南西	歯のみ
歯2	不明	不明	南西	歯のみ
歯3	不明	不明	北東	歯のみ
歯4	不明	幼児(4歳前後)		歯のみ
F E - 1	男性	不明		大腿骨
<出土地点不明> (2体)				
歯1	男性	不明		歯のみ
歯2	不明	小児(6歳前後)		歯のみ

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年 齡
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳(第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳(第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年 <sup>註</sup>	16歳～20歳(蝶形頸軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳(40歳未満)
	熟年	40歳～59歳(60歳未満)
	老年	60歳以上

註) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。

## (3) 所見

各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

## I. 人骨の検出状況

## 3号墳（1体）

骨片が1点残存していたにすぎない。出土地点は不明である。3号墳からは須恵器が出土している。

## 7号墳（1体）

石室内は半壊状態であった。玄室床面は搅乱され、玄室奥の天井石は抜かれていた。人骨や副葬品は、原位置を保っていない状態で出土したようである。筆者らは現場で実見していないが、報告書によると出土している耳環のセット関係から3～5体の被葬者が葬られていたと推測されている。頭位は不明である。7号墳からは耳環のはかにガラス小玉18点、管玉、水晶玉、勾玉、土玉、直刀、刀子、鉄斧、須恵器などが出土している。

## 9号墳（4体）

9号墳の石室も半壊状態で、玄室床面は搅乱されていた。出土した耳環のセット関係から被葬者は3体であったと推定されている。耳環の出土位置から頭位は、2体は南西、1体は北東であると推定されている。9号墳には骨片と歯が残存していた。骨からは個体数は確認できなかったが、残存歯から4体の被葬者が埋葬されていたと思われる。9号墳からは耳環6点のはかにガラス小玉、管玉、棗玉、刀子、鉄斧、石製品、須恵器などが出土している。下記の所見から被葬者は大人3体、幼児1体と思われることから、耳環は成人被葬者が着装していたようである。

## 出土地点不明人骨（歯）

2体分の遊離歯が残存していた。出土地点は不明である。

## II. 人骨の形質

## 3号墳

## 1号人骨（性別・年齢不明）

骨片が1片残存していた。おそらく寛骨の一部（腸骨翼）と思われる。性別、年齢は不明である。

## 7号墳

人骨は石に張り付いた状態で残っており、石ごと人骨が取り上げられていた。確認ができたのは歯と四肢骨であったが、人骨の遺存状態はきわめて悪く、骨種を正確には同定することができないが、大きさから大腿骨などの下肢骨と思われる。残存している人骨からは、被葬者の体数を確認することはできなかった。遊離歯が1点残存していた。

## 歯1（性別・年齢不明）

遊離歯が1点残存していた。下記の歯式のとおり、上顎右側の第三大臼歯の歯冠である。

8 / / / / / / /   / / / / / / /	[ / : 不明（破損） ]
/ / / / / / /   / / / / / / /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）である。性別、年齢は不明である。

**9号填**

4 体分の遊離歯と大腿骨が残存していた。

**歯 1 (性別・年齢不明)**

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

5     2	1 / / / / / / /	[ / : 不明 (破損) ]
8 7 6 5 4 3	1 2 3 4 5 6 7 8	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）～2 度（咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ）である。  
性別、年齢は不明である。**歯 2 (性別・年齢不明)**

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

/ / / / / / /	/ / / / / / /	[ / : 不明 (破損) ]
5 / 3 / / / / /	/ / / / / / / / /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）～2 度（咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ）である。  
性別、年齢は不明である。**歯 3 (性別・年齢不明)**

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

8 / / / / / / /	/ / / / / / / /	[ / : 不明 (破損) ]
/ / / / / / /	/ / / / / / / / /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）である。

性別、年齢は不明である。

**歯 4 (幼児・4歳前後)**

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

/ / / / / / /	2 / / / / /	[ / : 不明 (破損) ]
/ / / / / / /	/ / / / / / / / /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗は認められない。

歯冠および歯根の形成程度と、歯冠には咬耗が認められることから、年齢を 4 歳前後と推定した。

**FE-1 (男性・年齢不明) (大腿骨)**

左側の大腿骨体が残存していた。保存状態は比較的良好であるが、骨体は土圧により前後方向にやや変形している可能性がある。骨体は太いが、粗線の発達は悪い。

計測値は、骨体中央周が 91mm (左)、骨体中央矢状径は 22mm (左)、中央横径が 33mm (左) で、骨体中央断面示数は 66.67 (左) となり、骨体両側面の後方への発達も粗線の発達とともに悪いが、土圧により前後方向に少し潰れている可能性がある。本来は前後方向の扁平程度はこの示数值よりは弱かったものと思われる。

性別は、大腿骨体がかなり大きいことから男性と推定した。年齢は不明である。

**出土地点不明遊離歯****歯1 (男性・年齢不明)**

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

4 / / 1	4 5 / 7 /	[ / : 不明 (破損) ]
/ / / / /	5 6 / /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 2 度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) ~ 3 度 (咬耗が象牙質まで及ぶ) である。

性別は、歯冠がやや大きいことから男性と推定した。年齢は不明である。

**歯2 (小児・6歳前後)**

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

/ / / /	6 7 /	[ / : 不明 (破損) ]
/ / / /	6 7 /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) である。

年齢は、歯根の形成程度と歯冠に咬耗が認められることから 6 歳前後と推定した。性別は不明である。

**(4) 考 察**

本古墳から出土した人骨のうち計測ができたのは大腿骨のみである。この大腿骨を愛媛県と香川県の古墳人と比較し、本大腿骨の特徴を考察してみた。

**1. 大腿骨**

表4は大腿骨の比較表である。骨体中央周は 91mm (左) で、三味線山と同値で、猪の窪 A (92mm) に次いで大きく、大腿骨はかなり大きいことがわかる。今治市の二の谷2号墳と伊予市の猪の窪 B は骨体がかなり小さい。この差は被葬者の社会的地位と生活様式の違いを反映している可能性がある。骨体中央断面示数は 66.67 (左) で、表4では最小値となり、粗線や骨体両側面の後方への発達はきわめて悪いが、土圧により前後方向に圧平している影響で示数值がかなり小さくなってしまった可能性がある。

### (5) 要 約

愛媛県松山市石風呂町乙 41-8 外に所在する鶴が岬遺跡の発掘調査が土地区画整備事業に伴って 1980（昭和 55）年から 1981（昭和 56）年にかけて行われ、3 基の古墳から人骨と歯が検出された。人骨の遺存状態は著しく悪かったが、人類学的観察や計測を行い、以下の結果を得た。

1. 3 号墳から検出されたのは 1 体分の人骨である。9 号墳からは 4 体分の人骨（歯）が検出され、その他に出土地点のわからない遊離歯が 2 体分保管されていた。7 号墳出土人骨は遺存状態が著しく悪く、個体数を確定できないが、少なくとも成人骨 1 体分は存在する。従って今回確認できた体数は合計 8 体である。8 体の被葬者のうち 6 体は成人（歯）で、残り 2 体は幼児（歯）である。なお、7 号墳では耳環のセット関係から 3 ～ 5 体が埋葬されたと推測されている。
2. この人骨は、考古学的所見から、古墳時代に属する人骨である。
3. 3 号墳から検出されたのは性別・年齢不明の成人の腸骨の一部のみである。7 号墳には四肢骨と遊離歯が残存していたが、遺存状態が悪く、個体数を推測できない。9 号墳では遊離歯冠が 4 体分と男性大腿骨が 1 本残存していた。遊離歯冠 4 体分のうち 1 体は幼児である。
4. 9 号墳出土人骨の頭位は、耳環と歯の出土位置から 2 体が南西、1 体が北東と推定されている。
5. 9 号墳から出土した大腿骨（FE-1）は、骨体中央周が 91mm（左）で、骨体はかなり太い。骨体中央断面示数は 66.67（左）となり、粗線の発達は悪く、骨体両側面の後方への発達も悪いが、骨体は土圧により前後方向に圧平されているようである。この変形を考慮しても骨体両側面の後方への発達はよくなかったと思われる。この特徴からこの男性被葬者の生活様式は、下肢筋をよく使う生活様式ではなかったと思われる。大腿骨が太いことの要因としては遺伝的要因と栄養状態が良好だったことが考えられるが、所属時期や古墳の規模などを含め、他の古墳人骨と検討し、今後考察を深める必要がある。

## 【参考文献】

- Martin-Saller, 1957 : Lehrbuch der Anthropologie, Bd.1.Gustav Fisher Verlag, Stuttgart : 429-597.
- 松下真実・他、2013：愛媛県今治市古谷犬山古墳出土の古墳人骨。古谷犬山古墳（埋蔵文化財発掘調査報告書第175集）：26-31。
- 松下真実・他、2014：愛媛県松山市三味線山古墳出土人骨。三味線山古墳・船ヶ谷向山古墳（松山市文化財調査報告書第168集）：80-91。
- 松下真実・他、愛媛県松山市瀬戸風嶺出土の古墳人骨（投稿中）
- 松下真実・他、愛媛県松山市東山鷺が森古墳群1次調査出土の古墳・近世人骨（投稿中）
- 松下真実・他、愛媛県松山市東山鷺が森古墳群2次調査出土の古墳・近世人骨（投稿中）
- 松下真実・他、愛媛県松山市古照遺跡出土の古墳人骨（投稿中）
- 松下孝幸・他、1995：愛媛県今治市相の谷古墳群出土の古墳時代人骨。相の谷古墳群杉谷支群埋蔵文化財発掘調査報告書（埋蔵文化財発掘調査報告書第57集）：41-54。
- 松下孝幸、1998a：愛媛県松山市宮前川北斎院遺跡出土の古墳時代人骨。斎院・古照・新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書（遺物編）：525-531。
- 松下孝幸、1998b：愛媛県伊予市原池遺跡出土の人骨。四国縱貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書XII伊予市編：175-180。
- 松下孝幸、2000：愛媛県今治市二の谷2号墳出土の古墳時代人骨。且遺跡・宮之前遺跡・長沢石打遺跡・長沢1号墳・長沢6号墳・二の谷2号墳・鉢又古墳群・郷桜井西塚古墳（一般国道196号今治バイパス埋蔵文化財調査報告書IV）（埋蔵文化財発掘調査報告書第87集）：232-249。
- 松下孝幸、2001：香川県坂出市鶴ヶ峯古墳出土の人骨。坂出市内遺跡発掘調査報告書（平成12年度国庫補助事業報告書 鶴ヶ峰古墳・讃岐國府跡（開法寺遺跡）・讃岐國府跡）：27-48。
- 松下孝幸、2006a：松山市客谷古墳群出土の古墳人骨。大峰ヶ台遺跡III（松山市文化財調査報告110）：143-150。
- 松下孝幸、2006b：香川県普通寺市樽池西手山頂墳3号出土の古墳人骨。普通寺市内発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書II：64-71。
- 松下孝幸、2006c：猪の窟古墳人骨。伊予市の歴史文化、第54号：18-27。（伊豫市歴史文化の会編集発行）
- 松下孝幸・他、愛媛県今治市鳥越1号墳出土の古墳人骨（投稿中）
- 松下孝幸・他、愛媛県今治市馬島長山1号墳出土の古墳人骨（投稿中）
- 松山市教育委員会、2008：鶴が岬遺跡II調査報告書（松山市文化財調査報告書124）

\* Masami MATSUSHITA、\*\* Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [特定非営利活動法人・人類学研究機構]

表4 大腿骨計測値(男性、右・左) (Table 4. Comparison of measurements and indices of male right femora)

	鶴が峰 古墳人 愛媛県 松山市	三味線山 古墳人 愛媛県 松山市	二の谷 古墳人 愛媛県 今治市	猪の塗 古墳人 愛媛県 伊予市	鶴ヶ峯 古墳人 香川県 坂出市	梅池西手3号 古墳人 香川県 善通寺市
	(松下・他)	(松下)	(松下)	(松下)	(松下)	(松下)
	FE-1	1号墳1号	2号墳	A	B	FE-1
6. 骨体中央矢状径	22	(左)	31	23	30	27
7. 骨体中央横径	33	(左)	27	29	24	26 (左)
8. 骨体中央周	91	(左)	91	81	92	80 (左)
6/7 骨体中央断面示数	66.67	(左)	114.81	85.19	103.45	112.50 (左)
6/7 骨体中央断面示数	66.67	(左)	114.81	85.19	103.45	112.50 (左)
					111.54	111.54 (左)
						89.66 (左)

表5 大腿骨(男性、mm)(Femur)

	鶴が峰 FE-1 男性
1. 最大長(右)	-
2. 自然位全長(右)	-
3. 最大転子長(右)	-
4. 自然位転子長(右)	-
6. 骨体中央矢状径(右)	-
7. 骨体中央横径(右)	-
8. 骨体中央周(右)	91 (左)
9. 骨体上横径(右)	33 (左)
10. 骨体上矢状径(右)	22 (左)
15. 頸垂直徑(右)	-
16. 頸矢状径(右)	-
17. 頸周(右)	-
18. 頸垂直徑(右)	-
19. 頸横径(右)	-
20. 頸周(右)	-
21. 上顎幅(右)	-
8/2 長厚示数(右)	-
6/7 骨体中央断面示数(右)	-
10/9 上骨体断面示数(右)	66.67 (左)

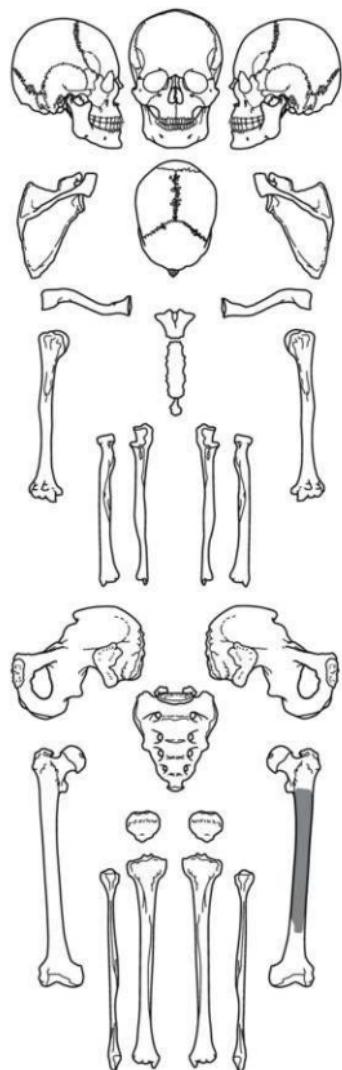


図2 人骨の残存図（アミかけ部分）  
鶴が峠9号墳FE-1（男性・年齢不明）  
(Fig.2 Regions of Preservation of the skeleton.  
Shaded areas are preserved.)



写真1 左大腿骨（The left femur）  
鶴が峠9号墳FE-1（男性・年齢不明）  
(The femur[FE-1] from the Tsurugatouge tumulus 9,  
male unknown age)

IV 平成 29 年度  
普 及 啓 発 事 業

## 平成 29 年度 普及啓発事業

当センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会・講演会・体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護の普及啓発に努めている。平成 29 年度は下記の各種事業を実施した。

- |         |             |               |
|---------|-------------|---------------|
| 1. 展示活動 | 2. 教育普及活動   | 3. 収集・保管・育成活動 |
| 4. 出版活動 | 5. 資料の貸出・調査 |               |

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

### 1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地點としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 500 点である。

常設展示室に隣接した特別展示室では、4 回の展示会・特別展を開催した。加えて、ロビー等でスポット展示を開催した。

なお、考古館は平成 29 年 11 月 14 日に文化庁から愛媛県内では愛媛県美術館に次いで 2 館目となる「公開承認施設」の認定を受けた。これからは全国的に重要な考古資料を展示・保管する施設として、これまで以上に、より多く、市民の方へ貴重な資料を見学する機会を提供し、古代史研究や地域学習のための拠点博物館としての役割を担っていくこととなる。

#### (1) 四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国のハニワ」(表 1-1、写真 1・2)

この展示会は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で開催する巡回展で、平成 27 年度から 4 か年計画で実施しているもので、平成 29 年度は 3 年目にあたる。参加の 5 団体が発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただこうというものである。今年度は「四国のハニワ」をテーマに展示了した。展示会・講演会等の参加者は延べ 4,666 人であった。

#### (2) 愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」

##### 展示会「掘ったぞな松山 2017」・「いにしへのえひめ」(表 1-2、写真 3)

この展示会は、前年度（平成 28 年度）松山市内で発掘調査した遺跡やその出土品、作成した報告書の成果をいち早く市民に紹介することを通じて、松山の古代史や埋蔵文化財への興味・関心を深める機会の提供を目的に、公益財團法人愛媛県埋蔵文化財センターと当センターが連携して開催したものである。

松山市内の発掘調査成果の展示会「掘ったぞな松山2017」と、愛媛県内の発掘調査成果の展示会「いにしへのえひめ」を開催した。それぞれ展示会では、約50点の出土品を展示し、期間中には発掘調査の詳しい説明をする報告会を計5回実施し、専門研究者による講演会は計2回実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ6,175人であった。

(3) 公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2～ふんどう君となかまたち～」(表1-3、写真5・6・7・8)

特別展は、考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するものである。今年度は公開承認施設認定記念事業として、松山を代表する遺物である分銅形土製品に表現された「かお」をテーマに「こだいのかお2～ふんどう君となかまたち～」を実施した。展示会では、東京国立博物館所蔵の遮光器土偶や和歌山県大日山35号墳出土の人物埴輪（重要文化財）、愛知県亀塚遺跡出土の人面文土器（重要文化財）など50点を展示した。会期中には、展示解説会2回・講演会2回・体験イベント1回・ギャラリートーク4回を実施し、参加者は延べ3,251人であった。

(4) 「地域のたから再発見・古代史セミナー」(表1-8)

本事業は、地域の宝である遺跡や発掘出土品を知ることで、「誇れる」地域の歴史や文化を伝え・育むことを目的とし、地域の活性化に寄与するために、公民館等でその地域からの出土品の展示と対話型の勉強会を5か年計画で実施しているものである。今年度は4年目にあたり、星岡公民館・素鷺公民館では展示会と解説会（懇談会）をし、味生公民館と味生小学校との連携事業では地域の旧庄屋秀野家を見学、中島地区では文化祭にて展示・体験教室を実施した。参加者は延べ484人であった。

(5) 松山市考古館ロビー展（表1-4～7・写真9）

来館者に対して、より多くの情報を提供する目的から、考古館のロビー等で「考古館・楽しかった2016展」（1回）、「発掘情報展」（6回）、「大連古代蓮展」（1回）を開催した。

## 2. 教育普及活動

教育普及活動としては、市民を対象に埋蔵文化財保護の普及啓発を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催し、職員の資質・技術向上を目的とした研修等も実施した。

(1) 講演会・展示解説会・考古学講座・演奏会（表2、写真11・19・20）

展示会に関連した展示解説会・報告会・講演会や筝コンサートを計68回開催し、延べ2,346人の参加者があった。

(2) わかりやすい考古学講座（表2-4、写真10）

当講座は、考古学や松山の歴史に興味と関心をもっていただくことを目的に、「地域のたから再発見・古代史セミナー」事業と連携し実施している。今年度は、西部地区を対象地域とし、地域内の主要な遺跡をテーマに掲げ、当センター職員・市教育委員会職員・愛媛県埋蔵文化財センター職員がスライドや实物で詳しく解説した。講座は6月以降、各月ごとに計10回実施し、延べ522人の参加があった。

(3) はじめての考古学教室（表2-5、写真11）

今年度から始めた当教室は、主に主婦や高齢者層に松山の歴史に興味と関心をもって頂くことを目的に、平日に1回90分、5週連続で年2回実施した。講師は職員が務め、スライドや出土品などを用いて考古学や発掘調査等の基礎的な用語を解説した。教室は9～10月と1～2月に計10回実施し、延べ198人の参加があった。

**(4) 古代体験教室（表3、写真12～18）**

古代のもの作りを体験することで、古代人の苦労や知恵を学ぶことを目的とし、「石勾玉を作ろう」、「ガラス勾玉を作ろう」、「再生琥珀勾玉を作ろう」、「キャンドルづくり」、「古代の技術を学ぼう～合金編～」、「古代の技術を学ぼう～石こう編～」、「ふんどう君ベンダント作り」、「染物体験」、「発掘体験」、「ねんどで土器づくり」、「火おこし体験」の教室を実施し、計6,573人の参加があった。中でも8月11日（まつやまこども週間中）には、複数の体験ができる「古代体験まつり」を開催し、延べ942人の参加があった。

**(5) 遺跡見学会（表4、写真4・21）**

県市連携事業で歴史バスツアー3回と親子考古学講座1回、分かりやすい考古学講座を2回開催し、延べ190人の参加があった。

**(6) 体験学習（団体来館）（表5）**

74件、延べ3,284人の来館があり、常設展示・収蔵庫・復元室等の施設見学を行うとともに、火おこし体験や古代衣装の着付け体験を通じて、より身近に感じながら歴史を学習した。

**(7) 発掘調査現地説明会（表6、写真22）**

遺跡の発掘現場見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持つてもらうために開催するものである。道後今市遺跡16・17次調査と松山城三之丸跡20次調査の計2か所で現地説明会を実施し、延べ363人の参加者があった。

**(8) 職場体験（表7）**

中学校・高等学校・大学等で教育の一環として実施されている「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。中学校5校（延べ8日）、計18人の生徒を受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査や出土品整理の業務を学び、考古館の普及啓発業務等を体験した。

**(9) 出前考古学教室（表8）**

「総合的な学習の時間」「選択教科社会科の授業」「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校や公民館に赴き、出前考古学教室を実施している（44団体77件8,008人）。また、館外での主催事業も8件で891人の参加者があった。今年度の館外事業と出前教室は計85回実施し、参加者数は8,899人であった。

**(10) 職員研修・会議（表9）**

文化庁主催の「公開承認施設担当者会議」をはじめとして、愛媛県博物館協会等の研修会や会議に参加するとともに、専門研究者を招聘して指導・分析に伴い講義等の所内研修を実施し、職員の資質ならびに技術の向上と業務の円滑な推進を図っている。また、公益財團法人愛媛県埋蔵文化財センターとの合同研修会を実施した。職員研修等は10回、参加者数は64人であった。

**3. 収集・保管・育成活動****(1) 大連古代蓮の育成（表1－6、写真24）**

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を譲り受け、育成している。これは、平成8年1月に中国大連市の観光訪問団から寄贈された、大連市の遺跡から出土した千年前の蓮の種子である。当年度は147輪開花した。

## (2) 古代米の育成（表1-7、写真23）

考古館の玄関前で赤米を育成した。

## 4. 出版活動（表10・11）

考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会4件でポスター・チラシ、展示会の解説書パンフレット2冊を作成した。また、発掘調査の成果を公開する松山市埋蔵文化財調査年報1冊と発掘調査報告書3冊を刊行した。

## 5. 資料の貸出・調査（表12・13）

各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出24件と調査15件の利用があった。

## 6. 考古館月別入館者数調（表14）

表1 展示会一覧

No.	展示会名	期間	会場	観客動員数
1	第3回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国のハニワ」	平成29年4月29日(土)～7月9日(日)	特別展示室	4,666
2	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」	①「掘ったぞな松山2017」(前期開) 平成29年7月15日(土)～9月3日(日)	特別展示室 ロビー	3,012
		②「掘ったぞな松山2017」(後期開) 平成29年9月8日(金)～11月12日(日)		1,837 6,175
		③「いにしへへのえひめ」 平成29年11月17日(金)～平成30年1月14日(日)		1,326
3	公開承認施設認定記念特別展「こだいいわお2～ふんどう君となかまたち～」	平成30年2月3日(土)～3月21日(水)	特別展示室 常設展示室一部	3,251
4	「考古館・楽しかった2016展」	平成29年4月1日(土)～4月23日(日)	特別展示室	880
5 ロビー展	「発掘情報展」	① 祝谷大地・田道跡6次調査 平成29年4月14日(金)～9月3日(日)	ロビー	8,267
		② 西石井道路7次調査 平成29年9月5日(火)～11月14日(火)		1,866
		③ 祝谷9号墳 平成29年11月15日(水)～12月9日(土)		775 15,123
		④ 通後今市道跡16・17次調査 平成29年12月10日(日)～平成30年1月28日(日)		771
		⑤ 松山城三之丸跡20次調査 平成30年1月30日(火)～3月23日(金)		2,875
		⑥ 文字に見る古代の松山 平成30年3月24日(土)～3月31日(土)		569
6	「大過古代遺の育成と展示会」	① 育成：平成29年4月1日(土)～平成30年3月31日(土) ② 展示会：平成29年6月7日(水)～平成30年3月31日(土)	考古館玄関前 ロビー	— 12,318
7	「古代米の育成」	平成29年5月17日(水)～平成29年10月18日(水)	考古館玄関前	—
8	「地域のながら再発見」	①「星岡・古代史セミナー」 11月19日(日)	星岡公民館 (松山幼稚園)	132
		②「素麿・古代史セミナー」 平成30年2月14日(水)	素麿公民館	72 484
		③「味生・古代史セミナー」 2月20日(火)	味生公民館 味生小学校3年生	146
		④「中島地区・古代史セミナー」 3月4日(日)	中島地区文化館	134
			合計	42,897

普及啓発事業

表2 教育普及活動一覧 (考古学講座・講演会等)

No.	事業名	日 時	会 場	講師・報告者 (敬称略)	聴講者数 (人)
1	第3回西園地区埋蔵文化財センター発掘へんう展「西園のハニワ」	解説会 平成29年 4月29日 (土)	講堂 展示室	松山市考古館 吉岡和哉	32
		講演会 5月12日 (土)		松山市教育委員会 山内実樹	51
		講演会 6月17日 (土)		愛媛県歴史文化博物館 萩原尚夫	72
		① ギャラリートーク 5月21日 (日)		① 7人 ② 10人	17 240
		② ギャラリートーク 6月 4日 (日)		③ 9人 ④ 9人	18
		③ ギャラリートーク 6月25日 (日)		⑤ 18人 ⑥ 8人	26
		④ ギャラリートーク 7月 9日 (日)		⑦ 10人 ⑧ 14人	24
		⑤ ギャラリートーク 7月16日 (土)		三好裕之	37
		⑥ レポート会 8月19日 (土)		高セントラル 高橋和長、河野史知、水谷完記	37
		⑦ レポート会 9月 9日 (土)		高セントラル 山本健一・小笠原勝治、作田一耕	48
		講演会 10月14日 (土)		徳島文理大学文学部 大久保徹也	73
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代×よ狭姫まつり」「懶たがな松山2017」	① 報告会 7月15日 (土)	講堂 講堂	愛媛県埋蔵文化財センター 岡田敏彦	12 360
		② 報告会 8月19日 (土)		高セントラル 氏家敏之	43
		③ 報告会 9月 9日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター 沖野 実	42
		講演会 10月14日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター 石野亞希	54
		④ 稽古有古字講座 11月26日 (日) 大庭古墳		① 3人 ② 4人	7
		講演会 12月16日 (土)		③ 5人 ④ 2人	7
		⑤ 報告会 11月18日 (土)		松山市考古館 吉岡和哉	27
		⑥ 報告会 平成30年 1月13日 (土)		松山市考古館 吉岡和哉	6
		⑦ ギャラリートーク 平成29年11月25日 (土)		京都国立博物館 古谷 誠	60
		⑧ ギャラリートーク 12月10日 (日)		文化庁 原田昌幸	172
3	公開承認施設認定記念特別展 「こだいのかお2 ～ふんどう君となかまたら～」	⑨ 展示解説会 平成30年 2月 4日 (日)	講堂 講堂	① 2人 ② 7人	9
		⑩ 展示解説会 2月 9日 (金)		③ 4人 ④ 6人	10
		⑪ 講演会 2月18日 (日)		⑤ 2人 ⑥ 7人	5
		⑫ 講演会 3月18日 (日)		⑧ ギャラリートーク 2月25日 (日)	10
		⑬ ギャラリートーク 3月 4日 (日)		⑨ ギャラリートーク 3月11日 (土)	10
		⑭ ギャラリートーク 3月18日 (土)		見学会1 松山市考古館 鳥居正彦	27
		⑮ ギャラリートーク 4月 1日 (日)		高セントラル 山本謙一・相原清二・小笠原勝治	71
		⑯ ギャラリートーク 4月 7日 (土)		松山市教育委員会 鶴木翠華	62
		⑰ ギャラリートーク 8月 5日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター 同上	52
		⑱ ギャラリートーク 9月 2日 (土)		高セントラル 作田一耕	59
4	わかりやすい考古学講座 「発掘 松山の道跡Ⅱ」	⑲ ギャラリートーク 10月21日 (土)	見学会1 講堂	松山市考古館 鳥居正彦	322
		⑳ ギャラリートーク 11月 4日 (土)		高セントラル 鶴木翠華	60
		㉑ ギャラリートーク 12月 2日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター 三好裕之	58
		㉒ 平成30年 1月28日 (日)		高セントラル 沖野 実	32
		㉓ ギャラリートーク 2月10日 (土)		高セントラル 水谷完記	41
		㉔ ギャラリートーク 3月 3日 (土)		高セントラル 両井史知	60
		㉕ 平成29年 6月 3日 (土)		高セントラル 山本謙一・相原清二・小笠原勝治	71
		㉖ 7月 1日 (土)		松山市考古館 鶴木翠華	62
		㉗ 8月 5日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター 同上	52
		㉘ 9月 2日 (土)		高セントラル 作田一耕	59
5	はじめての考古学教室 「松山の歴史を学ぼう」	㉙ ギャラリートーク 10月21日 (土)	見学会2 講堂	松山市考古館 鳥居正彦	18
		㉚ ギャラリートーク 11月 4日 (土)		高セントラル 鶴木翠華	20
		㉛ ギャラリートーク 12月 2日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター 三好裕之	58
		㉜ 平成30年 1月28日 (日)		高セントラル 沖野 実	32
		㉝ ギャラリートーク 2月10日 (土)		高セントラル 水谷完記	41
		㉞ ギャラリートーク 3月 3日 (土)		高セントラル 両井史知	60
		㉟ 平成29年 9月 13日 (水)		松山市考古館 鹿木一郎	18
		㉟ 平成29年 9月 20日 (水)		高セントラル 鶴木翠華	20
		㉟ 平成29年 9月 27日 (水)		高セントラル 鶴木翠華	20
		㉟ 平成29年 10月 4日 (水)		松山市考古館 鹿木一郎	17
6	ロビー コンサート 事コンサート	㉟ 平成29年 10月11日 (水)	エントランス	高セントラル 鶴木翠華	18
		㉟ 平成30年 1月17日 (水)		加島次郎	21
		㉟ 1月24日 (水)		加島次郎	21
		㉟ 1月31日 (水)		松山市考古館 小笠原勝治	22
		㉟ 2月 7日 (水)		高セントラル 山本謙一・河野史知	21
		㉟ 2月14日 (水)		松山市教育委員会 西村直人	20
		㉟ 第115回 平成29年 4月29日 (土)		内島善子他 (正派邦楽会 御範)	32
		㉟ 第116回 5月20日 (日)		内島善子他 (正派邦楽会 御範)	12
		㉟ 第117回 6月25日 (日)		高田平吉 (大洲市立久多小学校6年生)ほか3名	40
		㉟ 第118回 7月 9日 (日)		津澤卯郎 (正派邦楽会 準御範)	23
7	「地域のたから再発見」 「古代史セミナー」	㉟ 第119回 8月19日 (土)		内島善子他 (正派邦楽会 御範)	20
		㉟ 第120回 9月 9日 (土)		内島善子他 (正派邦楽会 準御範)	30
		㉟ 第121回 10月21日 (土)		内島善子他 (正派邦楽会 準御範)	35
		㉟ 第122回 11月18日 (土)		大野寅乃 (東温市立西谷小学校6年生)	16
		㉟ 第123回 12月16日 (土)		伴善栄 (正派邦楽会 御範)	15
		㉟ 第124回 平成30年 1月13日 (土)		鈴木哲歩 (祇園町立祇園中学校2年生)	12
		㉟ 第125回 2月25日 (日)		内島善子他 (正派邦楽会 準御範)	26
		㉟ 第126回 3月 3日 (土)		内島善子他 (正派邦楽会 御範)	22
		㉟ フィルクローレコンサート 平成29年12月 21日 (土)		アントニオ・カマカ	107
		㉟ 11月19日 (日)		地元の遺物展示	132
7	「古代史セミナー」	㉟ 平成30年 2月14日 (水)	星羅公民館 林木公民館 秀野家の見学案内 中島地区	星羅公民館 林木公民館 秀野家の見学案内 展示・火おこし・脚致・キャンディ・ベンダント・石碑	72 484
		㉟ 2月20日 (火)		3年生	146
		㉟ 3月 4日 (日)		合計 60回	2346

普及啓発事業

表3 教育普及活動一覧(古代体験教室)(1)

No.	事業名	日 時	会場 / 団体名	参加者数 (人)
1 石切玉を作ろう	米船	① 平成 29 年 4 月 29 日 (土) 9:30 ~ 16:00		15
		② 4 月 30 日 (日) 9:30 ~ 16:00		2
		③ 5 月 2 日 (火) 9:30 ~ 16:00		1
		④ 5 月 3 日 (水) 9:30 ~ 16:00		25
		⑤ 5 月 4 日 (木) 9:30 ~ 16:00		30
		⑥ 5 月 5 日 (金) 9:30 ~ 16:00	考古館 講堂	18
		⑦ 5 月 6 日 (土) 9:30 ~ 16:00		32
		⑧ 5 月 7 日 (日) 9:30 ~ 16:00		29
		⑨ 6 月 17 日 (土) 9:30 ~ 16:00		18
		⑩ 6 月 18 日 (日) 9:30 ~ 16:00		43
		⑪ 8 月 9 日 (木) 9:30 ~ 12:00	考古館 洗浄室	2
		⑫ 8 月 11 日 (土) 10:00 ~ 16:00	古代体験まつり	204
		⑬ 8 月 20 日 (日) 9:30 ~ 16:00	考古館 講堂	13
		⑭ 9 月 12 日 (火) 9:30 ~ 15:30	新田青雲中等教育学校	63
		⑮ 10 月 11 日 (水) 9:30 ~ 12:00	久方原居町立久方小学校	21
		⑯ 11 月 4 日 (土) 9:30 ~ 16:00	考古館 講堂	16
		⑰ 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:00	公開承認施設認定記念古代体験教室	23
		⑱ 2 月 25 日 (日) 15:00 ~ 16:00	考古館 復元室	5
		⑲ 3 月 8 日 (木) 13:00 ~ 15:00	松山市立屋敷小学校	59
	出前	① 平成 29 年 5 月 30 日 (火) 8:50 ~ 10:40	新田高等学校	38
		② 6 月 15 日 (木) 15:05 ~ 15:50	松山市立みどり小学校	16
		③ 7 月 22 日 (土) 15:00 ~ 17:00	みどり小学校ねむじの会	65
		④ 7 月 25 日 (火) 13:30 ~ 15:00	たちはな児童クラブ	42
		⑤ 7 月 26 日 (水) 13:30 ~ 15:00	石井東児童クラブ	7
		⑥ 8 月 3 日 (木) 13:00 ~ 15:00	北大糸児童クラブ	28
		⑦ 8 月 22 日 (火) 13:30 ~ 15:00	浮穴児童クラブ第 1	36
		⑧ 8 月 23 日 (水) 13:30 ~ 15:00	株生第一児童クラブ	65
		⑨ 11 月 3 日 (金) 8:20 ~ 10:40	東横市立垂松中学校	23
		⑩ 11 月 3 日 (金) 8:35 ~ 11:00	松山市立谷中学校	21
		⑪ 11 月 3 日 (金) 9:00 ~ 11:20	松山市立城西中学校	26
		⑫ 11 月 3 日 (金) 12:30 ~ 14:30	松山市立勝中学校	34
		⑬ 11 月 20 日 (月) 15:10 ~ 15:30	松山市立豆若小学校	12
		⑭ 平成 30 年 3 月 4 日 (日) 11:00 ~ 14:30	地域のたから再発見「古代史セミナー」 中島地区文化祭	11
2 ガラス切玉を作ろう	米船	① 平成 29 年 8 月 9 日 (水) 9:30 ~ 12:00		20
		② 8 月 9 日 (水) 13:30 ~ 16:00		13
		③ 8 月 18 日 (金) 9:30 ~ 12:00	考古館 講堂	21
		④ 8 月 18 日 (金) 13:30 ~ 16:00		14
		⑤ 8 月 31 日 (木) 13:00 ~ 15:00	放課後等デイサービスひらく	3
3 再生焼鉢を作ろう	米船	① 7 月 1 日 (土) 9:30 ~ 16:00	考古館 講堂	13
		② 12 月 16 日 (土) 9:30 ~ 16:00		7
		③ 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:00	公開承認施設認定記念古代体験教室	14
4 キャンドルづくり	米船	平成 29 年 8 月 11 日 (金) 10:00 ~ 16:00	古代体験まつり	30
		平成 30 年 3 月 4 日 (日) 11:00 ~ 14:30	地域のたから再発見「古代史セミナー」 中島地区文化祭	23
5 古代の技術を学ぼう ~合全編~	米船	① 平成 29 年 8 月 11 日 (金) 10:00 ~ 16:00	古代体験まつり	76
		② 12 月 21 日 (木) 13:00 ~ 14:00	放課後等デイサービスひらく	2
		③ 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:00	公開承認施設認定記念古代体験教室	34
		④ 平成 29 年 7 月 25 日 (火) 13:30 ~ 15:00	たちはな児童クラブ	28
	出前	⑤ 平成 30 年 2 月 22 日 (木) 15:05 ~ 15:50	松山市立みどり小学校	16
		⑥ 2 月 25 日 (日) 10:00 ~ 15:30	ふれあいフェスタ	50
		⑦ 3 月 4 日 (日) 11:00 ~ 14:30	地域のたから再発見「古代史セミナー」 中島地区文化祭	2
		⑧ 平成 29 年 8 月 11 日 (金) 10:00 ~ 16:00	古代体験まつり	34
	鋼鉄	⑨ 8 月 29 日 (火) 9:30 ~ 12:00	エンゼル学園	54
		⑩ 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:00	公開承認施設認定記念古代体験教室	6
	ミニ鋼鉄	⑪ 平成 29 年 8 月 11 日 (金) 10:00 ~ 16:00	古代体験まつり	18
		⑫ 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:00	公開承認施設認定記念古代体験教室	9

普及啓発事業

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）(2)

No.	事業名		日 時	会場／団体名	参加者数 (人)
6	古代の技術を学ぼう ～石こう編～	分割形土製品 実際	① 平成29年 4月（1件） ② 5月（2件） ③ 6月（1件） ④ 平成30年 2月 （公開承認記念 3件）	9:00～17:00 考古館エントランス	2
					4
					2
					3
7	ふんどう君 ベンダント作り	個人 来館	① 平成29年 4月（8件） ② 5月（9件） ③ 6月（3件） ④ 7月（6件） ⑤ 8月 （体験まつり34人、外4件4人） ⑥ 9月（4件） ⑦ 10月（1件） ⑧ 11月（2件） ⑨ 12月（3件） ⑩ 平成30年 1月（4件） ⑪ 2月 （公開承認記念 16人、外3件3人） ⑫ 3月（11件）	9:00～17:00 考古館エントランス・講堂	11 16 6 14 38 8 2 4 5 6 19 23
					150
					150
					150
					150
					150
					150
					150
					150
					150
					150
					150
8	染物体験	西 かんたん染物 藍 キハダ	① 平成29年 8月 2日（水） ② 8月 11日（金） ③ 8月 2日（水） ④ 8月 3日（木） ⑤ 8月 29日（火） ⑥ 8月 4日（金）	考古館 演説 石井東児童クラブ 城生第二児童クラブ 斎藤公民館 ふれあいフェスタ 施設内から再発見「古代史セミナー」 中島地区文化祭	24 60 37 21 50 6 26
					115
					115
					115
					115
					115
					115
					115
					115
					115
9	発掘体験	来館	8月11日（金）	10:00～16:00	古代体験まつり
10	ねんどで土器作り	来館	8月11日（金）	10:00～16:00	古代体験まつり
11	火おこし体験	個人 来館	① 4月（9件） ② 5月（5件） ③ 6月（5件） ④ 7月（1件） ⑤ 8月（体験まつり141人・外6件24人） ⑥ 9月（3件） ⑦ 10月（3件） ⑧ 11月（0件） ⑨ 12月（0件） ⑩ 平成30年 1月（0件） ⑪ 2月（0件） ⑫ 3月（3件）	考古館 墓外	28 17 30 4 165 9 23 0 0 0 0 8
					274
					274
					274
					274
					274
					274
					274
					274
					274
					274
					274
					274
12	土器と火の関係性	団体 来館	① 平成29年 4月14日（金） ② 4月19日（水） ③ 4月21日（金） ④ 4月28日（金） ⑤ 5月 2日（火） ⑥ 5月16日（火） ⑦ 5月31日（水） ⑧ 7月14日（金） ⑨ 7月20日（木） ⑩ 7月30日（日） ⑪ 9月12日（火）	松山市立味生第二小学校 松山市立味生小学校 松山市立新小学校 酒美平成中等教育学校（高1） 松山市立たじばな小学校 松山市立麻溝小学校 松山市立加生小学校 平井保育園 愛光学園（台湾・道明中学高等学校） 日本ボーアスカウト松山郡331団 新田青芸中等教育学校	98 111 97 136 85 145 138 33 35 8 67

普及啓発事業

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）(3)

No.	事業名	日 時	会場／団体名	参加者数 (人)
11 水おこし体験	水おこし体験	⑪ 9月28日(木) 10:30～11:30	松山わかあゆ教室・北条文化の森教室	18
		⑫ 10月11日(水) 9:30～12:00	久万高原町立久万小学校	23
		⑬ 10月19日(木) 10:00～11:45	今治市立常盤小学校	85
		⑭ 11月1日(木) 13:00～14:00	今治市立吉瀬小学校	22
		⑮ 11月14日(火) 9:20～12:00	松山市立道後小学校	139
		⑯ 12月21日(木) 13:00～14:00	放課後等デイサービスひらく	4
		⑰ 平成30年1月27日(土) 13:00～14:10	放課後等デイサービスひらく	13
		⑱ 2月22日(木) 12:30～14:30	祇部町立祇部小学校	50
		⑲ 2月27日(火) 9:15～12:00	松山市立くら小学校	124
		⑳ 2月27日(火) 10:00～12:00	松山市立久枝小学校	119
		㉑ 3月2日(金) 9:30～12:00	松山市立みどり小学校	122
		㉒ 3月6日(火) 9:30～12:00	松山市立三津浜小学校	84
		㉓ 3月6日(火) 12:30～14:00	松山市立坂本小学校	67
		㉔ 3月7日(木) 10:00～12:00	松山市立双葉小学校	105
		㉕ 3月9日(金) 9:30～11:30	松山市立北久米小学校	96
		㉖ 3月9日(金) 12:20～13:50	東温市立川上小学校	96
		㉗ 3月30日(土) 10:00～11:30	徳原小学校OK会	9
		① 平成29年4月13日(木) 9:00～11:30	松山市立堀郡小学校	65
		② 4月18日(火) 14:00～16:00	松山市立北園小学校	19
		③ 4月20日(木) 8:25～11:35	松山市立堀江小学校	116
		④ 4月27日(木) 10:45～12:25	松山市立高島小学校	13
		⑤ 5月30日(火) 13:55～15:35	松山市立福音小学校	82
		⑥ 6月1日(木) 8:50～10:30	松山市立和気小学校	125
		⑦ 6月8日(木) 15:05～15:50	松山市立みどり小学校	17
		⑧ 6月19日(月) 15:10～15:55	松山市立立岩小学校	13
		⑨ 7月11日(火) 11:00～11:45	新田高等学校	34
		⑩ 7月11日(火) 11:55～12:45	新田高等学校	34
		㉑ 7月11日(火) 13:20～14:05	新田高等学校	13
		㉒ 7月14日(金) 9:50～10:40	新田高等学校	38
		㉓ 7月18日(火) 8:50～10:30	松山市立窟田小学校	60
		㉔ 7月19日(水) 8:50～9:40	新田高等学校	46
		㉕ 7月22日(土) 16:30～17:30	風早自然学校ボレゴレ	42
		㉖ 8月5日(土) 16:00～17:00	(とべっ子サマーキャンプ)	74
		㉗ 8月27日(日) 13:00～19:00	愛媛園体イベント	1,200
		㉘ 10月17日(火) 9:30～11:00	素鶴公民館	10
		㉙ 平成30年3月4日(日) 11:00～14:30	地域のから再発見「古代史セミナー」	40
				合計 6,573

表4 教育普及活動一覧（遺跡見学会）

No.	事業名	日 時	内 容 (見学地)	参加者数 (人)
1		① 平成29年8月8日(火) 9:00～17:00	考古館・今治市村上水軍博物館 今治市新谷道路で発掘体験	40
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」 1.「歴史バッスター」	② 9月3日(日) 9:00～17:00	考古館・新居浜市郷土資料室 新居浜市正光寺山古墳群	37
3		③ 11月11日(土) 9:00～17:00	考古館・松野町河津森城跡	42
4	2「親子考古学講座」	11月26日(日) 10:00～12:00	祇部町大下田古墳群	12
5	わかりやすい考古学講座 「発掘 松山の遺跡」	① 10月21日(土) 10:00～11:30	考古館(遺物見学)・客谷古墳・大宝寺	27
6		② 平成30年1月28日(日) 10:00～11:30	松山城三之丸跡 3D 次調査	32
				合計 190

表5 教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）(1)

No.	学校名・団体名	学年	日時	内 容	参加者数 (人)
1	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	平成29年 4月29日(土)	解説会	32
2	第コンサート		4月29日(土) 第115回		32
3	古代体験教室「石勾玉づくり」①	—	4月29日(土)	石勾玉づくり(3人)	15
4	古代体験教室「石勾玉づくり」②	—	4月30日(日)	石勾玉づくり(7人)	7
5	古代体験教室「石勾玉づくり」③	—	5月 2日(火)	石勾玉づくり(1人)	1
6	古代体験教室「石勾玉づくり」④	—	5月 3日(水)	石勾玉づくり(25人)	25
7	古代体験教室「石勾玉づくり」⑤	—	5月 4日(木)	石勾玉づくり(30人)	30
8	古代体験教室「石勾玉づくり」⑥	—	5月 5日(金)	石勾玉づくり(18人)	18
9	古代体験教室「石勾玉づくり」⑦	—	5月 6日(土)	石勾玉づくり(32人)	32
10	古代体験教室「石勾玉づくり」⑧	—	5月 7日(日)	石勾玉づくり(29人)	29
11	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	5月13日(土)	講演会①「ハニワの見方・楽しみ方」	51
12	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	5月21日(日)	ギャラリートーク①	17
13	第コンサート	—	5月21日(日) 第116回		12
14	わかりやすい考古学講座①	—	6月 3日(土)	松山市西部の歴史みがき①	71
15	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	6月 4日(土)	ギャラリートーク②	18
16	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	6月 17日(土)	講演会②「愛媛の古墳とハニワ」	72
17	父の日特別イベント「石勾玉を作ろう」①	—	6月 17日(土)	石勾玉づくり(18人)	18
18	父の日特別イベント「石勾玉を作ろう」②	—	6月 18日(日)	石勾玉づくり(4人)	43
19	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	6月 25日(日)	ギャラリートーク③	26
20	第コンサート	—	6月 25日(日) 第117回		40
21	わかりやすい考古学講座②	—	7月 1日(土)	松山市西部の歴史みがき②	62
22	7月特別イベント	—	7月 1日(土)	再生施設向ヶ丘づくり	13
23	発掘へんろ展「西国の大ニワ」	—	7月 9日(日)	ギャラリートーク④	24
24	第コンサート	—	7月 9日(日) 第118回		23
25	愛媛県・松山市連携事業 「掘ったぞな松山2017」	—	7月15日(土)	報告会①	37
主催事業実績	古代体験教室「染物体験～西～」	—	8月 2日(水)	染物体験～西～(24人)	28
	古代体験教室「染物体験～東～」	—	8月 2日(水)	染物体験～東～(37人)	38
	古代体験教室「染物体験～キハグ～」	—	8月 4日(金)	染物体験～キハグ～(26人)	26
	わかりやすい考古学講座③	—	8月 5日(土)	松山市西部の歴史みがき③	52
	古代いよい歴史まつり「歴史バズツアー①」	—	8月 8日(水)	今治市新町道路で発掘体験・今治市村上本博物館	40
	古代体験教室「ガラス勾玉づくり①」	—	8月 9日(木)	ガラス勾玉づくり①(午前20人)	20
	古代体験教室「ガラス勾玉づくり②」	—	8月 9日(木)	ガラス勾玉づくり②(午後13人)	13
	受講料・松山市連携事業 「掘ったぞな松山2017」古代体験まつり	—	8月11日(金)	石勾玉(204人)・陶器(合計34人) 陶器(合計76人)・脚隠(合計18人) ベンダード(34人)・発掘体験(25組73人) 粘土で膠原づくり(60人)・かみたん染物(60人) キャラント作り(30人)・考古細胞検査ツアーア(114人) 古代衣装(98人)・火おこし(141人)	1,264
	古代体験教室「ガラス勾玉づくり③」	—	8月18日(金)	ガラス勾玉づくり③(午前21人)	21
	古代体験教室「ガラス勾玉づくり④」	—	8月18日(金)	ガラス勾玉づくり④(午後14人)	14
主催事業実績	「掘ったぞな松山2017」	—	8月19日(土)	報告会②	37
	第コンサート	—	8月19日(土) 第119回		20
	古代体験教室「石勾玉づくり⑨」	—	8月20日(日)	石勾玉づくり(13人)	13
	わかりやすい考古学講座④	—	9月 2日(土)	松山市西部の歴史みがき④	59
	古代いよい歴史まつり「歴史バズツアー②」	—	9月 3日(日)	歴史館前正光寺・松山城跡・駿府市郷土資料室・あかねやミュージアム	37
	「掘ったぞな松山2017」	—	9月 9日(土)	報告会③	48
	第コンサート	—	9月 9日(土) 第120回		30
	古代体験教室「石勾玉づくり⑩」	—	9月 13日(木)	1期・①考古学と松山の歴史	18
	はじめての考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	9月 20日(木)	1期・②松山の石器時代と縄文時代	20
	はじめての考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	9月 27日(木)	1期・③集落と松山の道跡	20
主催事業実績	はじめての考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	10月 4日(水)	1期・④土器と松山の道跡	17
	はじめての考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	10月 11日(水)	1期・⑤石器・鐵器・青銅器と松山の道跡	18
	「掘ったぞな松山2017」	—	10月 14日(土)	講演会「江戸後方後圓墳の歴史と松山の古墳」	73
	わかりやすい考古学講座⑤	—	10月 21日(土)	船内見学・現地見学会1	27
	第コンサート	—	10月 21日(土)	第121回	15

表5 教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）(2)

No.	学校名・団体名	学年	日 時	内 容	参加者数(人)
51	わかりやすい考古学講座⑥	—	11月 4日(土)	余土・削生の歴史みがき1 石臼玉づくり(16人)	60
52	古代体験教室「石臼玉づくり」⑥	—	11月 4日(土)	石臼玉づくり(16人)	16
53	古代いよ発掘まつり「歴史バスター③」	—	11月 11日(土)	国指定史跡「松山町河後森城跡」	42
54	愛媛県・松山市連携事業「いにしへのえひめ」	—	11月 18日(土)	報告会①「高見1号道路の調査」	42
55	筆コンサート	—	11月 18日(土)	第122回	16
56	愛媛県・松山市連携事業「いにしへのえひめ」	—	11月 25日(土)	ギャラリートーク①	7
57	フィルクロームコンサート	—	12月 2日(土)	ロビーコンサート	107
58	わかりやすい考古学講座⑦	—	12月 2日(土)	余土・削生の歴史みがき2	58
59	愛媛県・松山市連携事業「いにしへのえひめ」	—	12月 10日(土)	ギャラリートーク②	7
60	愛媛県・松山市連携事業「いにしへのえひめ」	—	12月 16日(土)	講演会「瀬戸内地域の田石器入の暮らし」	43
61	筆コンサート	—	12月 16日(土)	第123回	15
62	古代体験教室「再生栽培陶玉づくり」	—	12月 16日(土)	再生栽培陶玉づくり(7人)	7
63	愛媛県・松山市連携事業「いにしへのえひめ」	平成30年	1月 13日(土)	報告会②「新谷古新谷跡の調査」	54
64	筆コンサート	—	1月 13日(土)	第124回	12
65	はじめの考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	1月 17日(水)	2期・①島・古墳と松山の道路	21
66	はじめの考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	1月 24日(水)	2期・②瓦・木簡と松山の道路	21
67	はじめの考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	1月 31日(水)	2期・③集落・寺・官衙と松山の道路	22
68	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」 古代体験イベント	—	2月 3日(土)	石臼玉(23人)・鋼錆(合金6人) 鋼錆(合金34人)・鋼錆(合金9人) 銅鏡(14人)・ペンダント(16人) 分銅形土製品(3人)	305
69	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」	—	2月 4日(日)	展示解説会①	27
70	はじめの考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	2月 7日(水)	2期・④土器・木製品・集落と松山の道路	21
71	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」	—	2月 9日(金)	展示解説会②	6
72	わかりやすい考古学講座⑨	—	2月 10日(日)	余土・削生の歴史みがき3	41
73	はじめの考古学教室「松山の歴史を学ぼう」	—	2月 14日(水)	2期・⑤松山城の発掘と古絵図	20
74	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」	—	2月 18日(日)	講演会①	60
75	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」	—	2月 25日(日)	ギャラリートーク①	9
76	古代体験教室「石臼玉づくり」④	—	2月 25日(日)	石臼玉づくり(5人)	5
77	筆コンサート	—	2月 25日(日)	第124回	26
78	わかりやすい考古学講座⑩	—	3月 3日(土)	余土・削生の歴史みがき4	60
79	筆コンサート	—	3月 3日(土)	第125回	22
80	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」	—	3月 4日(日)	ギャラリートーク②	10
81	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお2」	—	3月 18日(日)	講演会②	60
1	かんなく句会	—	平成29年 4月 12日(水)	館内案内	5
2	松山市立株生第一小学校	6年	4月 14日(金)	館内案内・古代衣装・火おこし	98
3	松山市立株生小学校	6年	4月 19日(水)	館内案内・古代衣装・高床倉庫・火おこし	111
4	松山市立新玉小学校	6年	4月 21日(金)	館内案内・古代衣装・高床倉庫・火おこし	97
5	清美平成等々教育学校	4年(高1)	4月 28日(金)	館内案内・古代衣装・火おこし	136
6	松山市立たちはな小学校	6年	5月 2日(火)	館内案内・火おこし・古代衣装	85
7	松山市立酒味小学校	6年	5月 16日(火)	館内案内・火おこし	145
8	愛媛新聞カルチャースタジオ	—	5月 20日(土)	館内案内	10
9	ハートアーデンつしまち	—	5月 26日(金)	館内案内	15
10	松山市立株生小学校	6年	5月 31日(水)	館内案内・火おこし・古代衣装・高床倉庫	138
11	愛媛大学選学生 (台湾・中国・ルーマニア・韓国・マレーシア)	中・高	6月 16日(金)	館内案内	25
12	歴史文化探訪講話サークル	—	6月 18日(日)	館内案内	32
13	こまどり句会	—	6月 23日(金)	館内案内	4
14	新玉地区本村高齢クラブ	—	7月 8日(土)	館内案内	19
15	半年保育園	—	7月 14日(金)	館内案内・古代衣装・火おこし	33
16	愛媛若葉	—	7月 16日(日)	館内案内	19
17	椎の会	—	7月 17日(月)	館内案内	9
18	愛光学園(台湾・通明中学高等学校)	—	7月 20日(木)	館内案内・古代衣装・火おこし	35
19	愛媛新聞カルチャースタジオ	—	7月 22日(土)	館内案内	10
20	松山市小中合同参事会・研修会	—	7月 26日(木)	館内案内	80
21	松山市小学校美濃教諭主任会	—	7月 27日(木)	館内案内	60
22	日本ボイスカウト松山第33団	—	7月 30日(日)	講義・館内案内・火おこし	8

## 普及啓発事業

表5 教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）(3)

No.	学校名・団体名	学年	日時	内 容	参加者数 (人)
23	日本ボーイスカウト愛媛県連盟祇部第一団	一	8月 3日 (木)	染物体験～藍～ (21人)	23
24	松山市養護教員研修会		8月 8日 (火)	船内案内	79
25	朝人	一	8月 9日 (水)	石垣玉づくり (2人)	2
26	ボーイスカウト松山第15団	一	8月20日 (日)	船内案内	32
27	放課後等ディーサービスひらく	一	8月29日 (火)	船内案内・古代衣装・染物体験～藍～ (6人)	7
28	エンゼル学園学童保育	一	8月29日 (火)	船内案内・古代衣装	234
29	放課後等ディーサービスひらく	一	8月31日 (木)	船内案内・ガラス勾玉づくり (3人)	4
30	新田市立中等教育学校	高1年	9月12日 (火)	船内案内・火おこし・石垣玉づくり (63人)	67
31	愛媛新聞カルチャースクール		9月16日 (土)	船内案内	10
32	松山市立城西中学校	中2年	9月21日 (木)	職場体験	4
33			9月22日 (金)		4
34	松山わかあゆ教室・北条文化の森教導	中2・3年	9月28日 (木)	船内案内・火おこし	18
35	久万原福島立久万小学校	4年	10月11日 (木)	船内案内・古代衣装・石垣玉づくり (21人)・火おこし	23
36	松山市立新美中学校	5年	10月13日 (金)	講義	6
37	愛媛県社会福祉協議会高齢者大学		10月18日 (水)	船内案内・土器見学	21
38	今治市立常磐中学校	6年	10月19日 (木)	船内案内・古代衣装・火おこし	185
39	愛媛大学 (中国履旦会)		10月24日 (火)	船内案内	11
40	松山市立内宮小学校	中2年	10月26日 (木)	職場体験	2
41	愛媛県立松山西中等教育学校	中2年	10月26日 (木)	職場体験	2
42	文化財めぐり	一	10月27日 (金)	船内案内	35
43	今治市立吉海小学校	6年	11月 1日 (水)	船内案内・古代衣装・火おこし	22
44			11月 8日 (水)	職場体験	1
45	伊予市立伊予中学校	中2年	11月 9日 (木)		1
46	松山市立道後小学校	6年	11月14日 (水)	船内案内・古代衣装・火おこし	139
47	松山市教育研究会・松山市事務主任会	一	11月15日 (木)	船内案内	80
48	愛媛大学国際生 (台湾・中国・インドネシア・フィリピン・サンビア・アフリカ)	一	11月15日 (木)	船内案内	269
49			11月15日 (水)		2
50	松山市立桑原中学校	中2年	11月16日 (木)	職場体験	2
51	愛媛新聞カルチャースクール	一	12月16日 (土)	船内案内	10
52	放課後等ディーサービスひらく	中2年	12月21日 (木)	火おこし・銅鏡 (2人)	4
53	放課後等ディーサービスひらくかろキッズ	中・高	平成30年 1月27日 (土)	火おこし	13
54	第3回松山市教科等主任会	一	2月 6日 (火)	船内案内	80
55	朝日旅行	一	2月 8日 (木)	船内案内	20
56	放課後等ディーサービスヒーバンたかおか	一	2月18日 (日)	船内案内・古代衣装	14
57	砥町立砥部小学校	6年	2月22日 (木)	船内案内・火おこし	407
58	松山市立さくら小学校	5年	2月27日 (火)	船内案内・火おこし	124
59	松山市立久枝小学校	6年	2月27日 (火)	船内案内・火おこし	119
60	松山市立みどり小学校	5年	3月 2日 (金)	船内案内・火おこし	122
61	松山市立三津浜小学校	5・6年	3月 6日 (火)	船内案内・火おこし	84
62	松山市立坂本小学校	4・5年	3月 6日 (火)	船内案内・火おこし	47
63	大人塾	3年	3月 6日 (火)	船内案内	20
64	松山市立双葉小学校	5年	3月 7日 (水)	船内案内・火おこし	105
65	愛媛大学教育学部附属小学校	3年	3月 8日 (木)	船内案内・古代衣装	100
66	松山市立雄郡小学校	6年	3月 8日 (木)	船内案内・石垣玉づくり (59人)	64
67	松山市立北久米小学校	5年	3月 9日 (金)	船内案内・火おこし	94
68	松前町立岡田中学校	中2年	3月 9日 (金)	船内案内	20
69	東温市立田上小学校	5年	3月 9日 (金)	船内案内・火おこし	91
70	松山市立北条中学校	中1年	3月 9日 (金)	船内案内	11
71	松山市立鹿田小学校	5年	3月13日 (火)	船内案内	66
72	松山冒険遊び場	一	3月21日 (木)	船内案内	28
73	松山冒険遊び場		3月25日 (日)	船内案内	24
74	花屋小学校OB会	一	3月31日 (土)	船内案内・火おこし	9
				主催 81件	3616
				団体来館 74件	3,284
				合計 155件	6900

## 普及啓発事業

**表6 教育普及活動一覧（発掘調査現地説明会）**

No.	道跡名	日時	遺跡の主な概要	見学者数（人）
1	道後今市道跡 16・17 次調査	平成29年12月9日（土） 11:00～12:00	縄文時代の墓、弥生時代の河川跡（弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、瓦器ほか）	226
2	松山城三之丸跡 20次調査	平成30年1月28日（土） 11:30～12:30	近世の城郭 馬場土手・塀（礎・直・祇園堀・肥前系陶器ほか）	137
			合計	363

**表7 教育普及活動一覧（職場体験）**

No.	学校名	学年	日時	内 容	参加者数（人）
1	松山市立城西中学校	2年生	平成29年9月21日（木） 9月22日（金） 9:30～15:00	職場体験	4
2	松山市立宮内中学校	2年生	10月26日（木） 9:00～16:00	職場体験	2
4	愛媛県立松山西中等教育学校	2年生	10月26日（木） 9:00～16:00	職場体験	2
5	松山市立伊予中学校	2年生	11月8日（水） 8:30～15:00	職場体験	1
6	松山市立伊予中学校	2年生	11月9日（木） 8:30～16:00	職場体験	1
7	松山市立桑原中学校	2年生	11月15日（水） 9:00～15:00	職場体験	2
8	松山市立桑原中学校	2年生	11月16日（木） 9:00～15:00	職場体験	2
				合計 5校8件	18

**表8 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）（1）※館外欄は考古館主催事業で出前欄は依頼事業**

No.	学校名・団体名	学年ほか	日 時	内 容	参加者数（人）
1	わかりやすい考古学講座 「奈良・松山の道跡」	現地見学会	平成30年1月28日（日）	松山城三之丸跡 20次調査	32
2	県・市連携事業 「いにしへのえひめ」	一	平成29年11月26日（日）	「我ら考古学講座」大下田古墳群見学	12
3	平成29年度 地域のながら再発見 「古代史セミナー」	星岡公民館① 黒島公民館② 味生小学校③ 中島地区文化塾④	11月19日（日） 平成30年2月14日（木） 2月20日（火） 3月4日（日）	地域の遺物展示 講義 秀野家の見学案内 展示・火おこし（40人）・削鉗（2人）・ キャンドル（23人）・ペンドント（1人）・ 石匂玉（11人）	132 72 146 484 134
4	現地説明会	一	① 平成29年12月9日（土） ② 平成30年1月28日（日）	道後今市道跡 16・17 次調査 松山城三之丸跡 20次調査	226 363
1	松山市立郷野小学校	6年	① 平成29年4月13日（木） ② 11月1日（木）	講義・古代衣装・校区内の遺物・火おこし 講義・キャリア教育授業	65 69 134
2	松山市立正岡小学校	6年	4月18日（火）	講義・古代衣装・校区内の遺物・火おこし	19
3	松山市立灘江小学校	6年	4月20日（木）	講義・古代衣装・校区内の遺物・火おこし	116
4	松山市立中島小学校	6年	4月27日（木）	講義・古代衣装・火おこし	13
5	集佐池くらぶ（レンゲツマつり）	一	5月3日（水）	ふんどう君・土壁パズル・古代衣装	350
6	松山市立みどり小学校	4～6年	① 4月20日（木） ② 6月8日（木） ③ 6月15日（木） ④ 6月22日（木） ⑤ 9月14日（木） ⑥ 10月19日（木） ⑦ 10月26日（木） ⑧ 11月16日（木） ⑨ 平成30年1月18日（木） ⑩ 1月25日（木） ⑪ 2月8日（木） ⑫ 2月22日（木）	講義 講義・火おこし 講義・石匂玉①（16人） 講義・石匂玉② 講義・石匂工作り③ 講義・石匂工作り②・収穫体験 講義・石匂工作り③ 講義 講義・盛づくり 講義 講義 講義・古代衣装・銅鏡・銅鏡	17 204

表8 教育普及活動一覧(館外・出前考古学教室)(2)※出前機は依頼事業

No.	学校名・団体名	学年 ほか	日時	内 容	参加者数 (人)
7	松山市立藤酒小学校	6年	① 平成29年 4月21日(金)	講義・古代衣装・校区内の遺物	147
			② 6月 7日(水)	古代人体验学習相成①	147
			③ 6月15日(木)	土器づくり①(小型品)	147
			④ 6月20日(火)	古代人体验学習相成②	147
			⑤ 6月21日(水)	土器づくり②(大型品)	177
			⑥ 6月28日(水)	古代人体验	147
			⑦ 7月12日(水)	古代人体验の報告会	147
			⑧ 10月30日(月)	土器焼き①(土鍊)	148
			⑨ 10月31日(火)	土器焼き②	148
8	松山市立福音小学校	6年	5月30日(水)	講義・地域の遺物・古代衣装・土器パズル・火おこし	82
9	松山市立和気小学校	5年	6月 1日(木)	講義・火おこし	120
10	松山市立小野中学校	中1年	① 6月 2日(金)	講義・地域の遺物・古代衣装・土器パズル	117
			② 7月 3日(月)	斎佐通古墳ほか 小野めぐり	234
11	松山市立新玉小学校	5年	① 6月 5日(月)	講義	85
			② 10月24日(火)	講義「総合的な学習」	87
			③ 10月25日(水)	講義「総合的な学習」	87
12	松山市立立岩小学校	4~6年	① 6月19日(月)	講義・火おこし	13
			② 11月20日(月)	講義・石勾玉(12人)	25
13	東雲公民館	東雲小学校 3年	① 6月21日(水)	講話・地域の遺物	40
			② 10月17日(火)	講義・古代衣装・地域の遺物・火おこし ペシメント(8人)	50
14	松山市立小野小学校	6年	① 5月11日(木)	講義・地域の遺物・古代衣装・土器パズル	140
			② 6月23日(金)	講義・埴輪作り	141
15	カルスボカラージ	—	6月28日(水)	講話	62
出 前	新田高等学校	高2年	① 5月20日(火)	講義・石勾玉(38人)	38
			② 7月11日(火)	講義・火おこし	34
		高3年	③ 7月11日(火)	講義・火おこし	34
			④ 7月11日(火)	講義・火おこし	13
		高2年	③ 7月14日(金)	講義・火おこし	38
			④ 7月19日(火)	講義・火おこし	46
17	松山市立庭園小学校	5年	7月18日(火)	講義・火おこし	68
18	みどり小学校やじの倉	—	7月22日(土)	講義・石勾玉(65人)	140
19	風早自然学校ガレボレ	—	7月22日(土)	講義・火おこし	42
20	たぬばな児童クラブ	—	7月25日(火)	石勾玉(42人)・銅鏡(38人)	87
21	石舟東児童クラブ	—	7月26日(水)	講義・古代衣装・ぬり絵・土器パズル ペシメント(27人)・石勾玉(7人)	40
22	北久米児童クラブ	3年	8月 3日(木)	講義・石勾玉(28人)	30
23	祇園町立祇園小学校 (とべいチサマーキャンプ)	—	8月 5日(土)	講義・火おこし	74
24	津穴児童クラブ第1	—	8月22日(火)	講義・石勾玉(36人)	41
25	味生第二児童クラブ	—	8月23日(木)	古代衣装・ぬり絵・土器パズル ペシメント(29人)	34
			① 8月23日(木)	講義・石勾玉(65人)	2744
26	愛媛国体イベント	—	8月27日(火)	火おこし(1,200人)	2500
27	八重公民館	—	9月 2日(土)	講義・古代衣装・土器パズル	30
28	愛媛県立北条高等学校	高2年	9月21日(木)	講義・地域の出土遺物・古代衣装	19
29	愛媛県生涯学習センター (コミュニティカレッジ)	—	9月28日(木)	講話	38
30	松山中央公園(愛媛国体イベント)	—	10月 8日(日)	古代衣装・土器パズル	130
31	—	—	10月 9日(火)	古代衣装・土器パズル	114
32	松山市立南中学校	中1~3年	10月25日(水)	講義・石勾玉(指導のみ)	32
33	松山市立城西中学校	中1~3年	11月 3日(金)	講義・石勾玉(26人)	27
34	松山市立椿中学校	中1~3年	11月 3日(金)	講義・石勾玉(34人)	35
35	松山市立久好中学校	中1~3年	11月 3日(金)	講義・石勾玉(21人)	33
36	東山市立重宝中学校	中1~3年	11月 3日(金)	講義・石勾玉(23人)	23
37	愛媛県連句会連盟	—	11月23日(木)	講演	40
38	愛媛県歴史文化博物館	—	11月23日(木)	講演	40

## 普及啓発事業

表8 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）（3）※出前機は依頼事業

No.	学校名・団体名	年 月 日 はか	日 時	内 容	参加者数 (人)
39	軽口タリークラブ歴史同好会	—	12月4日(月)	講義	30
40	ギッズショップまつやま2017	—	12月17日(日)	講義・古代衣装・土器バズル・発掘道具	233
41	松山市人権教育研究大会	—	平成30年1月19日(金)	ミニ展示・土器バズル	150
42	ふれあいフェスタ	—	2月25日(日)	土器バズル・ぬり絵・陶鏡(50人) ベンダント(50人)	150
43	久枝放課後教室	—	2月28日(水)	土器づくり	30
44	市民文化フェスタ2018	—	① ② 3月3日(土) 3月4日(日)	古代衣装・土器バズル 古代衣装・土器バズル	53 226 173
館外					8件
出前44団体					8,008
総合計					8,899

表9 教育普及活動一覧（職員研修・会議）

No.	研修・会議名	日 時	開催地	参加者数 (人)
1	第38回全国埋蔵文化財法人協議会総会	平成29年6月15-16日(木・金)	神奈川県	1
2	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「四国のハニワ」第2回実行委員会	7月13-14日(木・金)	高知県	2
3	公開承認施設担当者会議	7月25-26日(火・水)	東京都	1
4	「四国のハニワ」第3回実行委員会	9月29日(金)	香川県	2
5	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中・四国・九州ブロック会議	10月5-6日(木・金)	福岡県	2
6	平成29年度「文化財IPM実践のための研修会」	11月9-10日(木・金)	東京都	1
7	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「四国のハニワ」第4回実行委員会	平成30年1月10-11日(木・木)	徳島県	2
8	第2回埋蔵文化財担当職員等講習会	1月31日-2月2日(水・木・金)	福岡県	1
9	愛媛県・松山市埋蔵文化財センター合同研修会	3月16日(金)	所内	50
10	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「四国のハニワ」第5回実行委員会	3月22-23日(木・金)	徳島県	2

表10 考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ等）

No.	出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数(枚)
1	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国のハニワ」	ポスター チラシ	平成29年4月	一般 A4 2頁	500 50,000
2	考古館ロビー展「大津古代遺跡」のご案内	チラシ	平成29年6月	一般 A4 2頁	10,000
3	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」「振ったぞな松山2017」	ポスター チラシ	平成29年6月	一般 A4 2頁	600 40,000
4	公開承認施設認定記念特別展 「こだいのかお～ふんどう君となかまたち～」	ポスター チラシ	平成30年1月	一般 A4 2頁	500 50,000

表11 出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	発行日	価格	版型・頁	部数(枚)
1	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」「振ったぞな松山2017」解説パンフレット	平成29年6月1日	—	A4 4頁	2,000
2	公開承認施設認定記念特別展「こだいのかお～ふんどう君となかまたち～」解説パンフレット	平成30年2月3日	350円	A4 16頁	700
3	松山市埋蔵文化財調査年報29	平成29年12月28日	—	A4 110頁	300
4	松山市文化財調査報告書 第191集 「道後町之町道跡2次調査」	平成30年1月31日	—	A4 108頁	300
5	松山市文化財調査報告書 第192集 「船ヶ谷道路5次調査」	1月31日	—	A4 96頁	300
6	松山市文化財調査報告書 第193集 「筋道M道路・筋道Q道路」	3月20日	—	A4 98頁	300

## 普及啓発事業

表12 資料の貸出一覧

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
1	資料	分離形土器品ほか	25	常設展示室において展示するため	平成27年4月1日～平成32年3月31日	予観記念博物館
2	資料	松山城二之丸跡出土の金貨	1	坂の上の雲ミュージアムの企画展・常設展で展示するため	平成25年2月1日～平成30年3月31日	坂の上の雲ミュージアム
3	資料	福音小学校構内遺跡出土器物	2	妙見山古墳出土の伊予型特殊器との比較展示のため	平成29年7月6日～平成30年7月5日	今治市教育委員会
4	資料	朝日谷2号墳出土遺物ほか	79	平成28年度特別展「はに行く！えひめの古墳探訪」にて展示するため	平成29年1月下旬～4月下旬	愛媛県歴史文化博物館
5	写真	来住庵寺出土複数基葉文軒丸瓦ほか	2	「松山百点」新規号（5月1日発行）掲載のため	4月4日～5月1日	えひめリビング新聞社内松山百点編集室
6	写真	傳高木道路3次調査出土の 鏡面圓土器	1	平成29年度春の展示「草薙弔弓の代の備後南部」の展示パネル作成及び広報資料等への掲載のため	4月7日～6月4日	広島県立歴史博物館
7	資料	福音寺道跡出土木製品ほか	39	平成29年5月27日から7月2日にかけて開催する平成29年度共同企画展「伊予の木工芸」において掲示するため	5月27日～7月2日	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター
	写真	釜ノ口道跡9次調査出土木製品ほか	6	「伊予の木工芸」において掲示するため	5月31日～6月10日	特定非営利活動法人GSデザイン会議
8	写真	古吉道跡の廻の写真ほか	1	川原井藤原暁像（浮き彫り作）において吉田の廻の形式の説明のため	5月31日～6月10日	吉田の廻会議
9	写真	業佐通古墳1号石室の内部ほか	3	市民に向けた出前講座で横穴式石室について説明する際に使用するため	6月1日～6月19日	今治市教育委員会社会教育部生涯学習社会教育課
10	資料	朝日谷2号墳出土二重口錘形ほか	4	笠置町古墳祭開催報告書にて記念展示「西南四国（宇和）における古墳開口後円墳の古法儀礼（飲食儀礼）の復元」に作成するため	6月22日～7月30日	西予市教育委員会
11	資料	松山城二之丸出土の近代陶器	5	愛媛県埋蔵文化財センター要記に掲載するため	6月25日～8月25日	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター
12	資料	福音小学校出土の土器ほか	13	平成29年度テーマ展「大型器台とその時代—西濃圓窯内の出生文化を探るー」にて写真展示及び、広報誌（ホームページ等）へ掲載するため	8月下旬～9月中旬	愛媛県歴史文化博物館
13	写真	祝谷大地・キ田遺跡現地説明会資料や写真	2	「文化財発掘調査情報」誌10月号～11月号（予定）「各地の動向」に掲載するため	9月6日	株式会社ジャパン通信情報センター・文化財出土情報編集部
14	資料	朝日谷2号墳出土土器	4	今治市山歴史資料館企画展「妙見山古墳と豊野古墳の比較展」において展示するため	9月15日～11月30日	今治市教育委員会
15	その他	エントランスの看板	2	松山市広報紙に掲載する記事の資料作成のため	9月28日～10月21日	松山市立南中学校
16	写真	業佐通古墳2号石室模型の写真ほか	2	ツアーバンパフレット、ホームページ、地図の情報誌「旅かま」に掲載するため	平成29年9月9日～平成30年2月4日	株式会社朝日旅行
17	資料	松山大学構内遺跡出土器物ほか	21	平成29年度テーマ展「大型器台とその時代—西濃圓窯内の出生文化を探るー」にて展示するため	平成29年9月30日～平成30年3月10日	愛媛県歴史文化博物館
18	その他	火おこし道具一式	3組	「内子町林業まつり」にて火おこし道具で火おこしをするため	平成29年10月17日～10月24日	内子町林業組合
19	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	「H30年度 小学校道徳教科書教師用指導書CD～ROMへの掲載」のため	平成29年6月17日～平成30年3月31日	東京書籍株式会社四国支社
20	写真	東石井道路・西石井道路資料	1	松山市広報紙12月1日号に掲載するため	平成29年10月30日～10月31日	松山市立南中学校
21	写真	福音小学校構内遺跡出土 子持勾玉ほか	6	日本玉文化発行の「玉文化研究」第3号（平成30年3月未発行予定）に「四国の子持勾玉」の論文名（仮題）で写真及び実図を掲載するため	平成30年2月9日～3月31日	日本玉文化学会
22	その他	土器バブル（盛型）	1	平成30年2月3日から3月4日にかけて開催される河原学園園主講「お仕事フェスティバル2018」において展示するため	3月3日～3月5日	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター
23	写真	大連古代墓の蘭花写真	2	小学校理科教科書において、夏に咲く蓮の花の具体例を紹介するため	3月8日～3月31日	教育出版株式会社編集局理科
24	その他	着ぐるみ ふんどう君	1	市役所で実施する職場説明会に使用するため	3月16日	松山市役所文化財課

普及啓発事業

表 13 資料の調査一覧

No.	種類	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	資料	朝日2号埴出土鏡はか	4	科学研究費補助金による銅鏡製作技術研究のため熱観・写真撮影・その他の(3Dスキャナー計測)	平成29年 5月 9日
2	資料	東本道跡 10次調査出土 セリガラムはか	3	織田信長海考古学研究会公開大会(6月17・18日)における研究発表するため熱観・模写・写真撮影	5月31日
3	資料	平井道跡出土鉄器	1	論文執筆のため熱観・写真撮影	6月 1日
4	資料	朝日2号埴出土土器はか	4	笠置町古墳展示に係る資料調査のため熱観・写真撮影	6月 6日
5	資料	岩崎道跡出土石器	6	研究のため熱観・写真撮影	6月 16日
6	資料	文京道跡出土土器はか	209	山口県東部の弥生時代中期土器に関する論文執筆のため熱観・模写・写真撮影	6月 20日
7	資料	松山城二之丸出土陶磁器	5	愛媛県埋蔵文化財センター紀要掲載のため熱観・模写・写真撮影	8月 25日
8	資料	船ヶ谷道跡 4次調査出土土器	14	愛媛大学卒業論文作成のため熱観・模写・写真撮影	7月 11-12日
9	資料	五郎兵衛谷古墳出土土器はか	6	研究論文作成のため熱観・模写・写真撮影	7月 18-20日
10	資料	松山大学構内道跡出土器台はか	27	平成29年度テーマ展「大型器台とその時代」に係る資料調査のため熱観・写真撮影	7月 21日
11	資料	松山大学構内道跡出土石製腰帯はか	3	古代の腰帯についての調査・研究のため熱観・写真撮影	8月 8日
12	資料	東山鹿ヶ森2号埴出土馬具はか	15	修士論文を執筆するため熱観・模写・写真撮影	8月 25日
13	資料	朝日谷2号埴出土土器	4	今治市藤山歴史資料館企画展示用道具を確認するため熱観・写真撮影	8月 30日
14	資料	古照道跡出土土器はか	33	古照・宮前田道跡出土土器系彫形土器の技術系譜を探るため熱観・写真撮影	9月 16日
15	資料	鶴が峰道跡出土人物埴輪はか	一式	修士論文作成のため熱観・模写・写真撮影	11月 21日

表 14 平成 29 年度 考古館月別入館者数調(平成 29 年 4 月~平成 30 年 3 月)

月	開館日数 (日)	常設展示室								特別展示室 展示室延 入場者数	入館者数		
		有料入館者				無料入館者							
		一般	高齢者	団体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身障者 介護人	その他				
4	26	119	46	0	0	165	716	9	23	748	1,087		
5	26	180	68	0	0	248	678	11	17	706	1,472		
6	26	208	169	0	0	377	277	24	41	342	2,253		
7	26	127	92	140	0	359	196	20	11	227	1,104		
8	27	119	27	94	0	240	1,107	12	288	1,407	2,115		
9	26	59	26	0	0	85	164	2	11	177	629		
10	26	73	63	5	0	141	196	2	66	264	746		
11	25	86	31	82	0	199	277	25	53	355	732		
12	24	54	25	0	0	79	85	18	41	144	611		
1	24	57	8	0	0	65	38	19	31	88	253		
2	24	4	0	0	0	4	941	25	496	1,462	1,461		
3	26	32	44	11	0	87	1,092	24	379	1,495	1,882		
計	306	1,118	599	332	—	2,049	5,767	191	1,457	7,415	14,345		
											23,809		
											18,825		



写真1 発掘へんろ展「四国のハニワ」



写真2 発掘へんろ展 講演会



写真3 展示会「振ったぞな松山 2017」



写真4 いにしへのえひめ「親子考古学講座」



写真5 公開承認施設認定記念特別展開式



写真6 特別展「こだいのかお 2」



写真7 特別展「こだいのかお 2」講演会



写真8 特別展 古代体験イベント



写真 9 発掘情報展「祝谷大地ヶ田遺跡 6 次調査」



写真 10 わかりやすい考古学講座



写真 11 はじめての考古学教室



写真 12 古代体験教室「染物体験・茜」



写真 13 古代体験教室「染物体験・キハダ」



写真 14 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」



写真 15 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」



写真 16 古代体験まつり「火おこし体験」



写真 17 古代体験まつり「ミニ発掘体験」



写真 18 古代体験まつり「考古館探検ツアー」



写真 19 ロビーコンサート「箏」



写真 20 ロビーコンサート「フルクローレ」



写真 21 歴史バスツアー「正光寺山古墳」



写真 22 現地説明会「道後今市遺跡 16・17 次調査」



写真 23 古代米の育成



写真 24 大連古代蓮

## V 関係法規

## 1. 松山市立埋蔵文化財センター条例

平成元年9月30日

条例第43号

(設置)

第1条 本市の埋蔵文化財の保護、調査、研究等による地域文化の発展を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、松山市立埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を設置する。

2 センターは、松山市南斎院町乙67番地6に置く。（事業）

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。  
(1) 埋蔵文化財の発掘、調査、研究等に関する事項。  
(2) 出土品、資料等の保存、整理及び収藏に関する事項。

(3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、交換等に関する事項。

(4) 次条に規定する松山市考古館（以下「考古館」という。）及び松山市文化財情報館（以下「文化財情報館」という。）の管理運営に関する事項。

(5) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業  
(考古館及び文化財情報館)

第3条 センターに考古館及び文化財情報館を設置する。

2 考古館は、次に掲げる事業を行う。

(1) 埋蔵文化財その他の考古資料の収集、管理及び展示に関する事項。

(2) 考古館が収蔵する資料（以下この条において「考古館資料」という。）の案内、説明等に関する事項。

(3) 考古館資料に係る調査、研究等に関する事項。

(4) 考古館資料に係る講演会、研究会等の開催に関する事項。

(5) その他委員会が必要と認める事業

3 文化財情報館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 出土文化財の調査、研究等に関する事項。
- (2) 出土品、資料等の保存、活用、整理及び収藏に関する事項。
- (3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、公開等に関する事項。
- (4) その他委員会が必要と認める事業

(考古館観覧料)

第4条 考古館を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納めなければならない。

(観覧料の減免)

第5条 委員会は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第6条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

(秩序維持)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対して、入館を拒み、又は退館を命ぜることができる。

- (1) でい醉者等で、他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者
- (2) 施設、設備又は展示品、資料等を損傷するおそれのある者
- (3) その他委員会が管理運営上支障があると認める者

(損害賠償)

第8条 センターの施設、設備又は展示品、資料等を毀損し、又は滅失した者は、不可抗力による場合を除き、市にその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第9条 センターに所長その他の必要な職員を置き、考古館に館長を置く。

(指定管理者)

第10条 委員会は、センターの設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理

者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第11条 前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

（1） 第2条並びに第3条第2項及び第3項に規定する事業の実施に関する業務

（2） センターの維持管理に関する業務

（3） 前2号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第7条の規定の適用については、同条中「委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第12条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（委任）

第13条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、別に規則で定める。

（過料）

第14条 詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科する。

付 則

この条例は、平成元年10月31日から施行する。

付 則（平成3年3月25日条例第6号）

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

付 則（平成9年3月25日条例第7号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

付 則（平成14年3月20日条例第6号）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則（平成15年3月24日条例第1号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付 則（平成17年6月30日条例第29号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。  
(平成18年2月24日教委規則第1号により、平成18年4月1日から施行する。)

別表（第4条関係）

区分	金額
常設展	個人 100円
	団体 1人につき 80円
特別展	個人 1,000円以内で委員会の定める額
	団体 1人につき 個人に係る特別展の観覧料の8倍に相当する額

備考

1 この表において「団体」とは、20人以上の集団をいう。

2 義務教育就学前の児童、小学校の児童、中学校及び高等学校の生徒並びに委員会がこれらに相当すると認めた者は、無料とする。

## 2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則

平成16年12月28日

教委規則第41号

(趣旨)

第1条 この規則は、松山市立埋蔵文化財センター条例(平成元年条例第43号。以下「条例」という。)の施行に關し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び入館時間)

第2条 松山市立埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の開館時間及び入館時間は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、開館時間及び入館時間を変更することができる。

区分	開館時間及び入館時間
センター (松山市考古館を除く。)	午前8時30分から午後5時まで
松山市考古館 (以下「考古館」という。)	午前9時から午後5時まで (入館時間は、午前9時から午後4時30分まで)

(休館日)

第3条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に開館日若しくは閉館日を設けることができる。

区分	休館日
センター (考古館を除く。)	(1) 日曜日及び土曜日 (2) 国民の祝日に相当する法律(昭和23年法律第178号。以下「法」という。)に規定する休日 (3) 12月29日から翌年1月3日まで
考古館	(1) 日曜日(法に規定する休日に当たる日を除く。) (2) 法に規定する休日の翌日(日曜日に当たる日を除く。) (3) 12月29日から翌年1月3日まで

(観覧券の交付)

第4条 教育長は、条例第4条の規定により考古館の観覧料(以下「観覧料」という。)を納付した者に対し、考古館観覧券(以下「観覧券」という。)を交付する。

2 観覧券の種類及び様式は次の各号に定めるとおりとする。

(1) 常設展観覧券

ア 一般観覧券(第1号様式)

イ 団体観覧券(第2号様式)

(2) 特別展観覧券(その都度教育長が定めるものとする。)

(3) 割引観覧券(常設展又は特別展一般観覧券に割引後の額を表示したものとする。)

3 観覧券は、考古館の入口で改札を受けなければならぬ。

(観覧料の減免)

第5条 条例第5条の規定により観覧料を減免する場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 教育課程の一環として、児童生徒の引率者が観覧する場合…全額

(2) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人が観覧する場合…全額

(3) 市内に居住する65歳以上の者が観覧する場合…半額

(4) 前3号に掲げるもののほか教育長が特別な理由があると認めた場合…その都度教育長が定める額  
(観覧料の減免申請)

第6条 条例第5条の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第3号様式)を教育長に提出しなければならない。ただし、前条第2号若しくは第3号の規定に該当することを証する書類等を提示した者又は教育長が観覧料減免申請書の提出を要しないと認めた者については、この限りでない。

(観覧料の還付)

第7条 条例第6条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 考古館を観覧しようとする者の責に帰すことができない事由により観覧できなくなったとき。

(2) 前号に掲げるもののほか教育長が特別の理由があると認めるとき。

(資料の特別利用)

第8条 センターが所蔵する資料(以下「センター資料」という。)を利用しようとする者は、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用申請書(第

4号様式)を教育長に提出し、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用許可書(第5号様式)の交付を受けなければならない。

2 センター資料の貸出期間は、30日以内とする。

ただし、教育長が相当の理由があると認めたときは、その期間を延長することができる。

3 教育長は、公益上又はセンター資料の管理上必要があると認めたときは、貸出期間中であってもセンター資料の返還を求めることができる。

(寄贈及び寄託)

第9条 センターは、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 センターに資料を寄贈又は寄託しようとする者は、資料(寄贈・寄託)申請書(第6号様式)により教育長に申請し、その許可を受けるものとする。

3 教育長は、センターに資料を寄贈又は寄託した者に対し、資料(受領・受託)書(第7号様式)を交付するものとする。

4 寄託資料の寄託期間は、1年、3年又は5年とする。

5 寄託資料は、センター資料に準じて取り扱うものとする。ただし、当該資料を他に貸し出す場合は、あらかじめ寄託者の承諾を得るものとする。

(指定管理者に関する読み替え)

第10条 条例第10条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合において、第4条第1項及び第2項第2号並びに第8条の規定の適用については、これらの規定中「教育長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(管理の対価)

第11条 前条に規定する場合において、指定管理者に支払われる管理の対価は、当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えてはならない。

2 前項の管理の対価が当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えるに至った場合には、教育長は、指定管理者に対し、その超える金額を還

付させるものとする。

(委任)

第12条 この規則に定めるものほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この規則は、平成17年1月1日から施行する。  
(松山市考古館管理運営規則の廃止)

2 松山市考古館管理運営規則(平成元年教育委員会規則第12号)は、廃止する。

付 則(平成18年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成28年3月31日教委規則第7号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

## 松山市埋蔵文化財調査年報 30

---

平成30年12月25日 発行

編集  
発行

松山市教育委員会  
〒790-0003 愛媛県松山市三番町六丁目6-1  
TEL (089) 948-6605

公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財團  
埋蔵文化財センター  
〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6  
TEL (089) 923-6363  
FAX (089) 925-0260

印刷

不二印刷株式会社  
〒790-0054 愛媛県松山市空港通二丁目13-30  
TEL (089) 973-1266

---